平成27•28 年度 文部科学省委託

道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業

地域に根差し、世界に生きる

心豊かな児童生徒の育成

~保護者・地域との連携、体験学習の重視、道徳の時間の充実をとおして~



平成28年11月22日(火)

佐世保市立清水小学校 佐世保市立清水中学校

はじめに

長崎県においては、平成20年度に学習指導要領の改訂に伴い、次のような道徳教育の指針を策定しました。

〈指針1〉 すべての教育活動を通じて道徳教育を推進し、いのちを輝かせて生きる 子どもを育てましょう。

〈指針2〉 小中高12年間を見通して、子どもの発達段階に即した道徳教育を推進しましょう。

この指針を受けて、各学校現場においては、学校・家庭・地域が相互的に支え合いながら道徳教育を推進し、児童生徒の意識を高めているところです。

心豊かな児童生徒の育成ということは多くの学校で教育目標に取り上げられていますが、心を養うということは即ち道徳性を高めることが不可欠であり、人間性豊かな社会の実現のためにも重要なことであります。

現在、道徳については、学習指導要領一部改訂により、平成30年4月1日から「特別の教科 道徳」となり全面実施されることになっていますが、27年度より、その全部又は一部において、改正の指導要領及び学校教育法施行規則により実施することができることになりました。これは、道徳教育について歴史的転換期に私たちが置かれていると言っても過言ではないと考えられます。

本研究は、研究主題に「地域に根差し・・」副主題に「保護者・地域との連携・・」という言葉が入っているとおり、地域の教育力も十分に活用した道徳教育の実践にあります。ここ清水小学校区は「草木が原」と呼ばれており教育に関して関心の高い地区であります。今年度のみならずこれまでもたくさんの方々の教育力により、道徳教育の充実に協力をいただいてきました。朝の挨拶ボランティア、花ボランティア、読み聞かせボランティア等々は、子どもたちの自立心・自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心の育成の一助になってきています。

それを踏まえ、まだ先が見えていない状況の中、私たちは、これから設置される「特別の教科 道徳」はどのように進めていかなければならないかという視点に立って研究を推進してきました。「考え、議論する道徳」への転換の方策はどのようなものか、カリキュラムはどのように組み立てなければならないか、道徳における評価はどう行っていくか等について研修を深め、授業の実践を行ってきたとこころです。

どのように進んでいくかという予想が難しい研究であることは確かですが、チーム 清水小の総力を結集していけば、模範となる成果をご参観の先生方に示すことができ るものと確信しております。忌憚のないご意見をいただければ幸甚に存じます。

最後になりましたが、温かいご指導を賜りました長崎県教育委員会の皆様、佐世保 市教育委員会の皆様をはじめ、これからの道徳教育についてご示唆いただきました昭 和女子大学大学院教授押谷由夫先生、國學院大學教授田沼茂紀先生に対しまして、心 より感謝とお礼を申し上げます。

> 平成28年11月22日 佐世保市立清水小学校長 吉田幸典

平成30年度(中学校は31年度)から完全実施される「特別の教科 道徳」の移行期間が始まる平成27年度より2年間、文部科学省の「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委託を受け、清水小学校及び地域と連携し研究実践を進めてまいりました。

また、本校は平成25年度に青少年赤十字に加盟し、生徒の豊かな心を育む実践活動を進め、翌26・27年度には、佐世保市教育委員会から「授業改善(道徳)」の研究指定と日本赤十字社長崎県支部から「青少年赤十字(JRC)活動推進校」の指定を受け、生徒の内面を育て実行力を伸ばす研究実践に取り組んでいました。そして、その一定の成果を発表する年に、今回の研究委託を受けたことで、小学校及び地域との連携にも一層力点を置き、研究実践を進めることとなりました。

新たな学習指導要領の第1章総則第1に「道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。」と記されています。

一方、青少年赤十字は、世界中の人々が最低限共感することができる「世界共通の価値」といわれる「人道」を基盤にしています。この人道とは、誰の心の中にも本来ある「やさしさ」や「他者への思いやり」の心であり、それを引き出し、育てることが青少年赤十字の役割であると明記されています。

道徳教育と青少年赤十字活動は、人間が本来もっている「やさしさ」や「思いやり」の心、より良い生き方を求め実践する態度の育成を目指していくものであり、同じ目的・目標をもっていると言えます。しかも、道徳の四つの視点の中には、国際社会に生きる日本人としての自覚に立ち、平和的で文化的な社会及び国家の成員として必要な道徳性の育成を図ることに関するものもあります。このことは、青少年赤十字の三つの実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」と相通ずるものです。

このような点から、文部科学省の委託研究においても目指す方向性は変えず、研究主題を「地域に根差し、世界に生きる心豊かな児童生徒の育成」、副主題を「保護者・地域との連携、体験活動の重視、道徳の時間の充実をとおして」とし、引き続きJRC活動と道徳のつながりを意識した取組を進めて参りました。

道徳の授業やすべての教育活動の中で、生徒たちが様々な価値にふれ、思いを深め、 一方では、JRC活動を進めていくことで、道徳的判断力・実践意欲の高まりと態度 の変容が期待できるものと確信しています。

最後になりましたが、これまで温かく丁寧にご指導いただきました長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会の皆様並びに昭和女子大学大学院教授押谷由夫先生、國學院大學教授田沼茂紀先生には、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

また、参会の皆様には、ご忌憚のないご批正とご教示を賜りますれば幸甚に存じます。

平成28年11月22日

佐世保市立清水中学校長 鴨 川 純一郎

目次

はじめに

1	研	究の概要	
(1 (2 (3	2)	研究主題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1 3
2		学校の研究 研究仮説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(1	2)	研究の視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
(S (Z		研究構想図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 5
(E	5)	研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45567
(7	7)	道徳教育全体計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
(8	3) ① ②	授業における研究 ねらいを明確に示し、児童に自分の考えをもたせる授業の実践・・ 資料や児童に応じた多様な活動及び場の設定を工夫した	8
(9	(3)	授業の実践・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
,,,	1	授業研究部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	② ③ 4	- 地域・多庭・中子校建房品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20 22 28
_			28
3 (1	. •	学校の研究 研究仮説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
(2	2)	研究構想図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
(S (Z	L)	研究組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29 30 31
(E (E		道徳教育全体計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
,,,	1	∭えの天際 授業研究部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 調査 • 資料部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34 42
	② ③	実践 ● 連携部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
4	小	学校 • 中学校連携の実際······	50
5	佢	説の検証と今後の展望	
(1)	仮説の検証【小学校】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
(S		仮説の検証【小学校】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54 55
	. —	学年全体計画別葉	- -
(1 (2		小学校····································	56 68
おわ	りに	. 研究同人	

1 研究の概要

(1) 研究主題

「地域に根差し、世界に生きる心豊かな児童生徒の育成」

~保護者・地域との連携、体験活動の重視、道徳の時間の充実をとおして~

(2) 主題設定の理由

・社会の現状より

急速に進む少子高齢化や核家族化・情報化など、児童生徒を取り巻く社会環境は激しく変動している。それらは、私たちの生活にも変化をもたらし、さまざまな問題を生み出している。また、生命を大切にする心や思いやりの心などの倫理観や規範意識、社会性の育成などが十分ではないと指摘されている。

• 学習指導要領改訂の経緯より

このような社会の現状を踏まえ、平成25年2月26日に教育再生実行会議「いじめ問題等への対応について(第一次提言)」が行われた。これを機に取り組まれたおよそ2年にわたる審議・答申は道徳教育の抜本的改善・充実を目指すものである。小学校では平成30年度、中学校では平成31年度より、「特別の教科 道徳」となり、「問題解決的な学習や、道徳的行為に関する体験的学習を適切に取り入れるなど指導の方法を工夫すること」や、「児童生徒が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるように工夫すること」等、指導の充実が求められている。「特別の教科 道徳」の学習指導要領においても、人間関係を深めることや家庭や地域社会との連携、豊かな体験活動の充実等が改善のポイントとして挙げられている。

・長崎県の方針より

長崎県においては、心豊かな長崎っ子の育成に向けて大切にされてきた道徳教育の2つ の指針を継承し、道徳教育の改善が図られている。

指針1 すべての教育活動を通じて道徳教育を推進し、いのちを輝かせて生きる子どもを育てましょう。

指針2 小中高12年間を見通して、子どもの発達の段階に即した道徳教育を推進しましょう。

【学校や地域の実態】

清水小学校・清水中学校区は、市役所や総合教育センターをはじめ、市の中枢機関が立ち並ぶ佐世保市の中心に位置していながら、烏帽子岳や弓張岳など自然豊かな山々に囲まれている。また、寺社等も多く、歴史や伝統を感じる地域である。

清水小学校・清水中学校区には、「五校会」という組織がある。「五校会」とは、清水中、清水小、旧保立小、大久保小、春日小のPTA・育友会で組織された会で、校区内教育の振興発展を図ると共に、児童及び生徒の福祉、健全育成を目的としている。これまでは、この「五校会」を中心として、田植え体験、サツマイモの栽培活動、卒業記念品の餅つきなどが開催されてきた。また、保護者や地域の方を中心として、登下校時の安全を見守る活動が常に行

われている。

このように、保護者・地域は小・中学校の育友会活動や健全育成会活動に熱心に関わって くださっていることで、児童生徒は心身ともに健やかな成長を遂げている。

一方、児童や生徒の中には、地域のために何か自分たちにできることはないかと進んで考えたり、行動しようとしたりする者は少ない。

【これまでの取組】

清水小学校は、目指す児童像を「しっかり考える子」「自らよく行う子」「すこやかな子」と設定し、日々の指導にあたっている。毎年9月には、「清水っ子スマイルフェスタ」に取り組んでいる。地域の方々をゲストティーチャーとして招き、触れ合うことは、地域と密接な関係をもつ清水小学校の特色の一つとなっている。これは、児童にとって、地域の方々との触れ合いをとおして地域の良さを知る絶好の機会となっている。

清水中学校は、「凛とあれ」の校訓を掲げ、「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」を学校教育目標として、日々の指導にあたっている。

また、年間をとおして JRC (青少年赤十字) 活動に取り組んでいる。これは、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標にそって様々な体験活動を行い、「気づき・考え・実行する」ことのできる生徒の育成を目指すものである。この取組は、生徒たちに自主的で自立した考え方を育み、思いやりと行動力の伴った人間形成をするための一助となっている。

道徳の時間と上記の体験活動を関連付けたり、道徳の時間における展開を工夫したりすることで、児童生徒が主体的に活動するようになり、学習面へ良い影響を与えている。

【児童生徒の実態】 調査の考察

佐世保市で昨年度から行っているi-Check(心の状況調査)の結果より、清水小学校、清水中学校で次のような児童生徒の実態が明らかとなった。【〇良い面 ●課題となる面】

※i-Check とは、児童生徒の自己肯定感、社会性、生活・学習習慣等を客観的に把握・分析することにより、生活指導・学級経営の充実や改善等に役立てることを目的とした調査。

<清水小学校>

- ○学校内外を問わず、挨拶がよくできている。
- ○学校のきまりを守った生活ができている。
- ●友達の支えや他者からの評価について低く感じている。
- ●友達に対する心ない一言で相手を悲しませている。
- ●他者との関わりについて不安をもっている。

つまり、相手のことや生活の中の様々な物事に対して、しっかり考える児童の育成が十分に図られているとは言えない。

<清水中学校>

- ○学習習慣が身についている。
- ○家族の支えや他者からの評価を実感しながら生活している。
- ●感動体験や社会参画への物足りなさを感じている。
- ●他人に自分の思いを伝えることの難しさを感じている。

他者とより良い人間関係を築いたり、自らも社会の形成者であるという自覚をもったり することへの意識が低い。

こうした両校の調査結果から、「他者とより良い関係を築く」ということについて課題があることが明らかとなった。将来の変化を予測することが困難なこれからの時代では、一人一人の考えの違いが対立し、トラブルとなることも考えられる。したがって、個人が直面する様々な状況を深く見つめ、主体的に判断し、実践できるようにしていかなければならない。また、その実践意欲を支える自己肯定感を高めることも重要である。

そのためには道徳の時間を要として、家庭や地域社会と一体となった道徳教育を進めることが、 児童生徒が課題解決をする上で有効なものであると考える。

地域との関わりをもちながら育った児童生徒には、社会性やふるさとを愛する心が育まれる。 それによって、さまざまな困難に直面した際、より良い答えを導き出し、乗り越えることができると考える。

このような経験をすることで、多様な考えをもった集団の中でも、自分らしさを忘れず、世界 で活躍する資質を持った人間に成長することができる。

これらのことから、研究主題を「『地域に根差し、世界に生きる心豊かな児童生徒の育成』〜保護者・地域との連携、体験活動の重視、道徳の時間の充実をとおして〜」とし、本研究に取り組むこととした。

(3) 道徳教育の重点目標

本研究を進めるにあたって、研究に関わる道徳教育の重点目標を次のように設定した。

<清水小学校>

〇生命や人権を尊重する心の育成 〇他人を思いやる心の育成

○正義感や公正さを重んじる心の育成 ○自然や美しいものに感動する心の育成

<清水中学校>

○自他の生命を尊ぶ心の育成 ○他人を思いやる心の育成

○自主・自律の心の育成 ○公共心の育成

2 小学校の研究

(1) 研究仮説

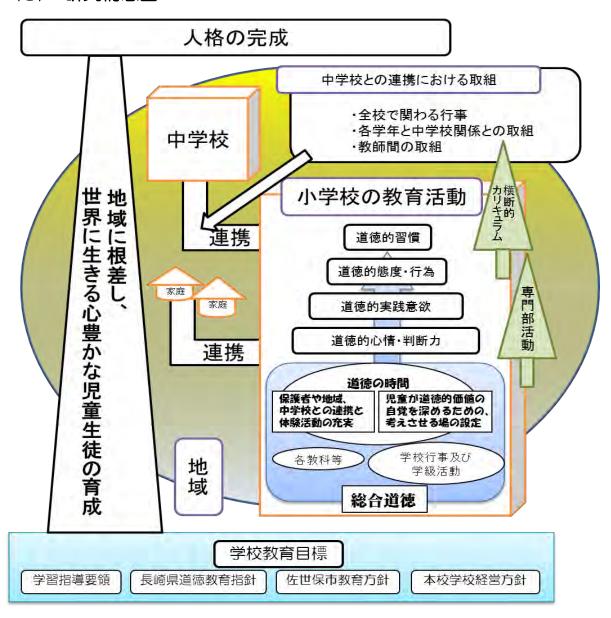
道徳の時間の指導において、道徳的価値を自覚させるためのねらいを明確にするとともに、 効果的に場の設定を行ったり、保護者や地域・中学校との連携を行ったりするなどの授業の 工夫を行えば、地域に根差し、世界に生きる心豊かな児童生徒を育成することができるであ ろう。

(2) 研究の視点

視点1 児童に考えさせる場の設定は、道徳的価値の自覚を深める上で効果的だったか。

視点2 取り入れた保護者・地域・中学校との連携及び体験活動等は、心豊かな児童 を育成する上で効果的だったか。

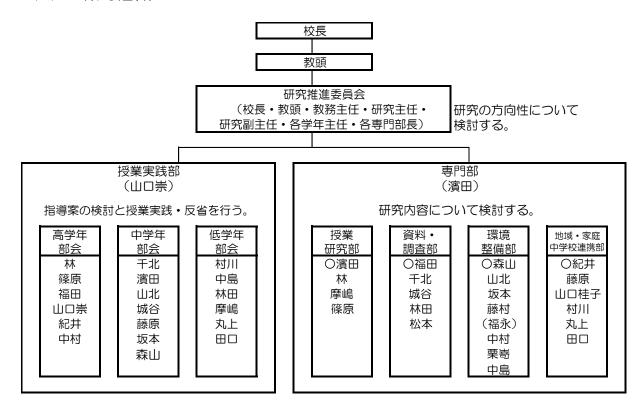
(3) 研究構想図



(4) 研究内容及び重点事項

- ① 年間指導計画の見直しと各学年全体計画別葉の作成
 - 年間指導計画に沿った取組後の反省、朱書での書き込み及び見直し
 - 各学年全体計画別葉の作成
- ② 道徳の時間の授業づくりの手順に沿った授業づくり
 - 道徳的価値の自覚を深める指導法の共通理解
 - 道徳の学習や教科等及び家庭における「私たちの道徳」の活用方法の研究
 - 発達段階に即した道徳的価値を深める話合い活動の工夫と改善
 - 児童の道徳性の評価の在り方
 - 挿絵やワークシートの作成
- ③ 保護者・地域・中学校との連携
 - 中学校との合同授業研究会の実施
- ④ 道徳性の向上に関する環境整備
 - 校内掲示物の作成
 - 道徳に関する資料(挿絵・ワークシート)の保管
 - ホームページ作成や「こころの輪」(保護者向け)の発行

(5) 研究組織



(6) 研究の経過

年	月		研修形態	研修内容等
		3	推進委員会	「道徳に係る教育課程の改善等について」(答申)概要確認
	4			「道徳に係る教育課程の改善等について」(答申)概要確認
		23	全体会	押谷先生講演会資料再読
	5	28	全体会	校内研修全体計画案の提案及び検討
		2	小中合同	清水中学校道徳授業及び反省会参加(山口崇・濱田)
	6	11	全体会	研究の視点と組織について(再検討)
		9	全体会	研究の視点と組織について(再検討)
	7	21	専門部	各部の取組事項についての検討及び分担
		21	 専門部	各部での取組
			고 ! 기마	出張報告(林)
	8	24	全体会	
		31	土仲云	各専門部からの報告と提案
		4-7	^ \L_^	高学年部会全体授業指導案検討会(6年2組)
	9	17	全体会	高学年部会全体授業実践(6年2組)※10年経過研修と兼ねる。
		24	全体会	高学年部会全体授業反省会
		13	全体会	出張報告(山口崇)
			専門部	各部での取組
		15	全体会	「私たちの道徳」について
	10	22	専門部	各部での取組及び報告と提案
27			授業実践部	中学年部会全体授業指導案検討(模擬授業の実施)
21		28	全体会	中学年部会全体授業実践(3年2組)
		29	全体会	中学年部会全体授業反省会
		11	全体会	出張報告(山口崇)
		12	推進委員会	研究資料作成に向けての提案及び検討
	11		専門部	各部での取組
		19	小中合同	清水中学校研究発表会参加(校長・山口崇・濱田・紀井)
		26	参加可能者	講師招聘研修会提案授業指導案検討会(4年1組)
		1	全体会	講師招聘研修会提案授業指導案説明会(4年1組)
		<u> </u>		講師招聘研修会提案授業及び授業反省会(4年1組)
		11	小中合同	押谷先生による指導・助言 〔中学校職員参加〕
	12	17	推進委員会	中間指導紀要内容検討
	12		<u>推進安貝云</u>	
		24	全体会	出張報告(千北)
		05		低学年部会授業指導案授業者説明(2年3組)
		25	全体会	低学年部会全体授業指導案検討会(2年3組)
	1	28	専門部	各部での取組内容のまとめと来年度の取組内容の確認
		2	全体会	中間発表会公開授業実践(2年3組)及び授業反省会
	2			指導助言(長崎県教育委員会・佐世保市教育委員会)
	_	25	全体会	出張報告(濱田・福田・紀井・教頭・村川・林)
				研究のまとめ(成果と課題)
		5	推進委員会	目指す児童像・今年度の具体的な取組内容について
	4	14	全体会	目指す児童像・今年度の具体的な取組内容について 専門部編成
	4	'-	専門部	顔合わせ・今年度の取組内容の確認
		21	専門部	各専門部の取組
1 1	5	21 26	専門部	各専門部の取組 各学年授業者決定及び各専門部の取組
	5		専門部	
	5	26 9	専門部 授業実践部・専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組
		26	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動
		26 9 21 23	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会
	6	26 9 21 23 6	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導
		26 9 21 23	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組)
	6	26 9 21 23 6 22	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備
	6	26 9 21 23 6	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実践部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成
	6	26 9 21 23 6 22	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実践部 専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備
28	6	26 9 21 23 6 22	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実践部 専門部 授業実践部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備
28	6	26 9 21 23 6 22 8	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実践部 専門部 授業実践部 専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備
28	6	26 9 21 23 6 22	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実部 専門等 野門部 小中合同	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び名専門部情報交換
28	7	26 9 21 23 6 22 8 17	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業実践部 専門部 授業実践部 専門合同 専門部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組
28	7	26 9 21 23 6 22 8	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 全体会 授業実践部 専門部 授業門部 授業門部 明中合同 専門合同 事門合同	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 技材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び名専門部情報交換 各専門部の取組
28	7	26 9 21 23 6 22 8 17	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 授業財部 等門実践部 要門実践部 授業門部 授業門合司 授業門合司 中門門合部 全体会・授業実践部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び名専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 教材研究及び指導案作成
28	7	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合同 全体会 受工事門等 要業別部 受業門等 要業別部 受業別部 受業別部 受業別部 可申門合部 全体会・授業実部 事門合部 全体会・授業実部	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 持導案検討会及び指導案作成 専門部の取組
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中合合同 全体体会 授事門実践部 授事門実践部 授事門との 授事等との 授事等との 授事等との 授事を 要業の 授事の 授事を 要業の 受事を 要業の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認
28	7	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中体会 全全体生実部 要業門実践部 授事事業門会部 授事中門合部 長本会業署門会部 全体会業署門会部 受事等と表 受事等との 受事を表 要要等の が事ので を会 を発表 を表 を を を を を を を を を を を を を を を を	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 技学を対け会及び名専門部情報交換 各専門部の取組及び名専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29	専門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中体会 全全体外 要等等の 受事業の 受事業の 受事業の 要業の 要業の 要業の 要業の 要の 要により 要により 要により 要により 要により 要により 要により 要により	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11	專門部 授業実践部・専門部 授業実践部・専門部 小中体体会 全全体体践部 要業門実門 要業門実的 授事業門等的 一時,授業 要等等的 一時,授業 要等等的 一時,授業 要等等的 一時, 等等。 一時, 一時, 一時, 一時, 一時, 一時, 一時, 一時, 一時, 一時,	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正 研究授業模擬授業及び授業研究
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11 13 27	專門部 · 專門部 授業実践部・專門部 授業実践部・專門部 小全 全 全 美 專 專門部 授 專 專 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正 研究授業模擬授業及び授業研究 研究授業模擬授業及び授業研究
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11	専門部・専門部 授業実践部・専門部 列全会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正 研究授業模擬授業及び授業研究
28	6 7 8 9 10	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11 13 27	專門部 · 專門部 授業実践部・專門部 授業実践部・專門部 小全 全 全 美 專 專門部 授 專 專 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正 研究授業模擬授業及び授業研究 研究授業模擬授業及び授業研究
28	6 7 8	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11 13 27 2 17	専門部・専門部 授業実践部・専門部 列全会会 一個を会会 一個を会会 一個を会会 一個を会会 一個を会会 一個を会会 一個を会会 一個を会 一個を	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 授業のポイント紹介(授業者) 授業仮説についての確認 指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 夏季休業中の取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 授業準備 研究発表会実施計画案検討 紀要原稿の読み直し及び訂正 研究授業模擬授業及び授業研究
28	6 7 8 9 10	26 9 21 23 6 22 8 17 18 19 30 31 29 11 13 27 2	専門部・専門部 授業実践部・専門部 列全会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位会 一位	各学年授業者決定及び各専門部の取組 7月7日授業実践学年は教材研究 その他の学年の職員は専門部の活動 清水中講師招聘研修会 道徳科学習指導案検討会(3年1組) 道徳科提案授業及び授業反省会(3年1組) 長崎県教育委員会及び佐世保市教育委員会中間指導 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 教材研究及び指導案作成 専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 野部の取組及び紀要原稿準備 指導案検討会及び各専門部情報交換 各専門部の取組及び紀要原稿準備 野部の取組及び紀要原稿準備 一方の取組及び紀要原稿準備 「長業を対け、長業を表すの取組についての報告と提案 9月以降の研修計画確認 「長業準備 「研究発表会実施計画案検討」紀要原稿の読み直し及び訂正 「研究授業模擬授業及び授業研究 「研究授業模擬授業及び授業研究 「研究授業模擬授業及び授業研究 「研究授業模擬授業及び授業研究 「研究授業模擬授業及び授業研究

(7) 道德教育全体計画

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領
- 県 市教育方針 目標
- 教育関係諸法規

清水中学校との連携

- 授業や諸活動における交流をとおして連携を深める。 (児童及び生徒)
- 研修を行うことで、連携を模索する。(職員)

道徳教育支援会議・ 清水っ子を育てる会との連携

- ・授業の公開
- ・小学校における活動の紹介及 び意見の交流

各教科の指導目標

一人一人を尊重しながら、各 教科の目標の達成を図る学習 指導の改善に努め、児童の学習 意欲や助け合いの態度を育て、 表現力を伸ばす。

各教科における道徳教育の重点

- 国語 思考力や想像力及び言語感 覚を養うことをとおして、道徳 的心情や道徳的判断力を養う 基本を育成する。また、我が国 の文化や伝統を大切にする心、 生命尊重等の豊かな心を育て る。
- 社会 社会を構成する人々の働きを知らせ、共感的理解を深める。
- 算数 日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考えることをとおして、道徳的判断力を育成する。
- 理科 問題解決的な能力、科学的な 見方や考え方の育成をとおし て、自然を愛する心情等の道徳 性を養う。
- 生活 具体的な体験や活動の過程 において、基本的な生活習慣を 身につけさせ、自立の基礎を養 う。
- 音楽 音楽を愛好する心情や音楽 に対する感性を育成すること をとおして、美しいものや崇高 なものを尊重する心等の豊か な情操を育てる。
- 図工 造形的な創造活動の基礎的 な能力を育てることをとおし て、豊かな情操を養い、道徳性 の基盤を養う。
- 家庭 家族の一員として家庭生活 をよりよくしようとする実践 的態度を育てる。
- 体育 適切な運動の経験と身近な 生活における健康・安全につい ての理解をとおして、明るく楽 しい生活を営む態度の育成を 図る。

学校教育目標

- (し) しっかり考える子(知)
- (み) 自らよく行う子 (徳)

(体)

(ず) すこやかな子

本校の目指す「心豊かな児童」

- ① 生命や人権を尊重する心
- ② 他人を思いやる心
- ③ 正義感や公正さを重んじる心
- ④ 自然や美しいものに感動する心

道徳教育目標

- 価値あるものを求め、より高い目標をもって実行できる子ども
- 困難に耐え、最後までがまん強くやり遂げる子ども
- 自然に親しみ、思いやりの心をもってみん なとなかよくする子ども

各学年の重要項目

- (1年) 生命の尊さ、善悪の判断、節度、節制
- (2年) 生命の尊さ、善悪の判断、友情、信頼
- (3年)生命の尊さ、親切、思いやり、規則の尊重
- (4年) 生命の尊さ、親切、思いやり、より良い 学校生活
- (5年) 生命の尊さ、公正、公平、相互理解
- (6年) 生命の尊さ、公正、公平、希望と勇気

研究内容

- ① 年間指導計画の見直し
- ② 道徳の時間の授業づくりの手順
- ③ 保護者・地域・中学校との連携の方法
- ④ 道徳性の向上に関する環境整備

道徳の時間における授業仮説

- ① ねらいを意識した的確な発問を工夫することで、児童は自分の考えを明確にもち、道徳的価値に迫ることができるであろう。
- ② 児童に考えさせる場の工夫(対話・討論・動作化・役割演技・体験的活動・表現ツールの活用・書く活動など)をすることで、児童はより意欲的に考え、道徳的価値を自覚しようとするであろう。
- ③ 家庭や地域とのつながりを意識し、授業や 事前・事後指導に取り入れることで、児童は、 家庭や地域の中で育っていることを実感し、 豊かな心をもつことができるであろう。

環境整備の重点

学校内に、児童の道徳性を芽生えさせ、育んでいくために必要な人的・物的環境づくりを図る。

各専門部活動

- 授業研究部…授業仮説と検証 方法等に関する研究
- 環境整備部・・・掲示の工夫等 に関する実践
- 地域·家庭·中学校連携部··· 道徳教育の啓発活動等
- 〇 資料·調査部···年間指導計画 作成等

「私たちの 道徳」の活用

- 現代社会の要請
- ・保護者や地域の願い
- 家庭や地域社会の実態児童の実態

家庭・地域との連携

- ・地域活動への参加により、 体験活動を進める。
- ・学校だよりや学年・学級通信をとおして、道徳教育への理解を深める。
- ・参観日に「道徳の時間」をもち、理解を求める。

生活指導の重点

- 一人一人の児童が学級や学校に適応し、けじめのある生活態度の習慣化を図る。
- ・自己と集団の関わりの中で、 自ら考え、正しく判断し、行 動できる児童の育成を図る。

特別活動の目標

望ましい集団活動をとおして、心身の調和のとれた発達と 個性の伸長を図り、集団の一員 としてより良い生活や人間関 係を築こうとする自主的、実践 的な態度を育てるとともに、自 己の生き方についての考えを 深め、自己を活かす能力を養

特色のある教育活動

- 清水っ子スマイルフェスタ
- ボランティア集会
- 昔遊び体験や職場体験学習、中学校や幼稚園との交流等

特別活動における道徳教育の重点(学級活動)

基本的な生活習慣の育成や 望ましい人間関係の育成、意欲 的な学習態度の形成を図る。 (児童会・クラブ活動)

自発的、自治的活動をとおして、望ましい道徳的態度や実践 意欲を培う。 (学校行事)

集団への所属感を深める体験的な活動をとおして、自立的態度、協力、責任、公徳心、勤労、社会奉仕等の道徳性を育成する。

総合的な学習の時間における 道徳教育の重点

グルーブ学習・異年齢集団による学習等において、地域の人材や学習環境を積極的に活用することで、自分自身を見つめ、互いに認め合い、関わり合い、高め合うことの意義に気づくとともに、児童自身が自分なりの価値観を育てていこうとする道徳的実践意欲を育成する。

外国語活動の時間における 道徳教育の重点

日本と外国との文化や生活、 習慣などの違いに気付かせる。

学級経営

(8) 研究の実際授業における研究

旧内容項目=平成20年8月小学校学習指導 要領解説 道徳編による

- ① ねらいを明確に示し、児童に自分の考えをもたせる授業の実践 ア 第6学年「仕事の価値を考える」【旧内容項目4-(4) 勤労・社会奉仕】
- **資料名** 「宿題代行サービス」(自作資料) 授業仮説を次のように設定した。
 - 宿題代行業という職種・職業について、賛成か反対かという視点でその理由と立場を明らかにした上で互いに議論し、友達の意見と自分の意見とを比べることで、仕事の意義や価値について深く考え、仕事の在り方に気づくことができるであろう。

〈事前及び導入…事前のアンケートをもとに、児童が将来思い描く職業について触れる〉

事前にとったアンケートから、中学校進学を前にした子どもたちの興味ある職業や職種を紹介 し、その一つとして宿題代行業がどういった仕事内容か簡単に補足説明をした。

〈展開①・・仕事の価値を考えさせる〉

今の時点で児童が、仕事は何のためにあるのかという意見を出させ、仕事は自分のためだけに あるのではないということを押さえた。

< 民開②···宿題代行業について互いに議論をする>

宿題代行業について紹介をした後、この職業は"あり派"か"なし派"かという議論を行う。その際、是非にとどまるのではなく、なぜそのような考えなのかという理由も出させることを意識し、友達の意見に対する自分の意見の変化も同時に表現させるようにした。

<終末・・・教師の説話を聞く>

仕事の目的として、「社会を豊かにすること」「人を豊かにすること」とし、本当の豊かさとは何かということに触れて話をした。また、社会のニーズに合わせて職業が生まれることも説明し、 教師という職業のやりがいや、豊かさを感じる瞬間というテーマで説話を行った。

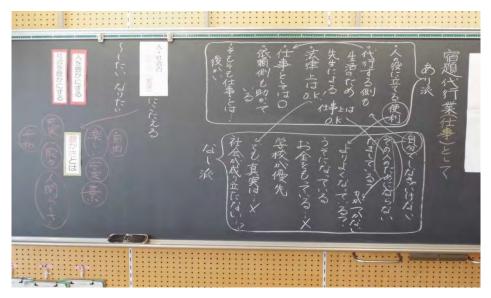


写真1 当日の板書(後半部分)

イ 第4学年「正しいことは勇気をもって」【旧内容項目1-(3) 勇気】

- 〇 **資料名** よわむし太郎(出典 文部科学省「私たちの道徳」 小学校3・4年) 授業仮説を次のように設定した。
 - 読み物資料の主人公「太郎」の勇気ある行動から触れさせた道徳的価値を話合いの視点 としてもたせ、自分の生活について同じ視点で振り返らせることで、心の弱さを感じなが らも、その心の弱さに勝る強い心をもち、正しいと思うことは、勇気をもって行動しよう とする態度が育つであろう。

〈導入…事前アンケートをもとに、道徳的価値に対する問題意識をもたせる〉

事前にとったアンケートから、勇気が出せる人がいる一方で、勇気を出せない人がいることを 話題とし、「本当の勇気とは、どんな勇気か考えよう」という学習課題をつかませた。

〈展開①…ねらいとする道徳的価値に迫る一つの発問に対して考えさせる〉

読み物資料を読んで主人公の気持ちを考えさせることをとおして、勇気を出すときの強い気持ちや満足感がある一方で、恐怖や不安などの弱い気持ちもあることに触れさせた。このとき、家庭において、事前に資料を読んでおく課題を出したところ、多くの児童が取り組み、資料の内容理解が容易にできた。

〈展開②…自分の立場を明確にして自分の生活を振り返り、話し合わせる〉

「友達がよくないことをしている場面を見たとき注意をするか、しないか。」という発問に対して、ネームプレートを活用し、黒板に掲示させることで自分の立場を明確にさせた。この際、「注

意したり、しなかったりする」という迷いの考えも認めるようにした。 また、そのときの気持ちや、そのようにした理由について考えさせ、 近くの友達に考えを伝え合う時間を設けた。

さらに、意見が出された後で、「『勇気がある人』とはどんな人か」 という、導入時と同じ発問をすることで、本時のまとめとした。



写真2 授業のようす

<終末…教師の説話を聴く>

担任のこれまでの体験から、勇気を出してよかった経験と勇気を出せなくて後悔した体験を話した。

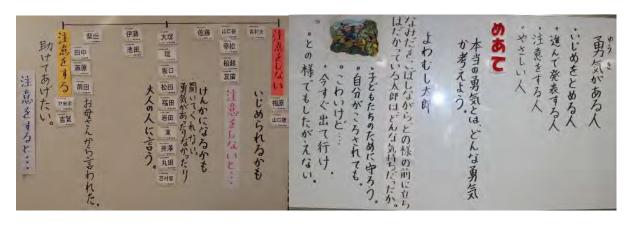


写真3 当日の板書(後半部分)

② 資料や児童に応じた多様な活動及び場の設定を工夫した授業の実践

第3学年

「相手を思いやり親切に」

新内容項目=平成27年7月小学校学習指導要領 解説 特別の教科 道徳編による

【新内容項目B-(6) 親切、思いやり】

〇 資料名 「拾ったりんご」 (出典 文溪堂「3年生の道徳」)

授業仮説を次のように設定した。

○ 「親切にするとはどういうことか」について十分に考えさせた後、資料や中学生の意見 に触れ比較検討することで、児童は日常生活における意識を高めるきっかけをもつことが できるであろう。

<事前及び導入・・・「相手に親切にした経験」を発表する>

授業前に「親切にした経験」についてあらかじめプリントに書かせ、発言がしやすいよう心が けた。授業の中では、「えんぴつを拾ってあげた」「友達の荷物を持った」などの発言があった。

〈展開①・・・「親切」とはどういうことかを考えさせた後に、資料を紹介する〉

まず、児童の考える「親切」を明らかにした。児童からは「人にやさしくすること」「人を助け ること」などの意見が出された。

次に、資料の挿絵について考えさせた。男の子がおばあさんの顔を見ずに転がってきたりんご を夢中で拾う絵を見せた。児童は「りんごは拾ってあげているが、おばあさんの気持ちに気付い ていない」ことに気付いた。

〈展開②・・・資料を読み、班→全体で話し合った後、価 値をまとめ、自分の行動を振り返る>

資料を一読し、登場人物の行動が「親切か、親切でな いか」を考えた。班ではホワイトボードを使って、考え が「視覚的に」「簡潔に」表せるようにした。全体の話合 いでは、展開①で出た「やさしくする」ことと班での意 見を取り上げ、「相手のことを考えて、やさしくする」と まとめた。



写真4

<終末…中学校の生徒の考えを聞く>

今回は、より意識の高い意見を紹介することが、本学級でも価値の高まりが見られると考え、 た。そこで中学校の先生に来校していただき、「中学生の考える親切」を紹介した。

※ この授業を行うに当たり、中学生の考える「親切」について紹介するために、中学校でゲス

トティーチャーとして授 業協力を行い、「小学生の 考える親切」を伝えた。こ れについては小学校・中学 校連携の実際(P50)で も紹介している。



写真5 授業のようす

③ 地域学習や地域の方と連携した総合道徳としての授業の実践

第2学年「自分の町のために」【旧内容項目4-(5) 郷土愛】

- O 資料名 「この町がすき」 (出典 学研副読本「みんなの道徳2年」) 授業仮説を次のように設定した。
 - グループで話し合う場を設定することで、町を大切にしようとするおばあちゃんの気持ちを多面的に考えることができるであろう。
 - 地域のために活動している方の話を聞くことで、児童は、「自分も町を大切にしたい」という思いをもつであろう。

〈事前及び導入・・・生活科の町探検で町の良さを様々な視点から見つけ、まとめる〉

生活科や学級活動と関連させ『この町大好きプロジェクト』の一環として道徳の授業を行った。「私たちの道徳」の拡大図に、自分たちが見つけた町の良さを記入して掲示し、導入で活用した。

〈展開①・・・資料を読み、班→全体で話合う〉

わたしが言った「汚いから拾っちゃダメ」という言葉とおばあちゃんが言った「汚いから拾うんだよ」という言葉に込められた思いの違いから、なぜおばあちゃんはそう言ったのか理由を考えさせた。児童は、少人数→全体で話し合うことによって、全員が考えを話し、多様な考えを聞くことによって、自分の考えを深めた。

〈展開②…意見(価値)をまとめ、自分の行動を振り返る〉

事前のアンケートに書いてあった地域のために実践した例を紹介し、自分が町のためにしたことを振り返ったり、これから町のためにしたいことを考えたりした。

<終末・・・地域の方の話を聞く>

地域の方に、地域のためにしている活動や地域への思いについて語っていただき、児童に「自分も地域のために何かしたい」という思いをもたせることができた。

く事後・・・タウンフェスタで保護者や地域の方に町の良さを発信する>

生活科の発表としてグループ別にポスターセッション方式で町の良さを発表した。学級活動では、町のために自分ができることについて話し合い、実践したことをがんばりカードに記入した。

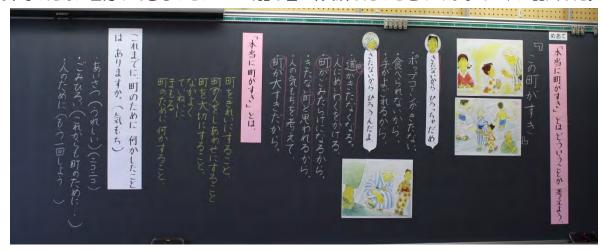


写真6 当日の板書

(9) 各専門部における研究

① 授業研究部

授業研究部の活動内容は次のとおりである。

- ア 授業仮説と検証方法に関する研究
- イ 指導過程の工夫に関する研究(形態、思考の場の設定、発問、道徳ファイル)
- ウ 指導案の形式作成
- エ 評価についての研究
- オ 道徳教育全体計画の作成
- カ 掲示物の作成(授業の流れ、話型、聴き方、私たちの道徳の活用のし方)
- キ 「私たちの道徳」の活用に関する研究

ア 授業仮説と検証方法に関する研究

「授業仮説」及び「授業仮説の検証方法」は次のとおりである。

〈授業仮説〉

- (ア) ねらいを意識した的確な発問を工夫することで、児童は自分の考えを明確にも ち、道徳的価値に迫ることができるであろう。
- (イ) 児童に考えさせる場の工夫(対話、討論、動作化、役割演技、体験的な活動、表現ツールの活用、書く活動など)をすることで、児童は、より意欲的に考え、道徳的価値を自覚しようとするであろう。
- (ウ) 家庭や地域、中学校とのつながりを意識し、授業や事前・事後指導に取り入れることで、児童は、家庭や地域の中で育っていることを実感し、豊かな心をもつことができるであろう。

〈授業仮説の検証方法〉

- (ア) 自分の考えを、ねらいを意識してもつことができたか、児童の発言や記述で検証 する。
- (イ) 道徳的価値の達成に向けて仕組んだ活動が、深く考えさせるために有効であったか、児童の発言や態度等で検証する。
- (ウ) 児童の豊かな心が育っているか、児童の感想文や自己の振り返り、家庭からのお 便り、地域の方々の声などから検証する。

イ 指導過程の工夫に関する研究

道徳の時間の授業において活用できる授業パターンを紹介し、授業で活用した。児童の実態、価値、ねらい、副読本の内容に応じて各段階の活動を組み合わせて授業を行った。

特に、授業仮説でもある「ねらいを意識した発問の工夫」「考えさせる場の設定」「地域・ 家庭とのつながり(事前・事後を含む)」のいずれかに重点を置いて授業を行った。

授業パターンは、基本的な授業の流れであり、授業者の創意工夫により取り組んでいる。

<基本的な組合せ>

導入

- 現状の姿や考え、アンケートの結果を提示する。
- ・題名について話し合う。
- ・ 教材や日常生活から道徳的な問題を見つける。
- 大きなテーマ(めあて)を意識して、児童へ発問する。
- 現在の自分の考えを視覚的に示す。
- 道徳的価値の本当の意味を考える。

めあてを提示する(場合によっては資料の後)

展開①

- 道徳的な問題について多面的・多角的に考え、議論する。(少人数→全体)
- ・問題についてより良い解決方法を考え、検討する。(少人数→全体)
- ・気持ちを探るための体験的学習を行う。(役割演技・ロールプレイなど)
- 正しい行動について考える体験的学習を行う。(スキルトレーニングなど)
- ・ワールドカフェ方式で班の何人かがローテーションし、話し合う。
- ・ウェビング方式や KJ 法で話し合う。
- ・ホワイトボードを活用して話し合う。
- 可視化ツールを活用する。

全体の話合いの中で価値に近づけたり、価値の整理をしたりする

展開②

- 価値についての自らの生活を振り返る。
- ・価値について「どうすることが大切か」「何が大切か」という発問を行う。
- 価値に関連して、自らの考えを深める発問を行う。
- ・体験的な取組と振り返りを行う。
- 道徳的価値の意味や実現するために大切なことを考える。
- 学習を振り返り、今後どのように生かすことができるかを考える。

終末

- 教師による説話をする。
- •「私たちの道徳」の活用をする。(詩や名言、実践カード等)
- ゲストティーチャーの話を聞く。
- ・具体的な活動と関連させる。(学級活動・他教科)
- ・感想を聞き合う。

ウ 指導案の形式作成

指導案の内容や形式について検討し、提案した。(各指導案参照)

エ 評価についての研究

本校では、27年度より評価の在り方について研究を行ってきた。28年度から通知表に 「道徳に関するようす」の欄を新たに設け、評価を行っている。清水小学校の通知表におけ る「道徳に関する評価」の基本的な考えは次のとおりである。

(ア) **道徳科の目標に沿った評価の意義**【小学校学習指導要領解説より】

道徳教育の目標

自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよ く生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。(総則編 P3)

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に - 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習 を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(特別の教科 道徳編 P15)

道徳科における評価の意義

児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必 要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

(特別の教科 道徳編 P104)

「道徳性」・・・「道徳的判断力」「道徳的心情」「道徳的実践意欲と態度」

この3点を『道徳科』の評価の観点とする。

•「道徳的判断力」

認知的側面・・・善悪を判断する能力(理解・判断)

•「道徳的心情」

情意的側面・・・道徳的価値の大切さを感じ取る

善を行うことを喜び、悪を憎む感情

•「道徳的実践意欲と態度」行動的側面・・・価値があるとされる行動をとろうとする傾向性 道徳的価値を実現しようとする意志の働き・

道徳的行為の身構え

- (イ) 基本的な考え (学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P105 及び「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告) H28.7.22 より抜粋】
 - 児童生徒の成長を見守り、努力を認めたり励ましたりすることによって、児童生徒が自ら の成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すこと。
 - 道徳性は、極めて多様な児童の人格全体に関わるものであることから、個人内の成長の 過程を重視すること。長期的な視点に立って継続的にその成長を把握していくこと。
 - 他の児童との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを 積極的に受け 止めて認め、励ます個人内評価として行うこと。
 - 個々の内容項目ごとではなく、大くくりなまとまりを踏まえた評価を行うこと。
 - 発達障害等の児童生徒についての配慮すべき観点等を学校や教員間で共有すること。

(ウ) 道徳科の評価の方向性【「特別の教科道徳」の指導方法・評価等について(報告)より】

- 指導要録においては当面、一人一人の児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子 について、発言や会話、作文・感想文やノートなどを通じて、下記の点に注意して見取 り、特に顕著と認められる具体的な状況を記述する。
 - 他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、一面的な見方から多面的・多 角的な見方へと発展しているか。
 - 多面的・多角的な思考の中で、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。
- 評価に当たっては、児童生徒が1年間書きためたワークシートを道徳ファイルに綴じたり、1回1回の授業の中で全ての児童生徒について評価を意識して変容を見取るのは難しいため、年間35時間の授業という長い期間で見取ったりするなどの工夫が必要である。

(工) 評価の種類

【児童の道徳性の評価】 ①学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育における評価

②道徳科の時間における評価(記載内容の中心)

【指導者の授業の評価】 ③学習指導過程・指導方法の評価

(オ) 評価の方法

- 指導のねらいに即した観点による評価
- 学習活動における表現や態度などの観察による評価(パフォーマンス評価等) (注1)
- 学習の過程や成果などの記録の積み上げによる評価(ポートフォリオ評価等) (注2)
- 〇 児童・生徒の自己評価

など、多種多様な方法の中から適切な方法を用いる。

(力) 具体的方法

〈事前〉・質問紙(診断的評価・アンケート)・行動の観察・日記や作文

〈授業の中で〉 ・児童の作文や道徳ノート、ワークシート・学習活動における発言

・態度の観察 ・自己評価 ・私たちの道徳 ・ルーブリック (注3)

〈事後の実践等〉・行動の観察(メモ)・日記や作文・質問紙・面接・私たちの道徳

(キ) 指導要録・通知表への記載について

平成30年度からの指導要録には、専用の記述欄が新たに設けられ、児童の道徳的な成長に関する事項を文章で記述することになる。本校の28年度の通知表では、平成30年度の指導要録への記入を踏まえ、専用欄(注4)を設け、記述を行う。

【指導要録への記載内容】

道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議(平成28年7月22日)では、以下の参考様式(イメージ)が示された。

	特別の教科 道徳
学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子
1年	

具体的な記載内容として『自分と違う意見を理解しようとしている、複数の道徳的価値の対立する場面を多面的・多角的に考えようとしている、読み物教材の登場人物を自分に置き換えて具体的に理解しようとしている、道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え考えようとしている等』と示されている。

【通知表への記載内容】

清水小では、通知表へは、保護者や児童に分かりやすいように、授業で学習した内容について「はじめにこのような状況であった」それが「授業の中でどのように活動し(表現し)(自分を見つめ)」そして「どのように変容したか」を捉え、「~について、~としっかり考えられるようになりました。日常でも~な行動ができるようになりました。」「~について、~と自分を見つめられるようになりました。そして~する姿が見られました」「~について、相手の立場に立って考え、協力できるようになりました。」など具体的に表現することにした。

つまり、道徳の授業でのようすを中心に、児童の学びの姿や進歩・成長した姿を記す。日常生活や他教科で行動・態度として表れた場合(道徳の授業以外の場面)は、記載する内容に応じて「道徳の評価欄」「所見欄」どちらに記載してもよいこととしている。

【評価の具体例】

L 5₩ 10	の具体例】
	例 文
	『元気に育て』の学習をとおして、物に対する思いやりの気持ちが芽生えました。自
	分のあさがおに名前をつけて、毎日欠かさず「おはよう、〇〇。」と話しかけながら水を
	やったり、折らないように気をつけながらつるを巻いたりするなど、優しくお世話をす
1	る姿が見られました。
	以前は友達に同調して正しい行動ができないことがありましたが、『〇〇』の学習をと
年	おして、善悪の判断をきちんとしようという意識が高まりました。昼休みに遊んでいる
	ときに、「ずるをしてはいけないよ。」と友達に注意することができるようになりまし
	た。
	『〇〇』の時間に学んだことを生かして、教室の机をきれいに並べたりロッカーや
	机の中を整理したりしていました。教室で気持ちよく過ごせる良さを自覚しながら身
	の周りをきれいにしようとする意欲をもって生活することができました。
	『元気でわくわく』の学習では、友達と意見を交流する中で、日常の小さな出来事も
	幸せなんだと思えるようになりました。日常生活でも、遊んでいるときや食べていると
	きに「生きているっていいな。」と言いながら、毎日を明るく元気に過ごしていました。
2	進級したばかりの頃は、指示されて行動することが多かったのですが、具体的な場面
	でどうすればよいかみんなで考える経験をとおして、正しい判断ができるようになり、
年	良いと思うことを進んで行う姿が見られるようになりました。
	授業で本当の友情について考えた際、「ただ一緒に遊ぶだけではなく友達の気持ちを
	考えることが大切だ。」と発言し、これまでの自分はどうだったかを振り返っていま
	した。最近では、友達を思いやることができるようになり、成長を感じます。

命について考える学習では、「自分だけでなく、他の人の命も大切にしたい」と振り返りました。また、友達と「命が大切だと思った経験」を話し合う中で、生命を大切にしようという気持ちを高めることができました。日常生活の中でも友達を大切にする姿が見られました。

3 年

道徳の学習をとおして「親切にすること」の大切さについて考えました。授業の中では喜んでもらった時の気持ちを「ぼくまで嬉しくなった。」と書いていました。進級当初と比べると、相手を思いやる気持ちが高まり、すばらしいと思います。

道徳の時間に、なぜ決まりを守らなければならないかをみんなで考えました。「決まりを守れば、危険なことは起こらないと思う。」と考えを深めることができ、帰りの会でも「廊下を走らないでほしい。」と訴えるなど、決まりを守ろうとする意欲が高まりました。

命の大切さについてはしっかり理解していましたが、授業の中で自分の利益を投げ捨ててでも他人の命を守ろうとする読み物資料の登場人物の行動に共感し、さらに命の尊さについての考えを深めることができるようになりました。

年

4

困っている人に気付きながらも助けることができなかった主人公の思いに共感し、自分を見つめていました。親切にすることに対する恥ずかしさがあることに気付きながらも、相手の立場に立った行動の大切さを再確認し、生活の中で実践していこうとする意欲をもちました。

清水小学校の自慢や改善点について、友達や保護者、卒業生からのメッセージを聞いて、5年生へ進級するという自覚をもちました。さらに、より良い清水小学校にしたいという思いをもち「挨拶をがんばりたい。」と決意をし、実践しています。

5

いじめについての学習で、「いじめは人の心を深く傷つけるので絶対にしてはいけない」と発言し、それを日常生活でも実践し、困っている友達に優しく接していました。〇〇さんの優しさが学級にも広がり、いじめのない楽しい学級づくりに一役かっています

年

正義感が強く、道徳の授業においても不公平を許さないという態度が見られ、「好きな友達の味方をするのではなく、何が正しいか考えて判断すべき」と発言していました。日常生活で問題が起こったときに、公正・公平に照らしてより良い解決方法を考えることができました。

人に対して偏見をもたずに、良いところを見つけようとする姿が見られます。友達と意見が違っているときも、相手の気持ちを考えながら、どうすることが正しいのか判断し、調整しようとしていました。

『〇〇』では、「たった一つのかけがえのないものだから自他の命は何よりも大切にしなければならない」と、生命の尊さについて学びを深め、他教科においても命の尊さや生命尊重の立場に立った発言が度々見られるようになりました。

6 年 授業で「公平」について深く考え、どんな立場の相手でも、状況や場面に応じて平等に接したり、公正に判断したりしようという意識が高まりました。学級会でも公正な発言が顕著に見られ、友達に対して分け隔てなく接することができています。

「努力と強い意志」の授業をとおして、困難なことがあっても簡単にあきらめることなく、見通しをもって最後まで取り組む姿勢が身に付いてきています。目標に沿った取組ができるようになってきており、成長を感じます。

(ク) ワークシートについて

- ワークシートのパターンや書く量、内容は資料によって変えた方がよい。
- 〇 本校では、「考えをもつ場面」「自己を見つめる活動」「終末の感想」などから2回程度が 適当ではないかと考えている。しかし、「体験活動では感想だけ」「自己を深く見つめさせ る授業では3回」など、ねらいと照らし合わせて工夫する。吹き出しや思考の可視化、自 己評価など書き方も工夫をする。

(注1) パフォーマンス評価について

心の可視化:言葉で表す、文字で綴る、選択肢から選ぶ、劇化、役割演技、絵や図で表す、実際の行動等から、道徳性を判断する。

(注2) ポートフォリオ評価について

評価は1時間で見取れる性質のものではない。長いスパンで成長過程を見取っていくが、毎時間の評価も大切で、成長過程の一断片として記録に留めておく。ポートフォリオで成長の足跡をしっかり振り返って、その後の指導や評価に生かしていく。

(注3) ルーブリックについて

評価基準のことである。評価は数字では表さないが、どのようにパフォーマンス評価を行うのか評価基準をもっておくことによって、児童の変容が分かる。価値は、その時間の「ねらい」と一体化している。

- 5 価値を実践していこうとする意欲がある。
 4 理解した価値について、自己を見つめることができている。
 3 価値について気付いたり、理解したりしている。
 2 資料のことには触れているが、価値の理解までには至っていない。
 1 価値についての記述がない。
- (注4) 清水小学校の「通知表」の記述欄について

本校では、28年度の通知表の様式を以下のようにした。(高学年の場合)

するよう		
窓の時間 間		
す 動のよう		
う す 別	(係活動の欄)	(クラブ活動の欄)
ず別活動	(学級活動の欄)	
の	(児童会活動の欄)	
よ	(学校行事の欄)	

※ 低・中・高学年ともに、文字数は約120文字とする。

オ 道徳教育全体計画の作成

道徳教育全体計画を見直し、修正を行った(P7参照)。

カ 掲示物の作成(授業の流れ、話型、聴き方、私たちの道徳の活用のし方)

各学級に掲示するものについて話し合い、作成した。







写真7・8・9 授業研究部作成の掲示物

キ 「私たちの道徳」の活用に関する研究

- 〇 児童へ向けた活用の促進
 - 普段の活動の中で写真7・8・9のような掲示を行い、活用するよう促している。
- 「私たちの道徳」の様々な場面での活用方法や保管のし方について検討した。
 - ① 本校の研究主題における「私たちの道徳」の位置付け
 - 道徳の授業を主として、教育活動全体や家庭で活用する。
 - いつでも、何度でも、自分の思いを書き込んだり、読んだりできるようにする。
 - ・読み物資料を全体計画別葉に位置付ける。
 - ・評価の記録としても活用できるようにする。
 - ② 道徳の授業における活用
 - ・副読本としての活用
 - 「導入」(価値に迫るための資料)、「展開後段」(自己の振り返り)、「終末」(説話 との関連)、「事後指導」(がんばりカード等として)において活用する。
 - ③ 学校生活全般における活用
 - ・日常生活で書き込む。
 - ・ 学級活動や各教科等で活用する。
 - ・印刷して掲示する。
 - ・朝の読書の時間に読ませる。
 - 日記指導と関連させる。
 - ④ 家庭生活における活用
 - ・家庭に向けた通信を発行する。
 - ・家庭で一緒に読んで話題にする。
 - 保護者欄に記入をしてもらい、家庭と共に道徳教育を行う。
 - ・親子読書の課題にする。

② 地域・家庭・中学校連携部

地域・家庭・中学校連携部の活動内容は次のとおりである。

- ア 道徳教育の意義についての啓発活動
- イ 地域の人々の参加や協力による学校の教育活動の推進(ゲストティーチャーリストの 整備)
- ウ 小中連携の推進

ア 道徳教育の意義についての啓発活動

道徳教育について家庭や地域に周知するため、次の啓発活動を計画し、実践している。

- ① 家庭や地域への発信 … 道徳教育のようすを学年、学級通信により発信
- ② 学級懇談会の充実 … 望ましい子育ての心構えについて考え学ぶ機会の提供
- ③ 授業の実施への保護者への協力依頼 … 「私たちの道徳」や「道徳ファイル」の活用



写真10 道徳ファイルについての啓発活動

☆ 児童の発言や思いを学級通信等で紹介 し、家庭での共通の話題にしてもらってい る。

いのちを見つめる強調月間では道徳の授業 参観を終えて「一日一日を大切にして、何 に対しても離に対しても感謝の気持ちを忘 れずに命を大切に思う気持ちをしっかり持 って生きていってほしいです。(保護者感想 より)」という感想を書いていただくなど、 家庭との連携も積極的に図っている。

イ 地域の人々の参加や協力による 学校の教育活動の推進

本校では、地域活用ゲストティーチャー一覧表を活用して、地域の人々の参加や協力により 学校の教育活動を推進している。「清水っ子スマイルフェスタ」や「ボランティア集会」な ど、地域の方々を多様な文化や人と触れ合える接点として捉え、実践している。





写真11・12 清水っ子スマイルフェスタにおける地域の方々と児童とのかかわり

地域や保護者の方からは、次のような感想をいただいている。

- 日頃子どもたちとのふれあいの場がなくなってきているので、このような機会は非常に大切だと感じた。昨年も参加したが、毎年子どもたちが成長しているように思う。
- ・地域の方とのコミュニケーションの場となり、とてもよいと思った。
- 積極的に新たな課題に挑戦しようとしていた。熱心に取り組む姿や感性がすばらしい。
- 指示に対してすばやく動け、挨拶や礼儀正しさが目に付いて良かった。

くゲストティーチャーリストの整備>

保護者や地域、外部団体への協力を得て、授業の実施や教材の開発・活用を行うには、名前や 得意分野、連絡先等をまとめたリストが必要である。下記のようにリストを作成し、整備・充 実を図っている。

夫 1	地域活用ゲストティ	ーチャー	—暫夫	(記入	(例)
12	心场山田ノヘーノイ	ノソ	晃玖		レビス

[1学年]					
教科	単元名	内容	名 前	地域 保護者	連絡先	備考
生 活	むかしのあそびを たのしもう	昔遊びのやり方を教えて いただいたり、一緒に遊 んでいただいたりした。	〇〇〇〇 (紙相撲)	地域		挨拶・安全ボランティ ア



写真13 道徳の授業



写真14 生活科 昔遊び

く地域との連携>

○ 清水っ子を育てる会(学校支援会議)

清水小学校に設置されている学校支援会議で、年間2回 (6月・2月)の定例会がある。地域・家庭の代表の方と ともに様々な場面での児童の姿について情報交換をしてい る。学校公開ウィークには授業参観をお願いし、ご意見・ ご感想をいただいている。



写真15 学校支援会議

ウ 小中連携の推進

清水中学校との小中連携会議を窓口にして、どのような連携が可能か探りながら計画・実践を行っている。(紀要 P50「小学校・中学校連携の実際」参照)

③ 資料・調査部

資料・調査部の活動内容は次のとおりである。

- ア 道徳性に関するアンケート(児童・保護者対象)の作成と実施、結果の分析・考察
- イ 各学年全体計画別葉の作成と修正
- ウ アンケート結果の考察
- ア 道徳性に関するアンケート (児童・保護者対象) の作成と実施、結果の分析・考察 児童の道徳性と授業に対する意識を把握し、重要項目や全体指導計画作成の際の参考にする ため、児童・保護者を対象に、アンケートを実施した。

【児童】昨年度は8月、2月、今年度は4月、7月の計4回実施。

【保護者】昨年度は9月、今年度は7月の計2回実施。

その結果、本校では下記のような傾向が見られた。

保護者から見た児童に対する評価が低い価値と、保護者が学校で力を入れて指導してほしいと願う価値とは、必ずしも一致しない。

(例 1年生 「節度、節制」は保護者から見た児童に対する評価は低いが、学校で力を入れて指導してほしいと願っている保護者の人数は大変少ない。家庭で指導するべき価値と考えていると思われる。)

# 0	道徳アンケートから得られた児童及び保護者の道徳	
	1日28 アーバナートハックラクスルに足田 27(11年重石ル)1日188	. "1 "+ (/) = Ψ 1 1111

	児童の自己評価が低い価値	保護者の評価が低い価値	保護者の願いが高い価値				
1	節度、節制 個性の伸長	節度、節制 個性の伸長	友情、信頼 生命の尊さ				
年	礼儀	礼儀	規則の尊重				
2	節度、節制 感動、畏敬の念	節度、節制 正直、誠実	友情、信頼 善悪の判断				
年	礼儀	国際理解	生命の尊さ				
3	節度、節制 公正、公平	伝統と文化の尊重	規則の尊重 より良い学校				
年	正直、誠実	節度、節制 個性の伸長	生活 親切、思いやり				
4	相互理解 親切、思いやり	個性の伸長 相互理解	相互理解 親切、思いやり				
年	公正、公平	節度、節制	より良い学校生活				
5	親切、思いやり 相互理解	個性の伸長 希望と勇気	公正、公平 相互理解				
年	公正、公平	相互理解	思いやり、感謝				
6	個性の伸長 節度・節制	個性の伸長 希望と勇気	規則の尊重(公正、公平)				
年	友情、信頼	真理の探究	より良い学校生活				

次に、アンケートの結果をもとに、下記の点に考慮し、重要項目を設定した。

- ① 「生命の尊さ」は、社会的背景や、全校的に保護者の願いの上位に上がっている点を考慮し、全学年の重点項目として設定した。
- ② 学年ごとに、児童と保護者(主として保護者)の評価が低い内容項目と、学校の道徳教育において特に力を入れて指導してほしいと保護者が願っている内容項目を重要項目として重視した。

それらの内容項目の中から、低・中・高で共通の重要項目を「善悪の判断」、「親切、思い やり」、「公正、公平」と設定した。さらに、学年ごとにも設定した。

学年 全学年 低•中•高学年 各学年 1年 A-(1)善悪の判断、自律、 A-(3)節度、節制 生命の尊さ ク年 B-(9)友情、信頼 自由と責任 D-(17)…低学年 3年 C-(11)規則の尊重 D-(18)…中学年 B-(6)親切、思いやり 4年 C-(15)より良い学校生活 D-(19)…高学年 5年 B-(11)相互理解 C-(13)公正、公平 6年 A-(5)希望と勇気

表3 アンケート結果を考慮した重要項目一覧

イ 全体計画別葉の作成と修正

各学年の重要項目を決定した後、下記の点に考慮し、学年ごとに全体計画別葉を作成した。 (詳細は、紀要56ページから67ページ参照。)

- (ア) 重要項目を、2時間以上取り上げて実施する。
- (イ) 他の教科や行事、体験活動との関連を図る。
- (ウ) 「私たちの道徳」との関連を図る。

ウ アンケート結果の考察

昨年度と今年度で児童と保護者向けに実施した、「道徳性に関するアンケート」の結果を比較 考察した。さらに、重要項目の再検討を行った。

(ア) 保護者アンケート

					保	護	者		
	NO	FF 88	1	2	3	4	5	6	177
	NO g	質問	年	年	年	年	年	年	平
			生	生	生	生	生	生	均
	1	「やってはいけないことは、 ぜったいにやらない。やらなければいけない	3.3	3.5	3.1	2.9	3.1	3.4	3.2
		ことは、しっかりやっていく。」を守っていますか。	3.1	3.0	3.2	2.9	2.8	3.0	3.0
	2	 まじめに、明るい気持ちで生活していますか。	3.0	3.5	3.0	2.9	2.7	3.7	3.1
	_	CC C C C C C C C C C C C C C C C C C C	2.9	2.9	3.0	3.1	3.0	3.6	3.1
	3	 自分の生活を見直しながら、よく考えて行動していますか。	3.0	3.3	2.5	2.6	2.9	3.0	2.9
Α			2.8	2.5	3.1	2.9	2.5	3.0	2.8
	4	自分の特徴をよく知り、短所を直し、長所をのばそうとしていますか。	2.8	3.4	2.8	2.6	2.8	2.9	2.9
			2.8	2.8	2.9	2.7	2.4	2.9	2.8
	5	より高い目標をもち、希望に向かって、最後までやりとげていますか。	3.3	3.4	3.2	2.7	3.1 2.6	3.1 2.9	3.1
	_		3.4	3.2	3.0	2.0	2.0	3.0	3.0
	6	真理を大切にし、物事を探求しようとする心をもっていますか。					2.6	3.0	2.8
	7	誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしています	3.6	3.6	3.6	3.2	3.2	3.3	3.4
	1	か。	3.5	3.5	3.4	3.2	2.7	3.3	3.3
	80	 家族や地域の方に支えられていることに感謝し、応えていますか。	3.5	3.5	3.3	3.0	2.9	3.2	3.2
	0	多版で追嫁の/Jに文人り4ででいることに必要し、心人でいる975。	3.3	3.1	3.1	3.1	2.8	3.1	3.1
В	9	時と場を考えて、誰に対しても礼儀正しく接していますか。	3.2	3.4	3.5			3.3	3.2
	5		3.1	3.0	3.1	2.9	2.6	3.3	3.0
	10	男女共に信頼し合い、友情を深め合っていますか。	3.4	3.5	3.4			3.3	3.3
		ウハッ田ハナヤイににこっても、 ウハッズヤイッ田ハナナヤにしていてす	3.5	3.3	3.5	3.1	2.9	3.2	3.3
	11	自分の思いを相手に伝え、また、広い心で相手の思いも大切にしています	-			2.7	2.9	3.2	2.9
		か。 	3.4	3.6	3.3	3.0		3.6	3.4
	12	社会のきまりの大切さを理解し、きちんと守っていますか。	3.4	3.2	3.2	3.2	3.5	3.3	3.3
	40		3.4	3.6	3.3	3.1	3.3	3.4	3.4
	13	差別や偏見なく、誰に対しても同じように接していますか。	3.3	3.3	3.3	3.0	2.9	3.3	3.2
	4.4	社会や学校のために進んで働いていますか。	3.2	3.4	3.4	2.7	3.0	3.1	3.1
	14	社会で子校のために進んで関いているタグ。	3.3	3.1	3.0	2.9	2.8	3.2	3.1
С	15	 家族のために進んで役に立とうとしていますか。	3.3	3.4	3.1	3.0	3.3	3.3	3.2
	-0		3.2	2.9	3.1	3.1	2.8	3.2	3.1
	16	先生や友達と協力し合って、学級や学校がより良くなるために自分の役割を	3.6	3.7	3.6			3.0	3.3
		果たしていますか。	3.6	3.5	3.2	3.1	2.7	3.3	3.2
	17	伝統や文化を大切にし、日本やふるさとを愛する心を持っていますか。	3.0	3.8	3.0		3.0	3.1	3.1
			2.9	3.1	3.0	2.9	2.6	3.2	3.0
	18	他の国の人々や文化について理解しようとしていますか。	2.9	3.1	3.0	_	2.9	3.2	3.0
			3.6	3.8	3.5	3.3	3.5	3.4	3.5
	19	生命の尊さを理解し、何よりも大切にしていますか。	3.6	3.6	3.6		3.1	3.6	3.5
	20	白砂の浄土さち切り 白砂漂流を上切り ブレキまか	3.3	3.3	3.1	3.2	3.4	3.3	3.3
D	20	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にしていますか。	3.3	3.3	3.5	3.3	2.9	3.4	3.3
	21	美しい自然や人間の力を超えるような偉大なものに感動する心をもっていま	3.6	3.4	3.3	3.0	3.3	3.3	3.3
	۱ ک	すか。	3.5	3.5	3.4	3.2	2.9	3.3	3.3
	22	よりよく生きようとする人間のすばらしさを理解し、人間として生きる喜び	/,	/	/	/		3.1	3.1
		を感じていますか。					2.8	3.1	3.0

上段は平成27年9月(1年生は28年4月)、下段は28年7月のアンケート結果の平均値を示す。

- 〇 平成27年9月と平成28年7月の結果を比較したところ、全体的に見て大きな変容は 見られなかった。家庭に向けて、こころの輪や学級通信や道徳ファイルで道徳の授業内容 についてお知らせしたり懇談会で話題にしたりして、保護者への働きかけを行ってきた。 今後も引き続き、家庭との連携を密に取りながら実践を継続して行う必要がある。
- 2回のアンケートとも、22項目のうち「生命の尊さ」の平均値が最も高くなっている。これは、長年本校で「生命の尊さ」に関わる道徳の授業公開が継続的に実践されてきたことが実を結び、保護者の高い評価につながったものと思われる。

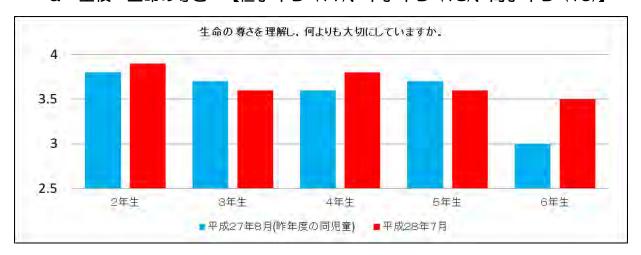
(イ) 児童アンケート

			児童						
	NO	質問	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年生	6 年 生	平均	
	1	「やってはいけないことは、 ぜったいにやらない。やらなければいけない ことは、しっかりやっていく。」を守っていますか。	3.5	3.2	3.2	3.5	3.0	3.2	
	2	まじめに、明るい気持ちで生活していますか。	3.5 3.1	3.2	3.2	3.4	2.9 3.4	3.2 3.3	
	3	自分の生活を見直しながら、よく考えて行動していますか。	3.3	2.7	3.0	3.4	2.6	3.0 3.2	
A	4	自分の特徴をよく知り、短所を直し、長所をのばそうとしていますか。	3.4	3.4	3.3	3.6	2.7 3.0	3.3	
	5	より高い目標をもち、希望に向かって、最後までやりとげていますか。	3.4	3.3	3.3	3.4	2.8	3.2	
	6	真理を大切にし、物事を探求しようとする心をもっていますか。	\overline{Z}			3.3	2.8	2.8 3.2	
	7	誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしています か。	3.6	3.5	3.4	3.4	2.6	3.3	
	8	家族や地域の方に支えられていることに感謝し、応えていますか。	3.5	3.5 3.4	3.4	3.6 3.5	2.9	3.4 3.5	
В	9	時と場を考えて、誰に対しても礼儀正しく接していますか。	3.4	3.1 2.9	3.2	3.4	2.8 3.4	3.2 3.3	
	10	男女共に信頼し合い、友情を深め合っていますか。	3.5	3.3	3.7	3.7	2.4	3.3	
	11	自分の思いを相手に伝え、また、広い心で相手の思いも大切にしています か。	/	3.1	3.5	3.3	2.6 3.1	3.1 3.2	
	12	社会のきまりの大切さを理解し、きちんと守っていますか。	3.6	3.4	3.4	3.6	2.9 3.2	3.4 3.4	
	13	差別や偏見なく、誰に対しても同じように接していますか。	3.6	3.3 2.9	3.1	3.4	2.6 3.1	3.2	
	14	社会や学校のために進んで働いていますか。	3.4	3.4	3.3	3.4	2.8 3.1	3.3	
С	15	家族のために進んで役に立とうとしていますか。	3.4	3.2	3.6	3.6	2.7 3.3	3.3 3.4	
	16	先生や友達ときょうカレ合って、学級や学校がより良くなるために自分の役割を果たしていますか。	3.3	3.4	3.3	3.7	2.8 3.1	3.4	
	17	伝統や文化を大切にし、日本やふるさとを愛する心を持っていますか。	3.8	3.6	3.5	3.6	3.0	3.5 3.5	
	18	他の国の人々や文化について理解しようとしていますか。	3.6	3.4	3.4	3.5	2.8 3.2	3.3 3.4	
	19	生命の尊さを理解し、何よりも大切にしていますか。	3.8	3.7	3.6	3.7	3.0	3.6 3.7	
D	20	自ぜんの偉大さを知り、自然環境を大切にしていますか。	3.3	3.3	3.7	3.8	3.0	3.4 3.5	
	21	美しい自然や人間の力をこえるような偉大なものに感動する心をもっていますか。	2.9	3.2	3.5	3.5	3.3	3.2 3.3	
	22	よりよく生きようとする人間のすばらしさを理解し、人間として生きる喜びを感じていますか。				3.5		3.0 3.4	

上段は平成27年8月、下段は28年7月のアンケート結果の平均値を示す。経年変化を見るため、1年生児童については実施していない。

(ウ) 重要項目についての考察

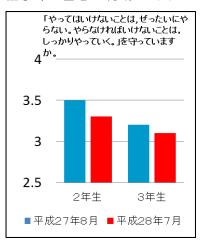
a 全校 生命の尊さ 【低学年 D-(17)、中学年 D-(18)、高学年 D-(19)】



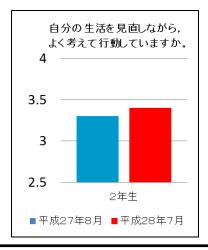
○ 全校の重要項目として取り組んだ結果、全校の平均値が3.6から3.7ポイントへ上 昇していた。特に6年生については、0.5ポイントの上昇が見られた。これは、本校の 6月の「いのちを見つめる強調月間」における道徳の授業実践や、年間を通した図書ボラ ンティアの方による「いのちに関わる絵本の読み聞かせ」、6.29平和集会等、様々な 取組の成果だと考える。

b 低学年

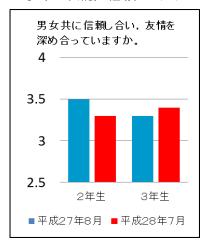
低学年 善悪の判断 A-(1)



1 学年 節度, 節制 A-(3)



2学年 友情, 信頼B-(9)



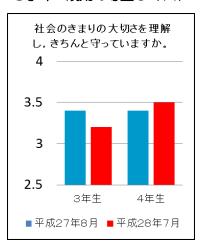
○ 低学年の重要項目について、特に大きな変容は見られなかった。3つの重要項目については、道徳の授業の中で大切に実践を重ねてきたが、「廊下を走ってはいけない」というきまりを理解していても、休み時間には運動場に走っていく児童の姿が見られる。今後もこの3つの価値については、重要項目として位置づけ、低学年のうちに善悪の判断ができる児童を育てるため、継続的に指導していく必要がある。

c 中学年

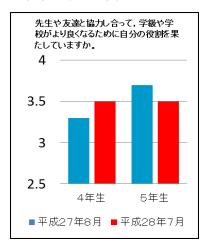
中学年 親切、思いやりB-(6)

誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしていますか。 3.5 3 2.5 3年生 4年生 5年生 平成27年8月 平成28年7月

3学年 規則の尊重C-(11)



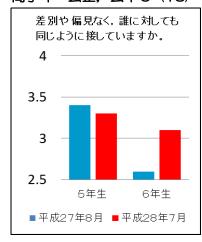
4学年 よりよい学校生活C-(15)



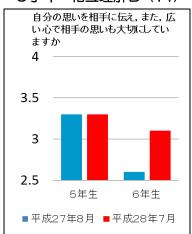
○ 中学年の重要項目について、大きな変容は見られなかった。4学年のよりよい学校生活 (C-5)については、平均値が3.3から3.5と0.2ポイント高くなった。これ は、年度当初と年度末に、よりよい学校生活にするためにという主題で道徳の授業を確実 に実践するとともに、一人一人に係活動等について丁寧に指導や賞賛をしたことにより、 児童の意識が高まったのではないかと考える。

d 高学年

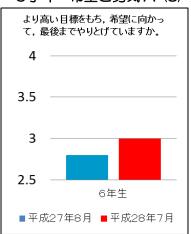
高学年 公正, 公平C-(13)



5学年 相互理解B-(11)



6学年 希望と勇気 A-(5)



○ 高学年の重要項目については、第5学年は大きな変容は見られなかったが、第6学年は全体的に向上していた。特に、公正、公平、社会正義(C-13)については、平均値が2.6から3.1と0.5ポイント高くなった。なお、昨年度の6年生も同時期の調査は3.5であった。6年生の児童は最高学年として、たてわり活動のリーダーを任されることで、下級生と接する機会が増え、公正な態度が育ちつつあると考える。

④ 環境整備部

環境整備部の目的は「次年度以降もいつでも身近に道徳の資料があり、毎時間安定して授業に取り組みやすい環境をつくる」「児童が日常的に道徳的な価値に触れられる環境をつくる」ことである。この2点を踏まえ、次の3点について活動した。

- ア 資料整理
- イ 掲示
- ウ 通信・ホームページ
- ア **資料整理** ※道徳の授業で使用する資料(挿絵・ワークシート等) 次年度以降も使えること、工夫を加えていくことを目的として行う。

方法については、

- データ化できる資料は、共有フォルダに保存する。
- ・データ化できない資料(画用紙や模造紙など)は、ケースにストックして、「資料名」 や「主題名」などを記入して整理し、次年度以降も追加・修正しながら活用していく。







写真16・17 資料を保存するケース(外側に全体計画別葉表示)

資料名・主題名などが わかるタグで仕切る

イ 掲示



写真18 3年生の掲示例

道徳掲示板「はあとコーナー」を設置。各学年のそれぞれの重点項目を扱った授業について、全校児童に問いかけるような内容の掲示物を作成する。その問いかけに児童が応えられるように、考えを書くカードを準備して、児童の声も掲示する。





写真19・20 子どもたちの声を広げるボックス

どの学年にも同じ道 徳的価値について触 れ、考えてもらうこ とがねらい。

ウ 通信・ホームページ

通信「こころの輪」の発行。掲示と同じテーマで、原稿は各学年に書いてもらう。構成は、

- ・授業の概要・ねらい・活動
- ・児童の意見(発表・ワークシートなどから)
- ・家庭へのお願いや教師の願いなど

の3部構成とする。

また、保護者の意見や感想を書いてもらう欄を設け、次号にその声を載せる。今年度は回覧 板を使って、地域にも広げる。

3 中学校の研究

(1) 研究仮説

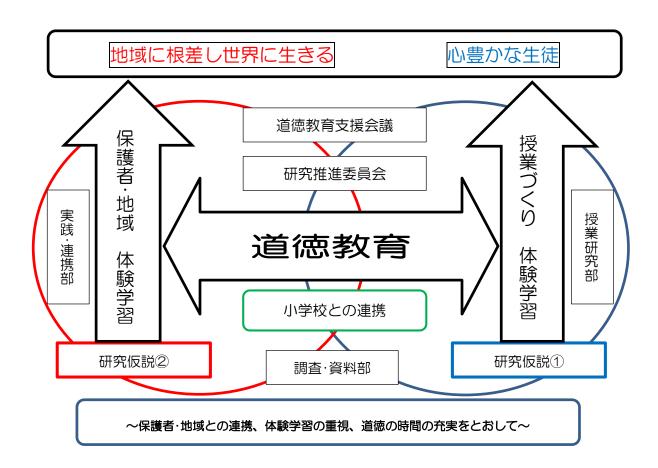
仮説①:道徳の時間の授業づくりの視点より

道徳の時間の授業づくりにあたり、全生徒の意思表示の場面、意見交流の場面、実生活への振り返りの場面を積極的に設定することで、広い視野から多面的・多角的に考えることのできる生徒を育てる。また、特に主発問に対しての活動における多様な学習方法を経験し、他者の意見を聞き、自己を見つめ、「道徳的な判断力、道徳的心情」を身につけさせる。これらの道徳の時間における多様な考えの体験とそれに関わる体験学習及びその他の教育活動を通して、心豊かな生徒を育てることができるであろう。

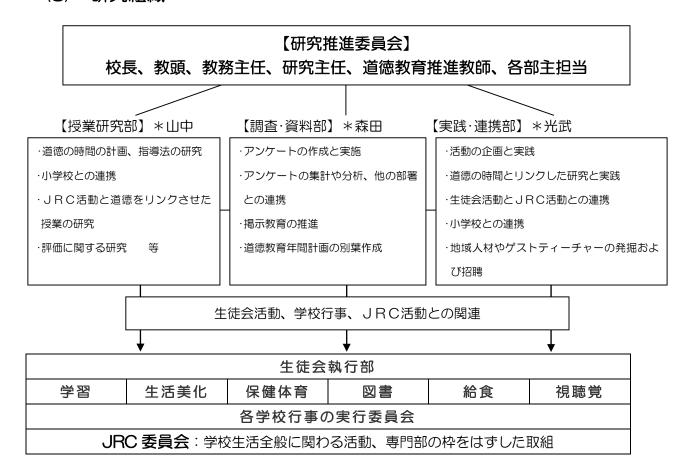
仮説②:保護者・地域との関わりや体験学習の視点より

JRC活動を中心とした体験学習を、道徳の時間と関連付けながら道徳教育を計画的に実施していく。さらに、小学校や地域と積極的に関わりをもって道徳教育を行うことで、心豊かで郷土を大切にしようと考える生徒が増えるであろう。また、郷土について考えることと同時に、地域のみならず世界にも広く目を向けることのできる生徒も育ち、多くの人の幸せを考えるようになるであろう。

(2) 研究構想図



(3) 研究組織



各研究部の構成

	授業研究部調查·資料部		実践·連携部			
1年	池田	栁原	野間 (別葉)	吉村	瀬尾 (JRC)	中島
2年	久保田 【山中】	園田	佐藤(掲示)	中原 (掲示)	光武	吉田
3年	小宮 柴山	川﨑麻生	森田(調査)	松尾 (調査)	岩永	松添 (生徒会)

昨年度までは、授業実践部、調査研究部、JRC活動部という名称で、研究を進めてきた。小 学校との連携や昨年の反省を踏まえ、組織の名称変更と活動内容の見直しを行った。

(4) 研究の経過

(平成27年度)

月	В	研修形態	研修内容等
,,,	3	校内研修1	研究の全体計画
4	15	校内研修2	学年の公開授業の時期決定、組織の確認と部ごとの活動
	27	校内研修3	本発表当日の授業について、各学年の授業者決定
	7		道徳アンケート①・アセス①実施・ i -Check実施
	19	校内研修4	本発表時の授業と日程の決定報告、授業改善の意見交換
5	21		佐世保市美し化プロジェクト活動①種まき
	28	第1学年研修	道徳 1年2組 山中教諭 4-(8) 授業研究1
	29	第1学年研修	道徳 1年3組 山中教諭 4-(8) 授業研究2
	2	公開授業1 校内研修5	1年1組 山中教諭「ふるさとに生きる」4-(8)郷土愛 『干潟の泥んこサブ』 ※小学校から参観
6	28	プロジェクトS	育友会と連携した福島ひまわり里親プロジェクトの畑開墾作業
	30	校内研修6	各研究部の活動
	6~15		福島ひまわり里親プロジェクト ひまわりの種まき
	0 10	2学年研修	道徳 2年3組 松尾教諭 4-(1) 授業研究 1
	7	23 70119	佐世保市美し化プロジェクト活動②※国道植栽
7	7	2学年研修	道徳 2年2組 松尾教諭 4-(1) 授業研究2
	-	公開授業2	2年1組 松尾教諭「きまりはなぜ大切か」4-(1)法やきまり 『信念
	9	中間指導	の "延長サヨナラボーク" 宣言』※小学校より参観
		校内研修7	助言者:佐世保市教育委員会、山岸准教授(長崎大学)
	9	校内研修8	研究の再確認、学年部会
	10	校内研修9	各研究部会、校内および教室環境整備
8	21	校内研修10	本発表および今後の道徳授業計画・準備
	27	第1回道感育支援会議	小中合同:発足式(場所:清水小)
	31	校内研修11	各研究部会および部会報告
	10	職員会議	本発表に向けたプレ授業について、日程と係分担について
9	24	3学年研修	指導案検討および公開授業の準備
	28	公開授業3	3年 1 組 野間教諭「世界に生きる一員として」4-(10)国際理解
		3学年研修	道徳(9/28)の授業研究
	5	1++	道徳アンケート②・アセス②実施
	13	校内研修12	各研究部会および部会報告
10	14	第2回道感增支援会議	中学校部会①道徳の教科化や研究の概要説明
		校内研修13	道徳授業検討会(各学年で)、教科授業検討会
		学年研修	指導案検討 ⇒指導案完成
		教科研修	(1年英語 園田教諭)(2年理科 森田教諭)(3年音楽 柳原教諭)
11	5	校内研修14	授業検討会 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大
11	11	第3回道熱質支援会議	中学校部会②意見交流、地域人材及びゲストティーチャーについての説明 (1年18月 小中教諭) (2年18月 松屋教諭) 原業研究
	25	学年研修 研究発表会	(1年1組 山中教諭)(2年1組 松尾教諭) 授業研究 佐世保市教育委員会指定「授業改善」 参加人数 77名
	25	校内研修	佐世保市教育委員会指定「授業改善」 参加人数 77 名 研究発表のまとめ、支援会議の伝達等
	9	第4回道感馆支援会議	いれれるのなとの、文援公譲の位建寺 中学校部会(③意見交流、ゲストティーチャーを活用した授業づくりについて
12	11	小中合同連絡会 	今後の研究の方向性の確認、交流について等
	25	校内研修15	各研究部会
1	26	校内研修16	各研究部会、その他
—	9	第5回道感教育支援会議	小中合同:部会報告と今後の見通し
	12	ゲストティーチャー道徳授業実践	1年3組 吉原支援員(担当:人保田)、1年1組 佐藤支援員(担当:山中)
2	15	校内研修17	各研究部会、その他
			2 学年全体 岩崎支援員(担当:2年職員)、3 学年全体 古賀支援員(担当:3年職員)
3	1	校内研修18	次年度に向けて、資料整理等
	•		

[※]内容項目については平成20年8月「中学校学習指導要領解説 道徳編」による。

(平成28年度)

		3年段)	
月	В	研修形態	研修内容等
		校内研修1	研究の全体計画
4	13	校内研修2	昨年までの成果と課題、育てたい生徒像、組織の確認と研究部の活動
	26	校内研修3	6/21 全校道徳の計画、学年の公開授業(時期・内容・授業者)決定、各研究部の報告
5	中旬		道徳アンケート①(生徒・職員)・ i -Check実施
5	23	校内研修4	学年の公開授業について、指導案フォーム提示等
		公開授業1	2年1組 山中教諭 「集団生活の向上」
	8	校内研修5	C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実
		1241 0 0 11 12 0	『ある中総体の判断』自作資料
	16	第2学年研修	2年2組 久保田教諭 C-(15) 授業研究
	0.4	<u>^++\</u> */ =	全校生徒 光武教諭 「支え合う命」D-(19)生命尊重
	21	全校道徳	ゲストティーチャー(石田治男氏、石田寿代氏)を交えた全生徒対象
6			の道徳及び保護者参観授業 ※小学校より参観
		小田+☆★ ○	2年3組 久保田教諭 「集団生活の向上」
	21	<u>公開授業2</u> 校内研修6	C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 『ある新人大会の判断』自作資料 ※小学校より参観
			『める新八八云の刊画』日に真科 然か子校より多観 助言者:押谷由夫(昭和女子大学大学院)教授
	28	校内研修7	おこり・14日日人 (日本以上) バチバチがり 教授 各研究部の活動
	29	3学年研修1	3年3組 松尾教諭 C-(12)(C-(14)) 授業研究
	11	3学年研修2	3年2組 松添教諭 C-(12) (C-(14)) 授業研究
	14	第1回道感情支援会議	小中合同:設置要綱·事業説明等(場所:清水小)
			3年1組 松添教諭 「みんなのことを考えるとは」
7	15	公開授業2	C-(12)社会参画、公共の精神(C-(14)家族愛)
i i		中間指導	『大地震』 ※小学校より参観
		校内研修8	助言者:県教育委員会、佐世保市教育委員会
	21	校内研修9	夏季休業中の校内研修及び本発表に向けた確認
	9	校内研修10	各研究部会、学年部会
	18	校内研修11	【午前】小学校との合同研修:授業研究、各研究部会
8			【午後】学年部会
	19	校内研修12	本発表当日の授業研究について、各研究部会、学年部会
	31	校内研修13	本発表当日の授業者・内容・時間割等の確認、学年部会
	5		道徳アンケート②(生徒・職員)
		第2回道感教育支援会議	中学校部会①道徳教育の現状と今後の予定、支援会議に期待される役割、意見交換
	21	校内研修14	各研究部会、指導案フォーム再提示、評価シート提示
9	20	1学年研修1	1年2組 野間教諭 授業研究
	23	1学年研修2	1年3組 池田教諭 授業研究
	00	研究授業4	1年1組 野間教諭 「『きまり』は何のためにあるのか」
	28	校内研修15	C-(10) 遵法精神、公徳心(C-(15) 集団生活の充実)
	_		『違反摘発受け臨終に会えず』『事故起こせば家族に悲しみ』
40	7	校内研修16	学年授業検討会、今後の日程
10	12	第3回道熱質支援会議	中学校部会②地域ボランティア、ゲストティーチャー、意見交換
	13	校内研修17	各研究部会、プレ授業について(各学年)
	2	校内研修18	各研究部会、プレ授業について(各学年)
11	9	第4回道熱質支援会議	中学校部会③
	15	校内研修19	当日の日程確認、準備等
	22	研究発表会	文部科学省委託「道徳教育の抜本的改善・充実にかかる支援事業」
		第5回道熱質支援会議	小中合同:部会報告と今後の見通し
		校内研修20~	次年度に向けて

※内容項目については平成27年7月「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」による。

(5) 道徳教育全体計画

学校教育目標

明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成

- ○生命を大切にし、豊かな心をもつ生徒
- ○心身が健康で、粘り強くやり抜く生徒
- ○意欲をもって自ら学び、創造する生徒

めざす学校像

1 明るく、活気のある学校 2 清潔で、節度がある学校 3 地域から信頼のある学校

本校教育方針

憲法・教育基本法の精神及び県・市の教育方針に則り、郷 土及び国家の担い手として、新しい時代を創造できる心身 ともにたくましい人間性豊かな生徒の育成に努める。教師 と生徒の信頼を築き、共に人間性の高揚をめざし、心身を鍛 え、知性を磨き、豊かな心を育み、自主・創造の精神に満ち た実践力のある生徒を育てる。

道徳教育目標

- 心身ともに健康でものごとに積極的に取り組む生徒の育成
- 2 自主自律の精神と自省心をもち、物事を根気よくやり抜く生徒の育成
- 3 自然を愛し、礼節を尊び、豊かな心と何ごとも勇気をもって取り組む態度、気 風の育成
- 4 公共心や連帯感をもち、自分の役割を自覚し、社会の発展に努力する生徒の育
- 勤労を尊び、理想現実に努力する生徒の育成

道徳教育重点目標

- 人間の生き方についての自覚を深め、生徒の道徳的実践力を育てる
 - ①礼儀、節度を重んじ、けじめのある、生活態度を育てる。
 - ②言葉遣いを大切にし、自他の人格、人権を尊重する態度を育てる。
 - ③道徳的実践力につながる授業の工夫と実践力を育てる。

生徒の実態

- 明るく元気である。
- 2 基本的生活習慣は良好で ある。
- 3 |勤労意欲が希薄である。
- 4 利己主義に陥りがちであ

保護者の実態

- 1 教育への関心が高い。
- 2 共働きが多いが、協力的で ある。

清水小学校との連携

- 1 授業や諸活動における交流 を通して連携を深める。
- 2 研修を通して情報交換を 行い、授業技術を高める。

学年別道徳教育目標

第1学年

1 C-(15)集団生活の向上 生活規律を守る態度の育成

- 2B-(6)思いやり 思いやりがあり、何事も根気よくや り遂げる態度の育成
- 3|B-(8)よりよい友情関係 集団の中の個を自覚し、和を大切に する
- 4 A-(1)自主·自律 自主的に協力して仕事をする態度の
- 5 D-(19)生命尊重

第2学年

1 D-(19)生命尊重 自他の生命を大切にし、互いの立場を 尊重する生徒の育成

- 2 B-(6)思いやり
 - 互いに信頼し合い、思いやりの心をも つ生徒の育成
- 3 A-(1)自主·自律
 - 自律・自主的精神をもつ生徒の育成
- 4 C-(15)集団生活の向上
 - 何ごとにも骨惜しみせず積極的に活動 する生徒の育成

第3学年

- 1 A-(1) 自主·自律
 - 最高学年としての自覚と責任をもち、 誠実に生きようとする生徒の育成
- B-(7)礼儀、適切な言動
- 時間を守り、礼節を尊び、時と場に応 じた言動のできる生徒の育成
- C-(12)公徳心、社会連帯
- 公徳心を身につけよりよい社会の実現 に努力する態度の育成
- 4 D-(19)生命の尊重
 - 自他の生命を大切にし、互いの立場を 尊重する生徒の育成

教科

- 1 各教科の目標達成
- 各教科の目標や内容に含ま れる道徳教育
- 3 わかる授業の展開を図る
- 4 望ましい学習態度の育成

道徳

- 道徳的な判断力を高める 道徳指導
- 2 道徳的情操、心情を豊か にする道徳教育
- 3 道徳的態度と実践意欲の 向上を図る道徳教育
- 4 「私たちの道徳」の活用

特別活動

- 個を生かし、自主性を育て る学級活動
- 2 自ら考え、自主的な課題の 解決をめざす生徒会活動
- 3 自ら体感し、生き生きと活 動する学校行事

総合的な学習の時間

3

- 「生きる力」の育成 2 学び方やものの考え方
- の習得 自己の生き方の選択

社 地 域

・・・学級育友会における道徳指導の研修、授業参観、学年・学級通信などによる広報活動 育成活動

家庭教育の促進 …学校の教育目標、方針の理解と協力の啓発、家庭における道徳教育の推進

関係諸機関との連携・・・青少年教育センター、児童相談所、青少年育成協議会、民生児童委員会、保護司会非行防止パイロット 推進協議会、警察

※家庭、地域社会との連携を密にして、しつけの強化や道徳的実践の強化を図る。

(6) 研究の実際

① 授業研究部

ア ワークシートや資料のファイリング(足跡づくり)

- 道徳ノート(H26、H27)…授業後、資料を貼ったり、ワークシートの代わりにした りする。
- ポケットファイル(H28)…綴じやすく、出し入れなどの管理がしやすい。授業で使 用した資料やワークシートを1ポケットに入れる。







イ 資料の分類・整理・保管

○ 保管棚を準備し、学年と内容項目が分かるように分類をする。次年度以降への参考 資料とする。

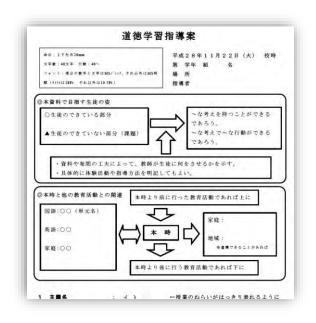
ウ ローテーション方式授業やリレー方式授業を実施

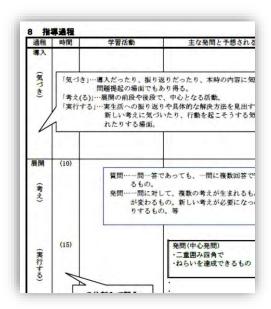
- 全職員の指導力向上と、担任以外の職員による生徒の観察及び評価を目的とする。
- 授業を参観した(もしくはT2で入った)教員が授業者と授業検討を行い他の学級で 同一教材を使って授業を行う。教材の改良が行われ、授業改善につながる。



エ 指導案の形式の統一

- 「育てたい生徒像」「他の教育活動との関連」を図式化し入れる。(小学校との連携)
- 「気づき、考え、実行する(ふりかえり)」の流れを展開内に入れる。
- 本研究との関わりを明記する。
- 座席表を入れ、重点評価生徒を記載する。





<関連図>

<展開部分>

オ 授業づくりの視点の共有(1)…生徒の活動等に関すること

- 全生徒参加を目指した、意思表示カードの利用とその発展的活用を考える。
- 価値葛藤を行わせる発問の工夫を行う。
- 意見交流(交換)の場の設定と工夫を行う。
 - (例)ファシリテーターによる進行、ホワイトボード活用、グループ内討議、ディベート 的討議、ワークシートの回し読み、KJ法、エンカウンター等

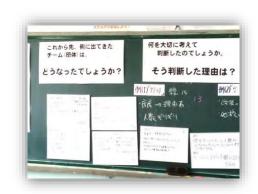










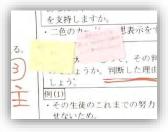


カ 授業づくりの視点の共有(2)…指導力向上やよりよい授業づくりに関すること

- 学年と授業研究部による指導案検討会を通して、授業づくりの方向性を確認する。
- 〇 年間数回の全職員対象の公開授業を実施する。KJ法を使った授業研究会を繰り返し行うことで、授業を見る視点の共有化を図る。
- 小学校との連携の一環として、お互いの授業研究会への参加。それぞれの発達段階 における授業づくりについて、ノウハウや考え方の意見交換を行う。

















キ 評価についての検討

- 授業内(または授業関連)や授業外での評価の具体的方策を検討する。
- 指導要録への記録を見越した、通知表の形式の変更及び文例作成を行う。
- 通知表への記載について、形式も含めて検討する。

【授業内】

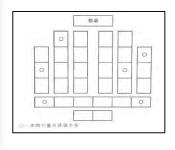
- ・展開(活動)の中で、心の変容が見られる場面や生徒本人の考えが感じられる場面を想定して授業を行う。
- ・重点的に評価を行う生徒を選んでおく。数回の授業で全ての生徒を評価できるように選ぶ。また、普段の生活の中で、内容項目に関係する言動で気になる生徒を抽出しておく。
- ・座席表やチェックシートを利用して、評価のポイントを確認しやすくし、簡単な記録が取れるようにする。
- ワークシートには自己評価を入れ、評価の参考とする。
- 授業で使用したワークシートの掲示を行う。

【授業外】

- ・ 職員連携のために、日頃の情報交換を密にする。
- ・別葉を基本にした、学校教育全体と道徳の時間または道徳内容項目との関連による生徒観察。
- ・児童生徒理解支援システム(佐世保市立の全小中学校に整備されているシステム)の活用により、日々の学校生活で観察できた生徒の言動を記録し、職員全体で情報を共有する。

5時間	目 項	目【「社	会参画·	公共の精神JC(12)、「?
	事前指導	関心・意	欲·態度	注目ワード
名	自(家族愛) 消(公共心)	発言量	記入量	家族、責任、社会、悩む(
孔明	自宅			
梨乃	消防			
達哉	自宅			
誓也	自宅			
結唯	自宅			
朋実	自宅			
奈穂	消防			
6+ IL	4			





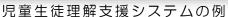
評価チェック表①

評価チェック表②

座席表

戦を戦っている。他の学校に下級生が多いこともあり、声を出してリーターシップを取るうとがんぱっている。言い方が厳しい時もあるが、「厳しく指示を出したらその倍ほめてやれ」と助言をしたところ、忠実に行っている。
駅伝の練習当初は一年生の中で遅い方だったが、毎日努力を重ねることでみるみる力をつけ、メンバー入りしている。今後の成長次第では選手として走る可能性も出てきた。
野活の集団での活動は、うまくコミュニケーションをとり、二日目は挺の中で寝ることができた。野活後、教室での学習時間がふえた。

「校
「根聴覚部に所属し、この夏の思い出をまとめる活動を友達と一緒にていねいに取り組んだ。オリンピックについてまとめた掲示物を完成させた。
「視聴覚部に所属し、この夏の思い出をまとめる活動を友達と一緒に









道徳教育に関わりのある学級掲示物



<評価の文例作成にあたって>

授業研究部では、以下の六つの視点で、評価の文例を検討した。

A:一面的な見方から、多面的・多角的な見方へと発展させている生徒

(例)道徳的な問題を解決するために行った判断の理由や気持ちを、自分と違う意見や立場を聞き入れ、理解しながら考えようとした。

B:道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で、深めている生徒

(例)話に出てくる人物と自分を置き換えて、同じ気持ちになって考えようと し、生き方に共感する姿が見られた。

C:発言が少ない生徒や考えたことを文章に記述することが苦手な生徒

(例)教師の話や他の児童生徒の話しに聞き入り、自分の中で考えを深めよう としていた。

D:その一時間の授業ではなく、長期的に見て変化があった生徒

(例)年度当初に比べ、授業の回を追うごとに、感想や質問への記述内容が他者に共感するものになったり、自分なりの考えを深めたものになったりした。

E:多様な指導方法における学習場面で成長が感じられた生徒

(例)議論の中で、自分の考えをしっかりと持ち、他者の意見も聞き入れなが ら、自分の考えを主張することができた。その中で、よりよい納得解を 得ようとした。

F:その他、上記の内容にない特徴的な生徒

- (例) 道徳の授業で体験したり、考えたりしたことを、他の教育活動(具体的な活動名)で実践する姿が見られた。
- ※上記の文例は、要録への記載を見越して作成しており、通知表への記載の際には、 保護者および生徒へ向けた文言になる。また、文例の前後には、授業の活動内容に よって、より具体的な文章を付けることになる。

<通知表の形式について>

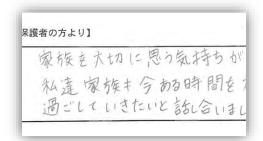
今年度から通知表に道徳の時間の評価を行うことで、職員間の共通理解を図った。

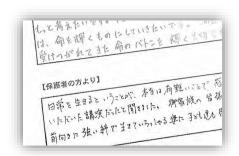
120文字を目安に、共通で使用する文例を上記の視点から考え、使用することにしている。評価は通年で行い、後期の通知表に記述する。



ク 道徳の時間と家庭との連携

- 資料やワークシートの持ち帰りによって、道徳教育への関心を高める。
- コメント欄を設け、道徳の時間を学校だけのものにしないための工夫を 行い、家庭との協力体制を築いたり、教育力の向上を図ったりする。

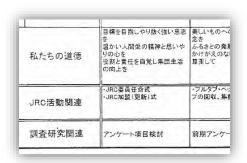




ケ 道徳教育と道徳の時間の関連

○ 調査·資料部によって作成された、道徳教育年間計画の別葉を活用することによって、 道徳の時間の活動がより効果的になるよう、他の活動との連携を図る。





く授業の実際>

○第1回公開授業(校内)

日 時 平成 28 年 6 月 8 日(水) 学級 第 2 学年 1 組 授業者 教諭 山中達也 主題名 「集団の中の一人」C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 関連項目(A-(1)自主、自律、自由と責任)

資料名 「ある中総体での判断」自作資料

授業の展開 二つの判断例を挙げ考えさせる、価値葛藤資料を使用した授業 意思表示カード、グループ内意見交換、ふりかえり、自己評価 ※昨年度までの授業づくりについての確認を行う。グループ活動場面を設定した。

○全校道徳

日時 平成 28年6月21日(火) 全学年対象 授業者 教諭 光武弘子

主題名 「支え合う命」D-(19)生命尊重

資料名 『支えあって生きています』

映像資料:NIBテレビ「24時間TV・愛は地球を救う」より

授業形態
ゲストティーチャーを交えた全生徒対象の道徳及び保護者参観

※持ち帰り資料に生徒の感想や保護者のコメント欄を付け、家庭とのやりとりを試みた。





○第2回公開授業(小学校職員20名参観、合同授業研究会)

日時 平成 28 年 6 月 21 日(火) 学級 第2学年3組 授業者 教諭 久保田英則主題名 「集団の中の一人」C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 関連項目(A-(1)自主、自律、自由と責任)

資料名 『ある新人大会での判断』自作資料

授業の展開 二つの判断例を挙げ考えさせる、価値葛藤資料を使用した授業 意思表示カード、グループ内意見交換、ふりかえり、自己評価

※リレー方式で授業を実施し、授業づくりや生徒の活動に深まりを持たせることができた。 小学校職員と合同で授業検討会を行い、有意義な意見交換ができた。







○第3回公開授業(小学校職員3名参観、合同授業研究会、中間指導)

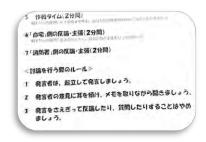
日時 平成 28 年 7 月 15 日(金) 学級 第3学年 1 組 授業者 教諭 松添由佳主題名 「みんなのことを考えるとは」C-(12)社会参画、公共の精神 関連項目(C-(14)家族愛)

資料名 『大地震』

授業の展開 ディベート活動を通し、真反対の意見を聞く時間をしっかりと確保すること で、自分の考えと照らし合わせて最終的な判断につなげていく。

※新たに教師側の評価チェック表を使用、意思表示カード(帯グラフ)の工夫、活動の工夫。





〇第4回公開授業(校内)

日時 平成 28 年 9 月 28 日(水) 学級 第 1 学年 1 組 授業者 教諭 野間陽介

主題名 「きまり」は何のためにあるのか?(C-(10) 遵法精神、公徳心) 関連項目(C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実)

資料名 『違反摘発受け臨終に会えず』(朝日新聞 2003年1月25日) 『事故起こせば家族に悲しみ』(朝日新聞 2003年1月31日)

授業の展開 二つの事例を挙げ、当事者の心情になって考えさせる、価値葛藤の場面を生かした授業。意思表示カード、グループ内意見交換、ふりかえり、自己評価、 教師側の評価チェック表改訂版使用、重点評価生徒の設定







<授業研究部の成果と課題>

成果 ・・・職員の所感を中心に

- ・生徒全員が授業に参加しやすい環境づくり(意思表示カード、意見交流の設定、活動場面での役割分担など)を考えた授業づくりができた。また、意思表示カードの工夫とそれを利用した発問を考えていくことができた。
- 他の教科も含め、グループ学習や活動を多く取り入れることで、他者との関わりの中で活動することに抵抗を感じない生徒が増えた。
- ・ 小学校との職員交流を通して、教材に対するアプローチの仕方や児童に接する際の授業技術の違いを学んだことで、授業づくりや指導に生かすことができた。
- 道徳の時間の準備を担任だけが行うのではなく、副担任も含め学年全体で行い、生徒を学校全体で育てようとする職員間の意識が高まった。
- 道徳の時間に考えさせる問題を、学校だけではなく家庭や地域とつなげようと試みる ことによって、今後の道徳教育のよりよい方向をイメージすることができた。
- ・評価について検討することで、生徒を見る視点やよい部分を褒めることが多くなった。

課 題 …今後継続していくこと

- ・検定教科書(読み物資料の部分)使用を見越した取組(読み取りにならない発問の工夫などの授業展開の検討と実施)。
- ・保護者や地域との連携(ゲストティーチャーや保護者参加型授業)の検討と実施。
- ・評価方法(授業内外それぞれ)の検討と実施後の再考。
- 授業づくりにおける資料収集の方法と教材化の研究。
- 年間計画および別葉の活用。職員や生徒が視覚的に学習の意識を持てるようにする工夫を行う。

② 調査・資料部

<研究へのかかわり>

本研究にあたり、生徒の現状や意識を知るためのアンケートを作成し、授業の改善や実践活動への活用に資するとともに、意識や行動の変化を把握する。また、掲示活動の推進と企画においてはJRC活動と連携しながら活動を進める。

ア アンケート作成(H26 年度~)

- 「生活面の意識調査」アンケートでは、霧島市立国分中学校の研究発表で使用された アンケートを参考に、本研究のテーマに合った道徳の内容項目を質問内容とし作成した。
- 〇 「道徳の授業に対する生徒の意識調査」アンケートでは、佐世保市立愛宕中学校で使用されていたアンケートを参考に作成した。
- 道徳の時間における評価との関連を示すために、評価に関する項目を追加し、教員の 意識調査も含め、今年度から実施した。

イ 別葉の作成

○ 昨年度に引き続き、新課程にあわせて、内容項目の表記と各教科の指導計画を踏まえて作成した。

ウ 掲示活動の企画・実践

O JRC活動や道徳の授業等とリンクさせた掲示物の工夫により、生徒の思いや意見を つなぎ継続させた。

くこれまでの具体的な取組状況>

ア アンケートの実施

- 26 年度および 27 年度(各年度 2 回実施)に引き続き、今年度も数回の研究部会を開き、アンケートの内容の検討を行った。その結果、28 年度もこれまでと同じアンケートを実施することとなり、5 月に 1 回目を、9 月に 2 回目を行った。
- 今年度のアンケートの項目に道徳の評価に関する項目を加えた。また、各学年の職員が、「特に重視する項目」との関連を検討した。

イ アンケートの集計と分析

- アンケート実施後に集計を行い、昨年度の前期から後期の変容、および特徴を分析した。それを受け、今年度の課題と全体的なテーマ設定のかかわりを分析した。具体的には、集計結果から全校的な傾向や特徴を考察し、どのように授業研究に生かせるか、道徳授業における資料収集や指導過程に導入する提案を行った。
- 課題における項目について、過去2年分との結果の比較を行い、これまでの研究との 関連を検討した。

ウ 掲示活動と整備

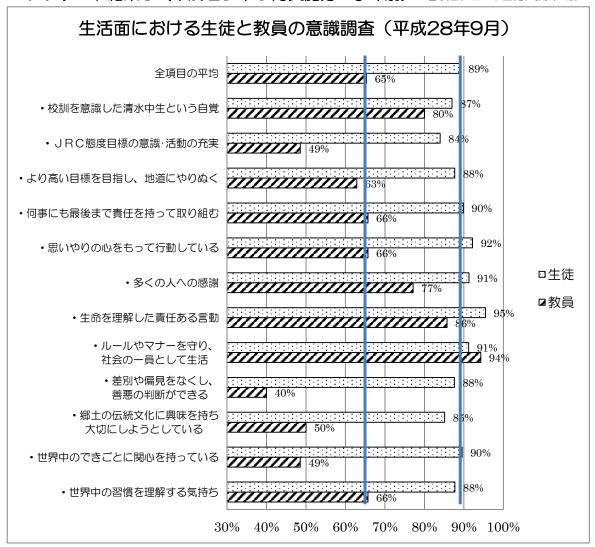
○ 調査·資料部で具体的な案を検討した。JRC活動を広く紹介するための掲示板設置、 各掲示板担当(各教科、書く文章など)の設定、掲示物作成、および購入も行った。

〈アンケートの集計から〉

ア 生活面における生徒および教員の意識調査

平成 28 年9月実施のアンケートにおいて、生活面に対する生徒と教員のそれぞれの 意識について、比較検討を行った。なお、集計については、各項目について「よくできて いる」「まあまあできている」の合計の割合を百分率で示している。また、生徒と教員の 平均値に線を引いて比較を行い、各項目の分類を考察として行った。

アンケート結果 I (平成 28 年 9 月実施分:学年別) ※各項目、上から生徒、教員の順



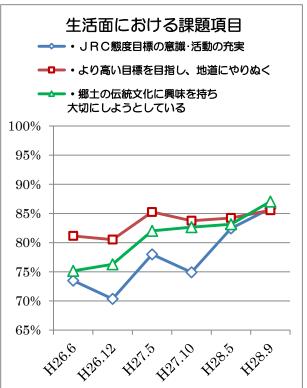
○ 考察1(本校の長所…生徒・職員とも高い評価)

「多くの人への感謝」「生命を理解した責任ある言動」「ルールやマナーを守り、社会の一員として生活」の項目については、生徒・職員も高い評価を示している。

- 〇 考察 2(本校の課題…生徒・職員とも低い評価) 「JRC態度目標の意識・活動の充実」「郷土の伝統文化を大切にする」「差別や偏見をなくし…」の3項目が、生徒・職員とも評価の平均より、低い項目である。
- 考察 3(教員が重点項目としてとらえ、教員の評価が低いもの) 「より高い目標を目指し、地道にやりぬく」の項目があてはまる。この項目については、各学年の教員が重点項目とする課題と重なっているか、あるいは近い項目である。各学年の重点項目のうち関連している項目は次の通りである。
 - •B-(6)思いやり、感謝(1、3年)
 - ◆思いやりがあり、何事も根気よくやり遂げる態度の育成。
 - C-(15) よりよい学校生活、集団生活の向上(2、3年)
 - ◆何ごとにも骨惜しみせず積極的に活動する生徒の育成。

イ 生活面における課題項目の変化

「ア 生活面おける生徒および教員の意識調査」によって得られた本校の課題を3つの項目にしぼり、それぞれの年度でどのように変化してきたかをグラフにまとめた。項目はそれぞれ、「JRC態度目標の意識・活動の充実」、「郷土の伝統文化を大切にする」および「より高い目標を目指し、地道にやりぬく」である。結果は、年度が経過するにつれて、改善してきている。特に、「郷土の伝統文化」は、本研究のサブテーマ「地域に根差した・・・」に関わるところであり、「地域連携に対する生徒の評価」を示したものととらえることもできる。

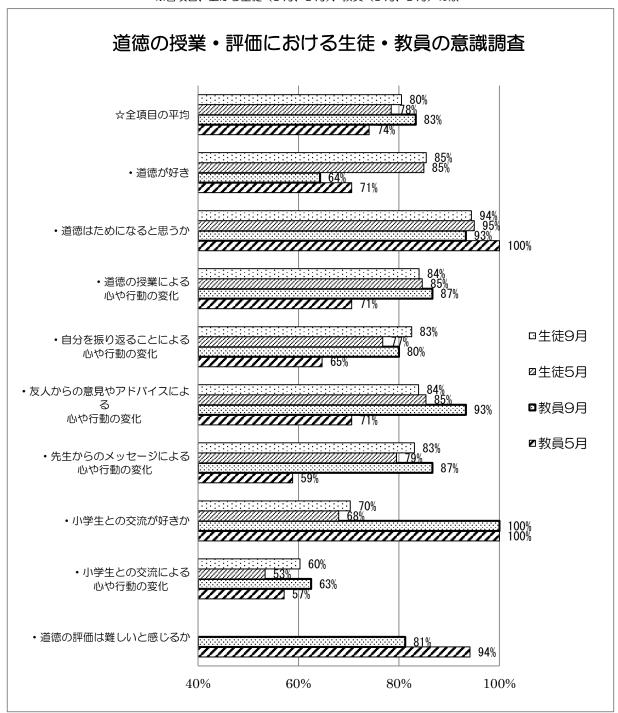


ウ 道徳の時間(教員は「評価関連」も含む)における生徒・教員の意識調査

平成28年5月及び9月実施のアンケートにおいて、道徳の時間における生徒と教員のそれぞれの意識について、比較検討を行った。なお、集計については、生活面での意識調査による集計と同様、各項目について「よくできている」「まあまあできている」の合計の割合を百分率で示したものである。この意識調査の目的は、生徒は、「道徳の時間をどのようにとらえているか。」もう一つは、「どのようなきっかけで、生徒の道徳性は変容するか。」について調査し、道徳の時間における評価と関連して検討した。なお、「道徳の評価は難しい」については、教員のみの項目とした。

アンケート結果 II (平成28年5月および9月)

※各項目、上から生徒(9月、5月)、教員(9月、5月)の順



○ 考察 1(本校生徒における道徳授業とは)

「道徳の授業が好きな生徒の割合」は85%を示し、全国平均(1年40%、2年39%、3年37%)に比べて、かなり高い。また「道徳の授業がためになっている」と考える生徒が9割を超え、全般的に道徳の授業を好意的にとらえている。それに対し、「道徳の授業によって自分が変わった」と考える生徒の割合は、「ためになる」とする割合よりも低く、「道徳の授業はためにはなるが、自分の行動が変わるまではいたっていない」と読み取ることができる。

○ 考察 2(生徒の行動を変えるきっかけになるものは何か)

「道徳の授業で自分の行動をかえるきっかけになったものは何か」を把握するため、「自分が変わったものは何か」という問いに対し、「自分の振り返り(自己評価)」、「友達の意見やアドバイス(他者評価)」、「教員からのコメント、メッセージ(教員による評価)」の三択で尋ねた。全般的に、大きな差異は見られなかったが、生徒も教員も「友達の意見やアドバイス」によるものが大きいと捉えていた。これまで、道徳の授業を中心にグループ活動を取り入れてきているが、いい意味で生徒にも教員にも反映されていることが分かった。

○ 考察3(教員における道徳授業における評価について)

教員に対して実施した「道徳の評価は難しいか」という質問に対して、5月には95%以上が「難しい」とこたえていたが、9月では、80%程度に減少した。これは、これまでの研究が進み、実際に検討し実施してきたことにより、具体的な方策が見えてきたためではないかと考える。しかし、全般的に「難しい」とする立場は変わらない。具体的に質問したところ、難しいとする理由は評価の方法についてであった。「どのように評価するか。」「基準や判断の根拠がはっきりしない。」「生徒を評価する際に、文章が上手な生徒や発表をたくさんする生徒の評価が高くなる傾向はないか。」「意図してそのようにふるまう生徒はいないか。」などがあげられた。また、今後必要なこととしては、評価に関する研修やワークシートの工夫、授業観察の方法、また評価の目的の共通理解などの課題が見えてきた。

く調査・資料部の成果と課題>

ア 本校生徒の特徴の把握

生活意識調査・道徳の授業に関するアンケートを通して、これまで把握できていなかった生徒の特徴を捉えたり、指導法と実践内容の方向性を検討したりすることができた。 それによって、研究仮説や実践に向けての共通理解が図られ、本研究の基礎資料とすることができた。

イ 生徒の変容と課題

複数回実施したアンケート結果を通して、生徒の意識の変化が数値の変化や記述から見られた。しかし、具体的な理由や原因および実践との関連を今後考察していく必要がある。また、生徒自身のフィードバックや職員による評価が必要であったことが課題である。それぞれの結果を比較することで生徒の変容の原因や実践との関連を検討していく必要もある。

ウ 小学校との連携

今後も清水小学校との共同研究を進める中で、その研究のもととなる、児童生徒の実態把握のアンケート調査が必要になると考える。どのような項目について児童生徒の実態を把握するか、あるいは、小中連携でどのような変容を期待し、成長させたいかを協議の上、小学校と連携しながら進めていく必要がある。

③ 実践·連携部(H27:JRC活動部)

【JRC活動と実践・連携部の設置にあたって】

JRCとは、青少年赤十字の略称で、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、「気づき、考え、実行する」ことを態度目標としている。日常生活の中で実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開していく活動である。JRC活動部では、本校の取組を推進していくために、JRC委員会を発足させ、生徒主体の活動をサポートしている。

実践・連携部では、まず、小学校と中学校が合同で取り組むことができる内容を検討した。検討内容の中で、小学校と中学校の全校児童、生徒、または、該当学年、学級を絞り込み、各取組の担当者によって、打ち合わせや調整を行い、交流を図った。

<平成27年度の取組>

ア 福島ひまわり里親プロジェクト活動

【目的】このプロジェクトに参加して、自分たちの手でひまわりを育て、種を採取して被災地に届ける活動を通じて、東日本大震災や原発事故で被災された方々の思いや 現状、支援の大切さを学び、支援の輪をひろげるきっかけづくりとする。

【内容】

ひまわりの種を福島のプロジェクト団体から購入し、校内や地域で育て、開花させる。 採取した種を福島県内の各ひまわり団体へ送り返す。福島へ送付する際は、全校生徒で応援メッセージを封筒に書く取組をした。ひまわり栽培の規模拡大を図るため、健全育成会と育友会の協力により、学級園を生徒ともに開墾し、学校全体でひまわりの種まきと管理を行った。夏休み前の地域連携懇談会では、家庭や地域にも、ひまわりの種を配り、活動への理解と協力を呼びかけた。

さらに、福島県で行われた全国発表大会である「ひまわり甲子園」に参加した。今まで 生徒が取り組んできたJRC活動の中の「福島ひまわり里親プロジェクト活動」について、 担当職員が発表を行った。他団体の取組を知るとともに、日本各地の方々と交流をするこ とができた。原発問題の影響で避難している中学校を視察し、これをもとに、次年度の取

組として、より活性化させる機会となった。





イ プルタブ、ペットボトルキャップの回収活動

【目的】「プルタブで車椅子を、ペットボトルキャップでポリオワクチンを」を合言葉に、身近なところでできるボランティア活動に取り組むことで、世界中のいろいろな人々に目を向け、ボランティア精神を高める。

【内容】

JRC委員が各学級で呼びかけを行い、毎月、回収量をチェックした。生徒集会で学級ごとの回収量を報告し、回収量の多かった学級に感謝状を贈った。年度末には、近隣の小学校から届いたものとまとめて各団体へ寄贈した。

ウ ゲストティーチャーの活用

【目的】道徳の時間に道徳支援員の方をゲストティーチャーに招くことで、地域とのつながりを広げ、道徳教育の充実のために理解、協力を得る。

【内容】

学年道徳の講師として、体育館にて一斉授業を担当してもらったり、各学級において経験談から問題を提起してもらったりして、普段と違った形式、形態での実践を試みた。保護者が参観する学年もあり、地域、家庭、学校とのつながりを深めた。

<平成28年度の取組>

ア 福島ひまわり里親プロジェクト【総合的な学習の時間】

日 時 7月 7日(木)

場 所 清水中学校ひまわり畑

該当学年 小学校5年牛 中学校2年牛

内 容 ひまわりの種まき、水やり

中学校全校生徒で水やりを継続し、成長過程を報告した。その後、種の収穫、福島へのメッセージ書きを行った。





イ プルタブ贈呈式【中:JRC活動 小:児童会活動】

時期 2月下旬~

場 所 社会福祉協議会

該当学年 小・中学校 全校生徒

内 容 1年間で回収したプルタブを贈呈する。

〈実践・連携部の成果と課題〉

成果

- 該当学年の児童、生徒は、意欲的に活動し、協力してやり遂げることができた。
- ・中学生は、小学生に対する配慮や思いやりの気持ちが見られ、自分たちだけの取組では見られない、気配りや声かけ、仕事に対する責任感が見られた。
- 取組の前には、メッセージ交換や自己紹介を行い、取組後には、感想やお礼状などを 作成して交換するなど、その場だけの取組になるのではなく、今後の取組にもつなが るような児童生徒の関わりの場を作ることができた。
- 各取組に関わる担当者が打ち合わせを行うことで、見通しを持って取り組むことができた。児童生徒にとって初めての取組であったが、円滑に進めることができた。

課題

- ・校外での活動が多く、天候に左右されることがあるので、担当学年の職員の綿密な打ち合わせが重要である。
- ・小学校と中学校の日課が違うので、それぞれの学校ごとに調整を行ったり、変更したりすることがある。
- 準備や児童生徒に対する心構え、事前指導にも予想以上に時間がかかることもある。
- ・活動を充実させていくには、小学校、中学校がよりよい取組へとつなげていくように、 互いに気づきや反省を率直に出しあいながら、検討を重ねる必要がある。
- ・ 小中全体が関わる取組において、対象となる児童生徒の発達段階に応じた話し方、指導方法、取組方法の工夫を考えていく必要がある。

4 小学校・中学校連携の実際

4 小学校・中学校連携の実際

清水小学校の多数の児童が清水中学校へ進学していく。その間の滑らかな接続を意識した取組を模索してきた。

- (1) **小中連携会議** (研究主任・副主任・教務主任・連携部主任 等)
 - 小中連携を企画し、交流の計画を立案する。そして、交流の準備と振り返りを行う。

平成 28年 1月 18日(月) 16:30 清水小	連携の企画と交流計画の準備
2月12日(金) 16:30 清水中	平成28年度 交流の計画
4月13日(水) 16:30 清水中	計画の確認と今後の交流の準備
5月24日(火) 16:30 清水小	実施交流の振り返りと今後の交流の準備
7月14日(木) 16:30 清水中	実施交流の振り返りと今後の交流の準備

- (2) 小中教職員交流 (校内研究授業、講師招聘研究会、各校中間指導 等において)
 - 各校の道徳科の研究授業を参観し、研究協議において意見交換を行う。
 - 各校の教師をゲストティーチャーとして招き授業を行う。
 - 〇 懇親会

<成果と課題>

清水小の児童のほとんどが清水中へ進学しているため、懇親会では、小中それぞれの特徴だけでなく、卒業生の現在の様子や成長を知ることができた。また、交流の計画を立てる上で、互いの児童生徒の実態を伝え合うことができ、活動を進める上で配慮が必要な点について把握するよい機会となった。さらに、道徳授業の参観と研究協議を通して児童生徒の発達段階においての授業の進め方や価値への迫り方について考えるよい機会となった。今後は、交流から得た気づきをそれぞれの学習の中でどのように生かしていくか研修を深め、小中連携をとおして道徳教育のより一層の充実を図る必要がある。



小学校3年生の授業に中学校教諭を招く



小中学校合同研修会

(3) 地域との連携

〇 道徳教育支援会議

道徳科の研究にあたり設置された会議で、全体会、中学校部会、小学校部会から成る。 本会議には地域・PTAの方が所属されていて、地域・家庭における道徳教育推進にご尽力いただいている。

平成27年8月27日(木)19:00	小中全体会(清水小)	平成 27 年度の計画
10/1(木)、1/28(木)	小学校部会(清水小)	小学校の道徳教育について
10/14(水)、11/11(水)、12/9(水)	中学校部会(清水中)	中学校の道徳教育について
2月 9日(火)19:00	小中全体会(清水中)	平成 27 年度の成果と課題
平成28年7月 4日(月)19:00	小中全体会(清水小)	平成 28 年度の計画

(4) 小中の児童生徒交流

〇 交流計画

小学校	中学校	交流活動内容	交流活動場所	時期	
全学年	全学年	小・中学生出会いの会	清水中学校	4月	
2年	1年	中学生による、平和に関する読み聞かせ	清水小学校	6月中旬	
3年	各学年	体育館にて、中学生が3年生の音楽	清水小学校	11月上旬	
34	1クラス	発表会合唱曲を鑑賞	海水小子 牧		
4年	1年	花の苗植え【佐世保美し化プロジェクト】	市役所前歩道付近	5月 11月	
5年	1年	ひまわりの栽培活動	清水中学校	6月~7月上旬、10月	
6年	全学年	体育館にて、6年生が合唱コンクールを鑑賞	清水中学校	10月中旬	
特別支援学級	特別支援学級	合同学習会	清水中学校	10月中旬	

○交流の様子



全学年交流 小・中学生出会いの会



小2-中1交流 平和の読み聞かせの会





小5-中2交流 ひまわりの栽培活動

〈成果と課題〉

児童生徒の交流によって、互いを思いやり、より良い活動にしていこうとする意欲づけとなり、これまでの取組をより充実させることができた。教師にとっては、児童生徒の姿を直接見て互いの実態を知ることができ、教師間の交流もできた。

4 仮説の検証と 今後の展望

(1) 仮説の検証【小学校】

研究の視点より

視点1 児童に考えさせる場の設定は、道徳的価値の自覚を深める上で効果的だったか。

授業では、「ねらいを明確に示し、児童に自分の考えをもたせる授業の実践」に取り組み、宿題代行業について、"あり派"か"なし派"という議論に取り組ませた。また、「注意をするか、しないか」という発問に対してネームプレートを活用し、黒板に提示させることで自分の立場を明確にさせて、考えを発表させた。さらに、個人で考えた後で少人数で考えを伝え合い、ホワイトボードを使って発表し、各意見に対して全体で話し合う時間を設けた。

その結果、資料・調査部のアンケート結果では、「生命の尊さを理解し、何よりも大切にしていますか。」の質問に対する答えで、全校の平均値が3.6から3.7ポイントへ上昇していた。

善悪の判断についての質問に対する答えで、2年生においては特に大きな変化はなく、3年生については、3.5ポイントから3.2ポイントに下がる結果となった。より良い学校生活についての質問に対する答えで、中学年においては、3.3から3.5と0.2ポイント高くなった。道徳的心情や態度を育てることをねらいとして、「考えさせる場の設定」を工夫してきた。これは、道徳の時間の改善・充実として指導者の授業力の向上という点では、成果の一つであった。しかし、各学年の重要項目についてアンケート結果を考察すると、道徳的価値が深まったと言えるものと言えないものがあることから、さらに研修を深め、道徳的価値の自覚をより深めるために有効な「考えさせる場の設定」に取り組んでいかなければならないと考える。

視点2 取り入れた保護者・地域・中学校との連携及び体験活動等は、心豊かな児童を育成する上で効果的だったか。

授業においては、地域の方や中学校職員にゲストティーチャーとして説話をしていただいたり、児童生徒がさまざまな交流をしたりする機会を設けた。また、家庭との連携として、道徳通信「こころの輪」の発行や、学級通信等で道徳の時間のようすを家庭に知らせる取組を継続して行った。道徳通信の発行後には、保護者から寄せられる感想や、ワークシートに設けた保護者記入欄の一言感想の数が増えるなど、これらの取組が道徳教育に対する保護者の意識を高める結果となった。

しかし、道徳に関する保護者アンケート結果から、各内容項目について尋ねたところ、生 命尊重を除いてポイントは変わらないか. やや下がる結果となった。これは、取組に課題が あったと考える一方で、道徳教育に対する保護者の意識が高まったとも考えられる。

道徳的価値の自覚は、1時間の授業で確実に身に付けることは難しく、児童を取り巻く保護者や地域の方々の協力も大きなものが必要となる。今後、学校での取組を積極的に発信するとともに、保護者への理解や協力を得ながら、道徳教育を進めていくよう研究に取り組んでいきたい。

(2)仮説の検証【中学校】

仮説①:道徳の時間の授業づくりの視点より

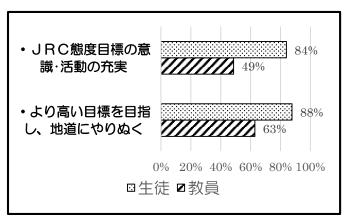
- a 広い視野から多面的・多角的に考えさせる
- b 他者の意見を聞き、自己を見つめさせる
- c 体験学習及び他の教育活動にしっかりつなげる

上記の3項目を主な目的にして、全生徒の意思表示の場面、意見交流の場面、実生活への振り返りの場面を積極的に設定しながら、道徳の時間のあり方を考えてきた。

調査・資料部のアンケート結果より、『友人からの意見やアドバイスによる心や行動の変化』の質問に対する答えで、生徒が84%、教師が93%(H28.9)と肯定的に捉えていた。また、『道徳の時間が好きである』生徒の割合が85%(H28.9)となっており、その理由として「友達(他の人)の意見や考えを聞くことができるから」「いろいろな人の生き方が参考になるから」と書いていた生徒が多かった。このことから(a)と(b)について本研究が良い

方向に向かっていることが言える。

『道徳の授業を通して学んだことで、心や行動は変わったと思いますか』の質問では85%の生徒が肯定的に捉えている。しかし、教員の意識の中では、『JRCの態度目標を意識して活動している。JRC活動の充実』(49%)『より高い目標を目指し、地道にやりぬく』(63%)が低い評価にな



っており、(a)や(b)の効果を実際の活動につなげられていない結果となった。これは、「本校の生徒はもっとできる」という高い期待が、低評価という結果になっている部分もあり、 継続した取組が必要である。

仮説②:保護者・地域との関わりや体験学習の視点より

調査・資料部の行ったアンケートでは、「多くの人へ感謝し、応えようとする。」「郷土の 伝統文化に興味を持ち、大切にしようとしている。」という質問に対して、生徒の意識は高 くなっている。これは、本研究を開始してから、JRCを中心とした体験学習や道徳の時 間を家庭や地域とつなげる取組を行ってきたことで、よい傾向になったと考えられる。小 学校との交流は職員レベルで行っていた交流を児童と生徒の交流に広げ、本年度は本格的 に行ってきた。そのため、今後もこの2年間の取組を継続していくことで、効果がはっき りと表れてくることを期待したい。

「思いやりの心をもって行動する」項目に関しては、生徒の意識(92%)と職員の意識(66%)の差が開きすぎている。多くの人の幸せを考える「心豊かな生徒」を育てるためには、道徳教育だけではなく、いろいろな要因を考え、家庭と地域の協力を得ながら、今後も研究を重ね方策を練っていきたい。

(3) 今後の展望

① 授業実践について

小学校では保護者・地域・中学校との連携及び体験活動を取り入れたり、考えさせる場の設定をしたりすることを授業づくりの柱として実践してきた。また、中学校では意思表示カードや意見交流の場の設定を中心とした「清水中学校スタイル」としての授業実践を昨年度より本格的に進めてきた。これらの実践をとおして、児童生徒が自分の考えをもつことができてきている。授業実践を継続し、自分の考えを自然と表現したり、互いを認め尊重したりすることのできる心豊かな児童・生徒を育てたい。

② 道徳の教科化に向けた取組について

「特別の教科 道徳」の全面実施に向け、道徳の時間に対する職員資質向上のための研修、評価の内容や評価方法の改善、道徳教育全体計画と別葉の見直し、保護者・地域への周知と協力要請を今後も継続して行っていく。また、他校の職員との交流や意見交換の機会も今後増やしていきたい。

③ 小中連携

本研究において、約2年間清水小学校・中学校が相互に連携を行ってきた。軌道に乗りかけている交流活動や実践を継続して取り組んでいくことで、さらに本研究の効果が表れるのではないかと考える。また、本研究の経験と実績を他の小・中学校とも共有できればさらによいものになるのではないかと考えている。

④ 保護者や地域との関わり

例えば、「ボランティア集会」の実施、道徳通信「こころの輪」の発行など、学校が中心となり保護者・地域と一緒になって児童生徒を育てる活動を行った。今後もこれらの活動が地域活性化の一助となることを期待している。そのためには、人間形成に必要な道徳の時間の内容や学校が行っている教育活動を知らせる手段の工夫と協力体制が必要だと考える。

⑤ JRC活動の継続と発展

中学校では、本校の特色であるJRC(青少年赤十字)活動を生かし、道徳の時間に身につけ培った「道徳的判断力」「道徳的心情」を行動に表せるような場の設定を行ってきた。「気づき、考え、実行する」の態度目標を理想とした生徒像を目指し、これまでの活動をより発展的に展開させていきたい。

⑥ 掲示活動・掲示教育

自己肯定感を持たせることにつながるのではないかという思いで、道徳の時間や学校教育全般で行なった学習内容を、掲示物にどう反映させるか考え、実践してきた。児童・生徒の意識調査によい変化が見られるように、試行錯誤しながら新たなものを実践していきたい。

⑦ 世界とつながる活動

自分の意思表示をしっかりと行い、他者のことも考えられる心を持ち、自分や家族、友人を育ててくれる学校や地域を大切にする児童生徒を育ててきた。今後も研究を継続する中で、広く日本や世界のことについても身近に感じられる取組を増やし、卒業後や社会に出た時に効果が表れるものにしていきたい。また、世界に生きる人々を題材とした授業を実践していきたい。

(1) 小学校

道徳科と教科等との関連 1学年 全体計画別葉(34時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「わたしたちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

教科等/月	4月	5月	6月	7•8月	9月
	いつでもどこでも	【るっぺどうしたの】	【黄色いベンチ】	ひつじかいのいたずら	おもちゃかいぎ(学研)
	B8 礼儀	A3 節度,節制	C10 規則の尊重	A2 正直, 誠実	A3 節度, 節制
	【気持ちのよいふるまい を(P54~56)】		【やくそくやきまりをま もって(P118~123)】	【すなおにのびのびと (P44~45)】	
	じゅぎょうがはじまります	おかあさんのつくったぼう し	よりみち	へいわってすてきだね 等(図書資料)	ごろりんごろんころろろろ
	C10 規則の尊重	C13 家族愛, 家庭生活 の充実	A1 善悪の判断,自律, 自由と責任	D17 生命の尊さ	B6 親切, 思いやり
道徳科			【よいと思うことはすす んで(P32~36)】	【いのちを大切に(P92 ~93)】	
坦心什		【およげないりすさん】	【ハムスターの赤ちゃ ん】	がんばれ、ホイッ	あかいクレヨン
		B9 友情, 信頼	D17 生命の尊さ	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志	B8 礼儀
		【ともだちとなかよく(P74 ~76)】	【いのちを大切に(P90 ~91)】		【気持ちのよいふるまい を(P58~59)】
			あめのひもすてきだよ (学研)		きんいろのクレヨン
			D19 感動,畏敬の念		A2 正直, 誠実
			【すがすがしい心で (P110~114)】		【すなおにのびのびと (P44~46)】
学校行事	始業式 C14 入学式 B8 C14 歓迎遠足 B9	避難訓練 D17 運動会 A5 B9 C14	いのちを見つめる強調月間 D17 交通安全教室 A1 A3 C10 6.29 平和集会 D17 【いのちを大切に(P90 ~93)】	8. 9平和集会 D17 【いのちを大切に(P90~ 93)】	清水っ子スマイルフェスタ B7 B8 C14
特別活動	楽しい給食 C12 前期の目標を決めよう A5 【1(2)自分でやることはしっかり と(P22~24)】 学年・学級のめあてを話し合お う C14 【きそく正しく気もちのよい毎日 を(P10~15)】 ステップ目標を知ろう 【気もちのよいふるまいを (P56)】	掃除の仕方 C12 係・当番を決めよう(前 期) C12 【自分でやることはしっか りと(P22~24)】	歯を大切に A3 安全な道路の歩き方 C10 【学校の生活を楽しく (P146)】	夏休みの過ごし方 C10 C13 【1(1)きそく正しく気もち のよい毎日を(P10~ 15)】	夏休みをふりかえろう 【家族のやくに立つことを (P142)】 清水っ子スマイルフェスタを成功さ せょう B8 C14 前期の反省をしよう A3 C14 【生活をふりかえってみよう(P20~21)】
生活科	いちねんせいになったよ B9 C10 C14	がっこうとともだち C10 C14 D18 [きそく正しく気もちのよい毎日 を(P12~15)] [学校の生活を楽しく(P144~ 145)] ひとつぶのたねから D18	さあみんなででかけよう 公園へ出かけよう C10 D18 (やくそくやきまりをまもって (P118~123)】	だいすきななつ B9 C10 ひろがれえがお C13 【自分でやることはしっか りと(P22~24)】 【家族のためにできること はないかな(P138~ 142)】	いきものとなかよし D18 【シロクマピース (P104~ 105)】 ひろがれえがお C13 【自分でやることはしっかりと (P22~24)】 【家族のためにできることはな しかな (P138~142)】
その他の教科	国語 「なんていおうかな」B8 B9 【気もちのよいふるまいを(P54 ~56)】 国語 「どうぞよろしく」A4 【あなたのことおしえてね(P6)】 国語 「こえのおおきさどうするの」B8 音楽 「校歌」「君が代」C14 C15	国語 「わけをはなそう」B8	国語 「おおきくなった」D19	国語 「おおきなかぶ」B9 国語 「ほんはともだち」 C10 音楽 たなばたさま C15 音楽 「こころのうた」うみ C15 【すがすがしい心で (P112~113)】	国語 「なつやすみのことをはな そう」 B8 【すがすがしい心で (P114) 】 国語 「ゆうやけ」 B9 国語 「うみのかくれんぼ」 D18

	生きることのすばらしさを知り,生命を大切にすること。	D17 生命の尊さ
1学年の 重要項目	よいことと悪いこととの区別をし,よいと思うことを進んで行うこと。	A1 善悪の判断, 自律,自由と責任
	健康や安全に気を付け,物や金銭を大切にし,身の回りを整え,わがままをしないで,規則正しい生活をすること。	A3 節度, 節制

	ı		Ι	Ι	Ι
10月	11月	12月	1月	2月	3月
あさがおのかんさつ(心を育 てる道徳教材集)	はりきりむらのどうろこう じ	クレヨンのくろくん(図書資料)	まあちゃんどうしたの(光 文書院)	かぼちゃのつる	がんばれポポ
D18 自然愛護	C12 勤労, 公共の精神	A4 個性の伸長	B6 親切, 思いやり	A3 節度, 節制	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志
【生きものにやさしく (P102)】		【よいところを見つけたよ (P158~P161)】			
すてきがいっぱい	ニわのことり	たけとんぼづくり	いただきます	【ほかの国のことを知ろ う】	ニくみのさくらにあつまろ う!
C15 伝統文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	B9 友情, 信頼	B7 感謝	D17 生命の尊さ	C16 国際理解, 国際親善	C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実
	【ともだちとなかよく (P76)】	【お世話になっている人にかん しゃして(P82~86)】		【せかいの「こんにちは」「ありがと う」(P64~65)】【ほかの国のこと を知ろう(P170~173)】	【学校の生活を楽しく (P148)】
【みんなとなかよく】	しょくじのよういできたよ (教育出版)		【はしの上のおおかみ】	みみずくとおつきさま	
C11 公正, 公平, 社会正義	C13 家族愛, 家庭生活 の充実		B6 親切, 思いやり	A1 善悪の判断, 自 律, 自由と責任	
【みんなとなかよく(P168~ 169)】	【家族のやくに立つことを (P138~142)】		【あたたかい心で親切に (P66~67)】	【してはならないことが あるよ(P42~43)】	
【ぽんたとかんた】	がっこうのようむしゅじさ ん				
A1 善悪の判断, 自 律, 自由と責任	B7 感謝				
【よいと思うことはすす んで(P36)】	【学校の生活を楽しく (P144~145)】				
前期終業式 C14 後期始業式 C14 避難訓練 D17		人権集会 B6 B9 C11	避難訓練 D17		卒業式 B7 B8 C14 修了式 C14
後期の目標を決めよう A5 【はたらくことのよさをかんじて (P130~133)】 係・当番を決めよう(後期) C12 【自分でやることはしっかりと (P22~24)】 目を大切に A3	人権について考えよう B6 B9 C11	ともだちのいいところを見つけよう A4 冬休みの過ごし方 C10 C13 【1(1)きそく正しく気もちのよい毎日を(P10~ 15)】	新年の抱負 A4 A5 給食ありがとう B7	心のバトンフェスティバル を成功させよう A3 B7 C14 【お世話になっている人 にかんしゃして(P86)】	心のバトンフェスティバル A3 B7 C14 後期の反省をしよう C14 【生活をふりかえってみよう(P20~21)】 春休みの過ごし方 C10 C13 【きそく正しく気もちのよい毎日を(P10~15)】
ひとつぶのたねから D18 【生きものにやさしく(P102)】	たのしもう あき もりのわくわくランド B6 B8 C10 C14 D18 [あたたかい心で親切に(P66~ 67)] ひろがれえがお C13 [自分でやることはしっかりと (P22~24)]	たのしもう あき もりのわくわくランド B6 B8 C10 C14 D18 【あたたかしいで親切に(P66~ 67)】 たのしさ見つけたよふゆ C13 C15 【きまりカルタ(P128~129)】 むかしあそびかい C13 C15	たのしもう あき もりのわくかくランド 6 B8 C10 C14 D18 【あたたかい心で親切に(P66~ 677】 たのしさ見つけたよふゆ C13 C15 【すがすがしい心で(P114)】 もうすぐ2年生(年長さんとなかよ し)B6 B7 B9 C14 【あたたかい心で親切に(P66~ 677)】	もうすぐ2年生 B6 B7 B9 C14	もうすぐ2年生 B6 B7 B9 C14
国語 「Lらせたいな見せたい な」C13 C14	音楽 「こころのうた」 ひのまる C15	国語 「ずうっとずっと大すきだよ」C13 D4? 国語 C14 【うさぎとかめ(P26~ 27)】 音楽 「うたいつごうにほんのうた」 おしょうがつ C15	国語 「てんとうむし」D18 書写 「かきぞめをしよう」C15	国語 「どうぶつの赤ちゃん」 D18	音楽 「うたいつごうにほんのうた」 うれしいひなまつり C15 音楽 「校歌」「君が代」 C14 C15

道徳科と教科等との関連 2学年 全体計画別葉(35時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「わたしたちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

	_	_	_	_	
教科等/月	4月	5月	6月	7・8月	9月
	学校のうた	りすのちょろた	ぼくのうちのタはん	【ぎおんまつり】	さいごになっちゃった
	C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実	A3 節度, 節制	C13 家族愛, 家庭生活 の充実	C15 伝統文化の尊重, 国や郷 土を愛する態度	A3 節度, 節制
		【きそく正しく気もちのよい毎 日を(P10~11)】	【家族のやくに立つことを (P138~143)】	【ふるさとに親しみをもって (P150~153)】	【きそく正しく気もちのよ い毎日を(P12~15)】
	【たびに出て】	なかよしのともだちだから	ぼくよびにいってくる	ひみつのばしょ	どうしたらいいのかな
	B8 礼儀	B9 友情, 信頼	A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任	D18 自然愛護	B6 親切, 思いやり
道徳科	【気もちのよいふるまいを (P57)】	【ともだちとなかよく(P74 ~77)】	【よいと思うことはすすん で(P32~35)】		
担1874 	のぶくんはポスターがか り	ぴょんたくんのゴール	ふしぎな音	【小さなど力のつみかさね 一二宮金次郎】	森のけいじばん
	C12 勤労, 公共の精神	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志	D17 生命の尊さ	A5 希望と勇気, 努力と強 い意志	C10 規則の尊重
			【いのちを大切に(P92~ 93)】	【自分でやることはしっか りと(P22~25)】	
			おじさんのてがみ		七つぼし
			C10 規則の尊重		D19 感動, 畏敬の念
			【やくそくやきまりをまもって(P118~123)】		【すがすがしい心で (P115)】
学校行事	始業式 C14 入学式 B6 B8 歓迎遠足 B9	避難訓練 D17 運動会 A5 B9 C14	いのちを見つめる強調月間 D17 交通安全教室 A1 A3 C 10 6.29平和集会 D17 【いのちを大切に(P90~ 93)】	【いのちを大切に(P90~	清水っ子スマイルフェスタ B7 B8 C14
特別活動	じこしょうかいをしよう A4 A5 [あなたのことをおしえてね (P7)] 学年・学級のめあてを話し合お う C14 [学校の生活を楽しく(P147)] 係・当番を決めよう(前期) C12 [自分でやることはしっかりと (P25)] 掃除の仕方 C12	多くの友だちと仲良くあそ ぼう B9	安全な道路の歩き方 C10 歯を大切に A3 平和の大切さ D17 平和に関する読み聞か せ (清水中と合同)	夏休みの過ごし方 C10 C13 【おはかまいり(P94~ 95)】	夏休みをふりかえろう C13 D18 【家族の役に立つことを (P143】】 【すがすがしい心(P115)】 清水っ子スマイルフェスタを 成功させよう B8 C14 前期の反省をしよう A3 C14 【生活をふりかえってみよう (P20~21)】
生活科	わくわくするね2年生 C14 おいしい野さいをそだて よう D18	レッツゴー町たんけん I B7B8 C10 C15 【やくそくやきまりをまもっ て(P118~123)】	みんな生きてる I D17D 18 レッツゴー町たんけん II B7 B8 C10 C15 【やくそくやきまりをまもっ て(P118~123)】	よう D18 【生きものにやさしく (P103)】	
その他の教科	国語 「ふきのとう」D18 「はるがいっぱい」D18 「たんぽぽのちえ」D18 音楽 「校歌」「君が代」 C14C15		国語 「いなばの白うさぎ」 A2 C12 D19 「スイミー」B9	国語 「うれしいことば」 B6 「夏がいっぱい」 D18	国語 「どうぶつ園のじゅうい」 D18 C12 【シロクマピース(P104~ 105)】

	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	D17 生命の尊さ
2学年の 重要項目	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任
	友達と仲よくし. 助け合うこと。	B9 友情, 信頼

	I				l
10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぐみの木と小とり	【森のゆうびんやさん】	【まんががすきーまんが「サザエ さん」を作った長谷川町子】	どっちーぬくん	【ほかの国のことを知ろ う】	ぽんたと木のみ
B6 親切, 思いやり	C12 勤労, 公共の精神	A4 個性の伸長	B9 友情, 信頼	C16 国際理解, 国際親善	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志
【あたたかい心で親切に (P66~67)】	【はたらくことのよさをかんじて(P130~133)】		【ともだちとなかよく (P77)】	【ほかの国のことを知ろう (P170~173)】	
【虫が大すきーアンリ・ ファーブルー】	町の大いちょうの木	あいさつでえがおに	いただきます(心を育てる 道徳教材集)	先生、おしえて(学研)	先生からのおうえんメッ セージ
D18 自然愛護	C15 伝統文化の尊重, 国や 郷土を愛する態度	B8 礼儀	D17 生命の尊さ	A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任	C14 よりよい学校生活, 集団生活の充実
		【気もちのよいふるまいを (P58~59)】		【してはならないことがあ るよ(P42~43)】	【学校の生活を楽しく (P144~149)】
【お月さまとコロ】	ふえをふいて(学研)		【みんなとなかよく】	お気に入りのかさ	
A2 正直, 誠実	B7 感謝		C11 公正, 公平, 社会正 義	B7 感謝	
【すなおにのびのびと (P44~47)】	【お世話になっている人にかん しゃして(P87)】		【みんなとなかよく(P166 ~167)】	【お世話になっている人にかん しゃして(P87)】	
ハムスター	ピンクいろの花				
D17 生命の尊さ	A1善悪の判断, 自律, 自 由と責任				
	【よいと思うことはすすん で(P37)】				
前期終業式 C14 後期始業式 C14 避難訓練 D17		人権集会 B6 B9 C11	避難訓練 D17		卒業式 B7 B8 C14 修了式 C14
後期の目標を決めよう A 5 係・当番を決めよう(後期) C12 【はたらくことのよさをかんじて(P130~133)】 目を大切に A3	人権について考えよう B6 B9 C11	冬休みの過ごし方 C10 C13	新年の抱負 A4 A5 給食ありがとう B7	心のバトンフェスティバル を成功させよう B7 C14 【お世話になっている人 にかんしゃして(P87)】	心のパトンフェスティバル B7 C14 1年間をふりかえろう A3 C14 もうすぐ三年生 C14 春休みの過ごし方 C10
みんな生きてるII D17 おいしい野さいをそだて よう D18	もっと行きたいな町たんけん B7 B8 C10 C13 【やくそくやきまりをまもって(P118~123)】	いきいき冬休み C10 C 13 【きまりカルタ (P128~129)】	つたえ合おう町のすてき C14 C15 【ふるさとに親しみをもっ て(P150~153)】 【すがすがしい心で (P115)】	これまでのわたしこれからのわたし A5 C14 D17 【いのちを大切に(P90~ 91)】	これまでのわたしこれか らのわたし A5 C14 D17
国語 「お手紙」B9 「秋がいっぱい」D18		国語 「わたしはおねえさん」 A3 C13 「冬がいっぱい」D18 音楽 「こころのうた」タやけこやけ D19 【すがすがしい心で (P115)】	国語 「手のひらを太陽に」 D17 D19 【生きているってすばらしい P100~101】 音楽 「日本のうたを楽しもう」 C15	国語 「みんなできめよう」 B6 B8 C14 「スーホの白い馬」 A1 D17 D19	国語 「楽しかったよ, 二年生」 A5 C14 B9 音楽 「校歌」「君が代」C14 C 15

道徳科と教科等との関連 3学年 全体計画別葉(35時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「私たちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

教科等/月	4月	5月	6月	7•8月	9月
	ロバを売りに行く親子	友だち屋	【ぶらんこ復活】	拾ったりんご	わたしと小鳥とすずと (国語教科書)
	A3 節度, 節制	B9 友情, 信頼	C11 規則の尊重	B6 親切, 思いやり	B10 相互理解, 寛容
	【よく考えて節度ある生活を (P10~13)】	【友達とたがいに理解し合って(P70~81)】	【社会のきまりを守って (P118~129)】	【相手を思いやり親切に (P62~65)】	【友達の良い所を見つけ よう(P72)】
	水飲み場	【金色の魚】	まどガラスと魚	【ヒキガエルとロバ】	はじめての尾瀬で
	C11 規則の尊重	A3 節度, 節制	A2 正直, 誠実	D18 生命の尊さ	D19 自然愛護
	【社会のきまりを守って (P118~129)】	【よく考えて節度ある生活を(P1 0~13)】	【正直に明るい心で(P3 8~41)】	【命あるものを大切に (P90~101)】	【自然や動植物を大切に (P102~107)】
道徳科	言葉のまほう	三年二組だって	わたしはお姉ちゃん (心を育てる道徳教材集)	色紙かして	キウイフルーツのたなの 下で
	B8 礼儀	C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実	D18 生命の尊さ	A2 正直, 誠実	A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任
	【だれに対しても真心を もって(P56~61)】	【協力し合って楽しい学校, 学 級を(P148~153)】	【命あるものを大切に (P90 ~101)】	【正直に明るい心で(P38 ~45)】	【正しいことは勇気をもっ て(P30~33)】
			【ブラッドレーのせい求書】		自転車おき場があるのに
			C14 家族愛, 家庭生活 の充実		C18 規則の尊重
			【家族みんなで協力し合って (P136~141)】		【社会のきまりを守って (P118~129)】
	始業式 C15 入学式 B6 B8	避難訓練 D18 運動会 A5 B9 C15	いのちを見つめる強調月間 D18	8. 9平和集会 D18	清水っ子スマイルフェスタ B7 B8 C15
学校行事	歓迎遠足 B9		交通安全教室 A1 A3 C11 6. 29平和集会 D18		
特別活動	新学期の準備をしよう A3 【よく考えて節度ある生活を(P10~13)】 前期の目標を決めよう A5 【やろうと決めたことは最後まで(P22~25)】 学級の目標を決めよう C15 係や当番を決めよう C13 そうじの担当場所確認とそうじの仕方 C13	運動会を成功させよう C15 そうじの仕方を考えよう C13 友達の輪をつくろう B6 B9 言葉違いと挨拶を考えよう B8 【だれに対しても真心をもって (P56~59)】	雨の日の過ごし方を考えよう A3 安全な道路の歩き方 A3 C11 【社会のきまりを守って (P118~129)】 歯を大切に A3 元気に過ごそう A3	夏休みの過ごし方 A3 C11 C14 【よく考えて節度ある生 活を(P10~13)】 【家や地いきでみんなのため にできること(P133)】【じょう ほうモラル(P170~173)】	前期の反省をしよう A5 清水っ子スマイルフェスタ を成功させよう B3 C5
	オリエンテーション	外国の言葉や文化にふ	平和の大切さを考えよう	清水小学校のすばらしさ	
総合的な 学習の時間	A5	れよう C17 【外国の文化(P167)】	D18	発見隊 B7 C15 【そんけいと感謝の気持ちを	
				もって(P82~87】	
その他の教科	国語 「よく聞いてじこしょうかい」 A4 【自分のことを書いてみよう (P6)】 「春の楽しみ」 C16 理科 「しぜんのかんさつをしよう」 D19 「植物をそだてよう①」 D2 A5 音楽 「こころのうた」春の小川 D19 C16 「校歌」「君が代」 C15 C16	国語 「よい聞き手になろう」 B10 「俳句を楽しもう」 C16 理科 「こん虫をそだてよう」 D19 音楽	国語 「夏の楽しみ」C16 社会 「市のようす」C16 理科 「植物をそだてよう②」 D19 A5 保健 「毎日の生活と健康」A3 【よく考えて節度ある生活を (P10~13)】	国語 「ありがとうをつたえよう」B7 「里山は、未来の風景」 D19 C16 理科 「植物をそだてよう③」 D19 A5	国語 「わたしと小鳥とすずと」B5 「詩を楽しもう」 B10 D20 「つたえよう、楽しい学校生 活」 C15 B10 社会 「店ではたらく人」 B7 C13 理科 「動物のすみかをしらべよう」 D19 「植物を育てよう④」 D19 A5

3学年の 重要項目	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	D18 生命の尊さ
	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	B6 親切, 思いやり
	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	C11 規則の尊重

			Γ		
10月	11月	12月	1月	2月	3月
【うれしく思えた日から】	自作資料, 図書資料等	【同じ仲間だから】	和食の文化	プレゼント	天の笛
A4 個性の伸長	C12 公正, 公平, 社会正 義	B9 友情, 信頼	C16 伝統文化の尊重, 国や 郷土を愛する態度	C14 家族愛, 家庭生活 の充実	D20 感動, 畏敬の念
【自分のよい所をのばし て(P46~53)】	【分けへだてをしない(P178 ~183)】	【友達とたがいに理解し合っ て(P70~81)】	【伝とうと文化を大切に(P164~166)】	【家族みんなで協力し合って (P136~141)】	【美しいものを感じて (P108~115)】
二重とびチャンピオン	森がすき	自作資料, 図書資料等	ありがとうチャンプ	ないた赤おに	医学の道へ進みたい 一野口英世
A5 希望と勇気, 努力と強い意志	D19 自然愛護	C17 国際理解, 国際親善	D18 生命の尊さ	B9 友情, 信頼	A5 希望と勇気, 努力と強い意志
【 やろうと決めたことは最後ま で(P22~25)】	【自然や動植物を大切に (P102~107)】	【外国の文化(P167)】	【命あるものを大切に (P90~101)】	【友達とたがいに理解し合っ て(P70~81)】	【やろうと決めたことは最後まで(P22~25)】
ブックレンジャー	おじいさんの顔		みんながねている時間に	祭りだいこ	
C13 勤労, 公共の精神	B6 親切, 思いやり		B7 感謝	C16 伝統文化の尊重, 国や 郷土を愛する態度	
【働くことの大切さを知って (P130~135)】	【相手を思いやり親切に (P62~65)】		【そんけいと感謝の気持ちを もって(P82~87)】	【きょう土を愛する心をもって (P158~163)】	
おばあさんときれいな歩道	自作資料, 図書資料等				
B7 感謝	B10 相互理解, 寛容				
【そんけいと感謝の気持ちをもって(P82~87)】	【周りの人たちと、もっと仲良 くするために(P174~177)】				
前期終業式 C15 後期始業式 C15 避難訓練 D18		人権集会 B6 B9 B10 C12 C17	避難訓練 D18		卒業式 B7 C15 修了式 C15
スマイルフェスタを成功させよう C15 C16 B7 新学期の準備をしよう A3 後期の目標を決めよう A5 【やろと決めたことは最後まで(P22~25)】 係や当番を決めよう C13 【学校や学級でみんなのためにできること(P132)】 目を大切に A3	(P62~65)】 【友達とたがいに理解し合って (P70~81)】	冬休みの過ごし方 A3 C11 C14 C16 【よく考えて節度ある生 活を(P10~13)】 【家や地いきでみんなの ためにできること (P133)】 【日本の伝統と文化 (P164~165)】	新年の抱負 A5 【やろうと決めたことは最後まで(P22~25)】 給食集会 B7 D18 【そんけいと感謝の気持ちをもって(P82~87)】 【助け合って生きている 一生けんめい生きている (P93)】	心のバトンフェスティバルを成功させよう B7 C15 お楽しみ会を成功させよう C15 [協力し合って楽しい学校, 学級を(P148~153)]	いのパトンフェスティパル B7 C15 お楽しみ会をしよう C15 一年間を振り返ろう A5 もうすぐ4年生 A5 春休みの過ごし方A3 C11 C14 【よく考えて節度ある生活を (P10~13)】
	清水小校区安全安心守り隊 B7 C11 【そんけいと感謝の気持ちを もって(P82~87)】				
国語 「ちいちゃんのかげおくり」D18 C14 「秋の楽しみ」 C16 社会 「工場の仕事」 B7 C13 [そんけいと感謝の気持ちをもって (P82~87)】 【働(ことの大切さを知って (P130~135)】 音楽 「こころのうた」うさぎ C16	国語 「短歌を楽しもう」 C16 【きょう土を愛する心をもって (P162、163)】 音楽 「こころのうた」ふじ山 C16 D20 【富士と北斎(P112、113)】 音楽発表会 (清水中と合同)	国語 「三年とうげ」 B10 C16 C17 【外国の文化(P167)】 「冬の楽しみ」 C16 【伝とうと文化を大切に(P164 ~166)】 社会 「古い道具と昔のくらし」 B7 C13	【伝とうと文化を大切に(P164	国語 「ことわざについて調べよう」 C16 社会 「のこしたいもの,つたえたい もの」B7 C16 【きょう土を愛する心をもって (P158~163)】	国語 「モチモチの木」C14 D20 「わたしの三大ニュース」 A5 C15 音 「校歌」「君が代」 C15 C16

道徳科と教科等との関連 4学年 全体計画別葉(35時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「私たちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

教科等/月	4月	5月	6月	7•8月	9月		
	【少しだけなら】	貝がら	人間愛の金メダル	【みんな待っているよ】	ぼくの部屋		
	A3 節度, 節制	B10 相互理解, 寛容	D18 生命の尊さ	C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実	A3 節度, 節制		
		【周りの人たちともっと仲良くするために(P174~177)】	【命あるものを大切に(P 90~95)】				
	あいさつ名人	【雨のバス停留所で】	花さき山	富士山を救え一田部井 淳子一	おばあさんのおむかえ		
	B8 礼儀	C11 規則の尊重	D20 感動, 畏敬の念	D19 自然愛護	C14 家族愛, 家庭生活 の充実		
)± /± 7.1			【花さき山(P110~111)】		【家族みんなで協力し 合って(P136~141)】		
道徳科	見えない名札	不思議なぼくの気持ち	けんじのわすれ物	さっちゃんのまほうのて (図書資料)	三川内とう器市		
	C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実	B6 親切, 思いやり	C11 規則の尊重	C12 公正, 公平, 社会正義	C13 勤労, 公共の精神		
	【協力し合って楽しい学校, 学 級を(P148~151)】			【分けへだてをしない(P 178~183)】			
			精霊流し(心を育てる道 徳教材集)		【きっとできる】		
			D18 生命の尊さ		A4 個性の伸長		
			【命あるものを大切に(P 90~95)】		【自分の良い所をのばし て(P46~53)】		
W 11 4= ±	始業式 C15 入学式 B6 B8 歓迎遠足 B9	避難訓練 D18 運動会 A5 B9 C15	いのちを見つめる強調月間 D1 交通安全教室 A1 A3 C11	8.9平和集会 D18	清水っ子スマイルフェス タ B7 B8 C15		
学校行事	以足逐足 D 3		6.29平和集会 D18				
	新学期の準備をしよう C15 4年生になったよA3【自分のこと を書いてみよう(P7)】		安全な道路の歩き方 C11 歯を大切に A3	夏休みまでの生活を振り 返ろう A3 夏休みの過ごし方	タを成功させよう		
特別活動	掃除の区域の確認と掃除の仕方 C13 前期の目標を決めよう A5			夏休みの週こじ万 C11 C14	B7 B8 C15		
177772-77	学年・学級の目標を決めようC15 係・当番を決めようC13						
	自然について考えよう D19	美し化プロジェクト	平和の輪を広げようD18	清水小エコ作戦A3 C16 D20	清水小エコ作戦A3 C16 D20		
	【自然や動植物を大切に (P102~107)】	(清水中と合同) D19 C16【きょう土を愛する	清水小エコ作戦A3 C16 D20 【わたしたちがつくる地				
総合的な		心をもって(P158~P 163)】 自然について考えよう	球にやさしい生活 (P 184~189)】				
学習の時間		D19 C16 【自然や動植物を大切に					
		(P102~107)]					
	音楽 「校歌」C15 「君が代」C16			音楽 「まきばの朝」C16	理科 「季節と生き物 夏の終わり」 D18		
	社会 「安全なくらし」 C13 D18 【働くことの大切さを知って				1018 保健 「育ちゆく体とわたし」D18		
その他の教科	(P130~135)】 理科 「季節と生き物 春」 D18				音楽 「とんぴ」C16		
	・子即に工合物 貸」 D18						

	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	D18 生命の尊さ
4学年の 重要項目	相手のことを思いやり,進んで親切にすること。	B6 親切, 思いやり
	先生や学校の人々を敬愛し,みんなで協力し合って楽しい学校をつくること。	C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実

	I						
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
「正直」五十円分	なんとなく	ハクチョウの湖 瓢湖	ぼくの生まれた日-ドラえ もん	新次のしょうぎ	魚大すきさかなクン		
A2 正直, 誠実	B9 友情, 信頼	D19 自然愛護	C14 家族愛, 家庭生活 の充実	A2 正直, 誠実	A4 個性の伸長		
	【友達とたがいに理解し合って (P70~75)】		【家族みんなで協力し 合って(P136~141)】	【正直に明るい心で (P38~41)】	【自分の良い所をのばし て(P46~53)】		
絵はがきと切手	フィンガーボール	【日本の伝とうと文化】	あなたがもつ生きる力	だがし屋のおばちゃん	【協力し合って楽しい学 級】		
B9 友情, 信頼	B6 親切, 思いやり	C17 国際理解, 国際親善	D18 生命の尊さ	B7 感謝	C15 よりよい学校生活, 集団生活の充実		
【友達とたがいに理解し合って (P70~75)】		【伝とう文化を大切に(P 164~169)】		【そんけいと感謝の気持ちを もって(P82~87)】	【協力し合って楽しい学校, 学 級を(P152~153)】		
じゅんびをするのは	よりゆたかな島に(長崎県道徳郷土資料)		お母さんとの約束	【心と心のあく手】			
A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任	C16 伝統文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		C13 勤労, 公共の精神	B6 親切, 思いやり			
	【きょう土を愛する心を もって(P158~163)】						
おみまい	【よわむし太郎】						
B8 礼儀	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志 【正しいことは勇気をもっ						
	て(P30~33)】						
前期終業式 C15 後期始業式 C15 避難訓練 D18		人権集会 B6 B9 B10 C12	避難訓練 D18		卒業式 B7 B8 C15 修了式 C15		
前期を振り返ろうA3 C15 新学期の準備をしよう C15 目を大切に A3 後期の目標を決めよう A5 係や当番を決めよう C13	相手の立場を考えよう B10	冬休みの過ごし方 C11 C14	新年の抱負 A4 A5 【やろうと決めたことは最 後まで(P22〜25)】 給食ありがとう B7	心のパトンフェスティバルを 成功させよう B7 C15 お楽しみ会の計画を立て よう C15 冬の健康な生活について A3	1年間を振り返ろう A3 C15		
	美し化プロジェクト (清水中と合同) D19 C16 清水小エコ作戦A3 C16 D20	清水小工二作戦 A3 C16 D20	清水小工コ作戦 A3 C16 D20	清水小工口作戦 A3 C16 D20	【じょうほうモラル (P170 ~173)】		
社会 「昔から今へと続くまちづくり」 C13 C16 【働くことの大切さを知って (P130~135)】	社会 「わたしたちの県のまちづくり」 C13 C16 [働くことの大切さを 知って(P130~135)] 理科 「季節と生き物 秋」D18 音楽 「もみじ」C16		音楽 「日本の音楽に親しもう」C16	理科 「季節と生き物 冬」D18 音楽 「さくらさくら」C16			

道徳科と教科等との関連 5学年 全体計画別葉(35時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「私たちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

教科/月	4月	5月	6月	7•8月	9月	
		言葉のおくり物	シンガポールの思い出	だって, ほしいんだもん	【知らない間の出来事】	
	サリバン一】 A5 希望と勇気, 努力と強い意志	B10 友情, 信頼	C12 規則の尊重	A3 節度, 節制	B10 友情, 信頼	
		【たがいに信頼し, 学び 合って(P72)】	【考えよう, これからの社会と 私たち(P120~123)】	【「もったいない」を世界 共通の言葉に(P17)】	【たがいに信頼し, 学び 合って(P72~74)】	
	父の言葉一黒柳徹子	百六十ハセンチのスーパース ターーロベルト・カルロス	【ブランコ乗りとピエロ】	世界初のトンボ保護区づくり	待合室で出会った少女	
	B7 親切, 思いやり	A4 個性伸長	B11 相互理解, 寛容	D20 自然保護	B9 礼儀	
道徳科	【思いやりの心があるから共 に生きられる(P60~61)】	【短所を改め, 長所をの ばして(P50)】	【けんきょに、広い心を もって(P80~81)】	【自然の偉大さを知って (P110~113)】	【礼儀正しく真心をもって (P56~57)】	
担167件	たまご焼き	伝統の知恵と技術が支える 塔一東京スカイツリー	命のアサガオ	「いのち」の重さ(心を育 てる道徳教材集)	おもちゃのシンフォニー	
	C15 家族愛, 家庭生活 の充実	C17 伝統文化の尊重, 国や 郷土を愛する態度	D19 生命の尊さ	D19 生命の尊さ	C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	
	【家族に見守られて成長して きた私(P156~158)】	【語りつぎ受けつぐ日本ら しさ(P166~169)】	【自他の生命を尊重して (P98~99)】	【自他の生命を尊重して (P98~103)】	【自分の役割を自覚して (P140~143)】	
			心にうったえる音楽を目 指して一梯 剛之		コロナのかがやき	
			A5 希望と勇気, 努力と強 い意志		D21 感動, 畏敬の念	
			【夢に向かって確かなー 歩を(P26~27)】		【大いなるものを感じて (P114~117)】	
	始業式 B9 C16 入学式 B7 歓迎遠足 B10	避難訓練 D19 運動会 A5 B10 C16	いのちを見つめる強調月間 D19 交通安全教室 A1 A3	8.9平和集会 C18 D19	清水っ子スマイルフェスタ B8 B9 C16	
学校行事			C12 6.29平和集会 C18 D19			
特別活動	新学期の準備をしよう(始 業式) C16 【これが今の私(P6)】 学年・学級のめあてを話 し合おう C16 【よりよい校風を求めて (P160~163)】 前期の目標を決めよう A5		歯を大切に A3 安全な道路の歩き方 C12	夏休みの過ごし方 C12 C15 【節度, 節制を心がけて (P10~17)】	清水っ子スマイルフェスタを 成功させよう B8 B9 C16 前期の反省をしよう A3 C16	
総合的な 学習の時間	掃除の仕方 C15		平和の大切さを伝えよう D19		宿泊体験学習 D20 【自然の偉大さを知って (P110~111)】	
その他の教科	音楽 「校歌」C16「君が代」C17 「Believe」B7 B10 家庭 「わたしと家族と生活」C15 【家族の幸せを求めて (P159)】	体育(保健) 「心の健康」A4 B10 音楽 「こいのぼり」C17	国語 「千年の釘にいどむ」C17 理科 「生命のつながり」D19 学活「福島里親プロジェクト〜 ひまわりを育てよう〜①JD20 (清水中と合同)	理科 「生命のつながり」D19	家庭 「やってみよう 家庭の仕事」 C14 社会 「わたしたちの生活と食料生産」C14	

	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであること理解し,生命を尊重すること。	D19 生命の尊さ
5学年の 重要項目	誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公平,公正な態度で接し、正義の実現に努めること。	C13 公正, 公平 社会主義
	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	B11 相互理解, 寛容

10月	11月	12月	1月	2月	3月
マンガ家になろう 一手塚治虫	手品師	稲むらの火で命を救え	だれも知らないニュース	アジア・パーティー	マザー・テレサ
A4 個性の伸長	A2 正直, 誠実	D19 生命の尊さ	A1 善悪の判断, 自立, 自由と責任	C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	C18 国際理解, 国際親善
【短所を改め, 長所をのばして(P50)】	【誠実に明るい心で(P38 ~41)】	【命てんでんこ (P108~109)】	【自律的で責任ある行動 を(P28~33)】	【集団の中で自分の役割と責任を果たす(P142~145)】	【世界の人々とつながっ て (P176~179)】
真海のチャレンジ-佐藤 真海-	ふくらんだリュックサック	ボランティアクラブに入っ て	もう一度エベレストへ 一三浦雄一郎	一人じゃない一長友佑都	【天からの手紙】
D22 より良く生きる喜び	C12 規則の尊重	C14 勤労, 公共の精神	A3 節度, 節制	B8 感謝	A6 真理の追究
【自分を見つめ豊かに生 きる(P188~193)】	【社会で生きる一人として守らなくてはならないこと(P130~ 131)】	【公共のために役立つこ とを(P152~153)】	(P10)]	【支え合いや助け合いに 感謝して(P88~89)】	【新しいものを求めるとい うこと(P44~45)】
くずれ落ちた段ボール箱	牛乳配り		世界最弱のヒーロー, アンパンマン	ひとふみ十年	
B7 親切, 思いやり	C14 勤労, 公共の精神		C13 公正, 公平, 社会正義	D20 自然愛護	
【相手の思いに寄りそっ てみる(P62~63)】			【公正、公平な態度で (P132~134)		
すれちがい	自作資料				
B11 相互理解, 寛容	C13 公正,公平,社会正義				
	【公正、公平な態度で (P132~134)】				
前期終業式 C16 後期始業式 C16 避難訓練 D19		人権集会 B7 B10 B11 C13	避難訓練 D19		卒業式 B8 C16 修了式 B9 C16
後期の目標を決めよう A5 係・当番を決めよう(後期) C14 目を大切に A3	人権について考えよう B7 B10 B11 C13 C18 【分かり合うこと支え合う こと(P70~71)】 学校のためにできること を考えよう C14 C16 【公共のために役立つことを(P154~155)】	冬休みの過ごし方 C12 C15 【節度, 節制を心がけて (P10~17)】	給食ありがとう B8 新年の抱負 A4 A5 【短所を改め、長所をの ばして(P50~53)】	心のバトンフェスティバル を成功させよう B8 C16 【支え合いや助け合いに 感謝して(P88~91)】	ー年間を振り返ろう (修了式) A3 C16 もうすぐ6年生 C16 心のパトンフェスティバル B8 C16 後期の反省をしよう A3 C16 春休みの過ごし方 C12 C15
	地域のよさを発見しよう C17 【郷土や国を愛する心を (P164~165)】				
外国語 「ハロウィンを楽しもう」 C18 社会「わたしたちの生活と食 料生産」 C14	社会「わたしたちの生活 と工業生産」C14	「百年後のふるさとを守る」 A5 C14 C17 D21 【目標に向かって努力を 重ねた人たち(P20), 私	社会 「情報化した社会とわたしたちの生活」A1 【情報社会に生きる私たち(P184~187)】 音楽 「日本と世界の音楽に親しもう」C18	社会 「わたしたちの生活と環 境」D20 音楽 「大空をむかえる朝」 B10	音楽 「校歌」C16「君が代」 C17

道徳科と教科等との関連 6学年 全体計画別葉(35時間)

※(出版社名)がない資料は文溪堂を活用する。 ※【 】は、「私たちの道徳」を活用する。 ※色付け枠は学年の重要項目を、太枠は保護者・地域との連携が考えられるものを表している。

	4月	5月	6月	7•8月	9月	
	班長になったら	「分かってるよ」	【その思いを受けついで】		屋久島の森で	
	C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	A3 節度, 節制	D19 生命の尊さ	B10 友情, 信頼	D20 自然愛護	
	【自分の役割を自覚して (P140~145)】	【節度, 節制を心がけて (P10~17)】	【今、多くの人との関わりの中で 生きている(P100~103)】	【たがいに信頼し,学び 合って(P72~75)】	【自然の偉大さを知って (P110~113)】	
	ディズニーのカストーディ アル(自作資料)	また勝てばいい -羽生義治	この手に命を受けて 一国境なき医師団	絶望の中で見つけた光	伊能忠敬	
	C14 勤労, 公共の精神	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志	D19 生命の尊さ	D19 生命の尊さ	A5 希望と勇気, 努力と 強い意思	
道徳科	海の勇者	 見送られた二十球 -松井秀喜	おばあちゃんの心	 「あたりまえ」をやぶるか ぎ	私は,私らしく一熊田千 佳慕-	
	C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	A2 正直, 誠実	C15家族愛, 家庭生活 の充実	A6 真理の探究	A4 個性の伸長	
	【よりよい校風を求めて P(160~163)】		【家族の幸せを求めて (P156~159)】	【進んで新しいものを求め て(P42~45)】	【短所を改め,長所をの ばして(P50~53)】	
			銀のしょく台		大王と風車小屋の主人	
			B11 相互理解, 寛容		C12 規則の尊重	
			【けんきょに, 広い心を もって(P80~81)】			
	始業式 C16 入学式 B7 歓迎遠足 B7 B10	避難訓練 D19 運動会 A5 B10 C16	いのちを見つめる強調月間D19 交通安全教室 A1 A3 C12 D19	8.9平和集会C18 D19	清水っ子スマイルフェスタ B8 B9 C16	
学校行事 			6.29 平和集会 C18 D19			
	新学期の準備をしよう (新学期) C16 【これが今の私(P7】	運動会を成功させよう A5 B10 C16	平和集会 D19 歯を大切に A3	夏休みの過ごし方 C12 C15	清水っ子スマイルフェスタ を成功させよう B8 B9 C16	
特別活動	学年・学級のめあてを話 し合おう C16 掃除の仕方 C14	係・当番を決めよう (前期) C15	安全な道路の歩き方 D19		前期の反省をしよう C16	
	前期の目標を決めよう A5	(1997) 013				
			平和について考えよう	修学旅行		
総合的な			D19	A1 B7 B9 C13 D19		
学習の時間				平和について考えよう D19		
その他の教科	音楽 「つばさをください」D21 音楽 「おぼろ月夜」 D20 C18 音楽 「校歌」C16「君が代」C17 家庭 「わたしたちの生活時間」 A3 国語	家庭	保健 「生活のしかたと病気(1) (2) JA3 理科 「体のつくりとはたらき」 D19 家庭 「クリーン大作戦」C14 国語 「森へ」D20 D21	社会 「今に伝わる室町文化」C17 音楽「われは海の子」 C17 C18 D20 理科 「植物の成長と水の関わり」D20 国語 「ようこそ、わたしたちの 町へ」C17	社会 「町人の文化と新しい学問」A5 国語 「たのしみは」C17 国語 「みらいがよりよくあるために」C17 理科 「月と太陽」D21	
	「カレー ラ イス」C15		「河鹿の屏風JD21		,, CANF0) 1 C 1	

	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し,生命を尊重すること。	D19 生命の 尊 さ
6学年の 重要項目	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	C13公正,公平社会正義
		A5 希望と勇気 努力と強い意志

	I		1		1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
【うばわれた自由】	図書館員のなやみ	共に生きるために	【小川 笙船】	難民に思いを寄せて 一緒方貞子	地震で学んだこと
A1 善悪の判断, 自律, 自由と責任	C12 規則の尊重	B10 友情, 信頼	C16 よりよい学校生活, 集団生活の充実	C18 国際理解, 国際親善	B8 感謝
【自律的で責任ある行動 を(P28~33)	【法やきまりを守って(P 120~123)】		【公共のために役立つこ とを(P152~155)】		(東日本大震災)
【生きる喜びを感じて(P 190~193)】	決してあきらめずにーネ ルソン=マンデラー	【ペルーは泣いている】	やっぱり気になる	【人間をつくる~剣道~】	【希望とゆうきをもってくじ けずに(P18~19)】
D22 より良く生きるよろ こび	C13 公正, 公平, 社会 正義	C18 国際理解, 国際親善	B11 相互理解, 寛容	C17 伝統文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	A5 希望と勇気, 努力と 強い意志
国枝慎吾orしあわせ		【世界の人々とつながっ て(P176~179)】	【けんきょに, 広い心を もって(P80~83)】	【郷土や国を愛する心を (P164~169)】	【自分を見つめ豊かに生きる (P188~189 P192)】
礼に始まり礼に終わる- アントン=ヘーシンクー	【おこさまランチ】 「ディズニーランド流心理学」より		【黄熱病とのたたかい】	海は生きていた 一畠山重篤	
B9 礼儀	B7 親切, 思いやり		B8 感謝	D20 自然愛護	
【礼儀正しく真心をもって (P56~59)】	【相手の立場に立って親 切に(P60~65)】		【支え合いや助け合い(P 88~91)】	(東日本大震災)	
九十九島の夕焼け (心を育てる道徳教材集)	【愛の日記】				
D21 感動, 畏敬の念	C13 公正, 公平, 社会 正義				
【大いなるものを感じて (P114~117)】					
前期終業式 C16 後期始業式 C16 避難訓練 D19	修学旅行 A1 B7 B8 B9 C12 C16	人権集会 B7 B10 B11 C13	避難訓練 D19		卒業式 A5 B8 B9 C16
後期の目標を決めよう A5 係・当番を決めよう(後	人権について考えよう B7 B10 B11 C13 C18	冬休みの過ごし方 C12 C15	新年の抱負A4 A5 給食ありがとう B8 給食集会 B8	心のバトンフェスティバル を成功させよう B8 C16	心のバトンフェスティバル B8 C16
期) C14 C16					後期の反省をしよう A3 C16
目を大切に A3					春休みの過ごし方 C12 C15
佐世保未来プロジェクト B9 C14 C17	佐世保未来プロジェクト B9 C14 C17	佐世保未来プロジェクト B9 C14 C17	佐世保未来プロジェクト B9 C14 C17		
社会	社会	音楽	書写	国語	国語
「明治の国作りを進めた 人々」福沢諭吉C12	「新しい日本, 平和な日本へ1日本国憲法C12	「ふるさと」 C16 C17 外国語	「書き初め」C17 音楽	「海の命」A5 C15 D19 D20 D21	「生きる」D19 「今わたしはぼくは」A5
[P130]	[P124~125)]	「クリスマスに親しもう」C18	「越天楽今様」D20 C18	社会	「かなえられた願い」
「世界に歩み出した日本」 「太平洋のかけ橋に一新		国語 「伝統文化を楽しもう・伝	国語 「自然に学ぶくらし」D20	「世界の中の日本」C18 「日本とつながりの深い	A5 C17 音楽
渡戸稲造一」 C18	事JC15	えられてきたもの」	「忘れられない言葉」A5	国々」C18	「さよなら友よ」 B8 C16
音楽 清水中合唱コンクール参観	国語 「鳥獣戯画を読む」C17	「狂言 柿山伏」A4 C17 【郷土や国を愛する心を	家庭 「共に生きる生活」C14	体育(保健) 「喫煙・飲酒・薬物の害」	「あおげばとうとし」B10 C16 「校歌」C16「君が代」C17
(清水中と合同)A5 C16 国語		(P164~169)】 「天地の文JC17	図エ 「味わってみよう和の形」	A3 D19 D22	理科 「生物と地球環境」D20
「平和のとりでを築く」C18		- 77557 / 3017	「味わってみよう相の形」 C17		家庭
「生活の中の言葉」B9 「やまなし」D20					「共に生きる生活」D22 図エ 「12年後のわたしJA4 A5
					・12十段V/1//こしJA4 A5

(2)【中学校】

ア 1 学年 平成28年度 道徳教育の全体計画…全教育活動との関連 (中学1年生)

平成	28年度 道徳教育の全体計画・・・全教育活動との関連 (中学1年生) 人間の生き方についての自覚を深め、生徒の道徳的実践力を育てる。				C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実 ◆生活規律を守る態度の育成。									
	清水中学校 道徳教育の重点目標 ②言葉遣いを大切にし、自他の人格、人権を尊重する態度を育てる。 ③道徳的実践力につながる授業の工夫と実践力を育てる。							1年生の 重点目標	B(8) 友情, 信頼 ◀	集団の中の個を自覚	何事も根気よくやり遂! 覚し,和を大切にする。 に協力して仕事をする態			
教育		☆校行事	4月 入学式 身体測定 妙迎遠足(小中連携) 部活動発金式 避難訓練	5月 体育大会総練習 体育大会	6月 選手激励会 市中学校体育大会 生徒総会	7月 ワックスがけ 大掃除 家庭訪問	8月 夏季休業 平和祈念集会	9月 大掃除 身体測定 野外宿泊活動	10月 前期終業式 後期始業式 避難訓練	11月 生徒会役員改選	大掃除	1月 大掃除 身体測定 生徒会役員任命式	2月 避難訓練 ワックスが(け	3月 卒業式総練習 卒業式合同練習 卒業式 大掃除 修了工
特別		学級活動	中学生になって 好ましい人間関係 教室環境の整備	中学生の学習 身近な問題の解決 自分を知る 体育大会への参加	学校生活の向上 (生徒会に向けて) 学習計画の検討と改善 平和学習への取り組み 野外宿泊学習に向けて	学習・生活の反省と改善 野外宿泊学習に向けて		健康で安全な生活 男女の協力 生徒会の一員として	後期の心構えと組織 合唱コンクールに向けて	ボランティアの意義 思春期のこころとからだ いろいろな職業	望ましい人間関係 学習生活の反省と改善 進路計画の立て方	新年の抱負 将来の希望	進路の悩みと不安 卒業生を送る計画	校内美化 進級への心構え
^別 活動		清水タイム	専門委員会 学級写真撮影 ブロック結団式	専門委員会 ブロック応接練習 体育大会準備	専門委員会 中体連行進練習 部活動写真摄影 中体連事前指導 中体連表彰式	夏休み前集会 県中総体激励会		夏休み明け集会 専門委員会 駅伝選手激励会	専門委員会 専門委員長任命式 合唱コンクール準備	専門委員会	冬休み前集会	冬休み明け集会 専門委員会	専門委員会	卒業式準備
総合的な学習の時間		な学習の時間	学年テーマ 「地域と自然に目を向ける」 オリエンテーション 歓迎遠足(小中連携)	美し化プロジェクト	日 野外宿泊活動に向けて 野外宿泊活動準備	野外宿泊活動準備 美し化プロジェクト(小中連 携) ひまわり種蒔き		野外宿泊活動	合唱コンクール(小中連携)	職業調べ	職業調べ ふるさと歴史発見	□ ▶ 職業調べ	1年間のまとめ	
道	道徳関連資料		「九番イッター」A(4)希望と勇気、 克己と強い意志 「老松一をめるじて」C(15)よりよ い学校生活、集団生活の充実 「思いやりの日々」B(6)思いやり、 感謝	「ほくのふるさと」C(16)郷土の 伝統と文化の尊重、郷土を受 する態 下ま礼物JA(2)節度、節制 「火の鳥」D(20)自然愛護	「古都の雅、菓子の心」C(17) 表が国の伝統と文化の尊重 「選手に選ばれて」C(10)選法 精神、公徳心 「花に寄せて」D(19)生命の尊 さ 「木箱の中のえんぴつたち」 A(3)向上心、個性の伸長 【平和学習】	「合唱コンクール」C(15)より よい学校生活、集団生活の 充実 「日本から来たおばさん」 C(18)国際理解、国際貢献 「いじめっ子の気持ち」 C(11)公正、公平、社会正義		「シュリーマンの夢」A(5)真理の探 究。創造 「楽寿号に乗って」C(13)勤労 「朝市の『おはようございます』」 B(7)礼儀 「班でのできごと」B(8)友情、信頼	ジ」B(6)感謝、思いやり	「本が泣いてます」C(12)社会参 画、公共の精神 「山に来る資格がない」A(1)自 主、自律、自由と責任 「ちいちゃんのつめ」B(8)友情、 信頼	「ハチドリのひとしずく」 D(21)感動、畏敬の念 「デンさん」A(1)自主、自 律、自由と責任 【人権学習集会】	「席がえ」C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 「自分とと・松井秀喜」B(9) 相互理解、度で 「二度と通らない旅人」D(22)よりよく生きる喜び	「心をつなぐバス」B(6)思い やり、感謝 「母はおしいれ」C(14)家族 受、家庭生活の充実 「増えた塩ます」A(1)自主、 自律、自由と責任	「父のひとこと」A(1)自主、 律、自由と責任 「正義ってなに?」C(11)公 正、公平、社会正義
		国語 (光村図書)	「野原はうたう」 A(20)	「花曇りの向こう」 B(9)相互理解、寛容	「ダイコンは大きな根?」 D(20)自然愛護 「ちょひと立ち止まって」 A(5)真理の探究、創造 「野芽さなもの」を紹介しよう」 A(3)向上心・個性の伸長 B(9)相互理解、寛容	「詩の世界」 D(20)自然受援 「空を見上げて」 B(5)思いやり、感謝 D(22) よりよく生きる喜び C(18) 国際理解、国際貢献 「光る地平線」 A(4)希望と勇気、克己と強 い意思 D(19)生命の尊さ		量の花が降るころに」 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日	「いるは歌」 「月に思う」 「産業の玉の枝―『竹取物語』 がら」 で(17)かが国の伝統と文化の 尊重、国を愛する態度	「今に生きる言葉」 A(5)真理の探究、創造 C(18) 国際理解、国際資献 「幻の無は生きていた」 D(20)自然受強 「活題や方向を捉えて話し合お う」 A(3)向上心、個性の伸長 B(9) 相互理解、寛容	「根拠を明確にして魅力を 伝えよう」 B(9)相互理解、寛容 「竹」 C(17)わが国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「桜守二代」 D(21)感動、畏敬の念 C(13)動労 C(17)わが国の 伝統と文化の尊重、国を愛	「少年の日の思い出」 1(1) C(11)公正、公平、社会正義	「印象深く思いを伝えよう」 Biの思いやり、感謝 C(15) よりよい学校生活、集団生 活の向上	「一年間の学びを振り返ろう」 う」 A(5)真理の探究、創造 「ぼくが ここに」 A(5) 真理の探究、創造 B(相互理解、寛容
	社	地理 (教育出版)	私たちの地球と世界の地域構成 D(20)自然受験の念 D(21)形勢、異敬の念 (18)国際理解・国際貢献 人々の生活と環境 D(20)自然受護 D(20)自然受護 D(21)断熱、異敬の念 C(18)国際理解、国際貢献	人々の生活と環境 D(20)自然愛護 D(2) I感動、畏敬の念 C(18)国際理解、国際資献				世界の諸地域「アジアの多様性と 経済発展」 D20自然受護 (C16国際理解、国際資献 「アプリカの人々の暮らしとその変 化」 D20自然受護 (C12社会参麗、公共の精神 C11分正、公平、社会正義 C18国際理解、国際資献	「統合を強めるヨーロッパの 国々」 り2019 自然養護 (C19国際理解、国際貢献 「世界」に大きな影響力をもつ北 アメリン、 (C11)公正、公平、社会正義 (C18)国際理解、国際貢献		する態度	「南アメリカの開発と環境」 「他地域と結びつくオセアーア、 D/20)自然参議 (C(11)公正、公平、社会正義 C(18)国際理解、国際貢献	世界のさまざまな地域の調査 C(18)国際理解、国際貢献	
	会	歴史 (教育出版)		歴史の終り変わりを考えよう (17)政が国の伝統と文化の尊 重、間を愛する態度 原始・古代の日本と世界「人類 の出現と明のおこり」 (17)政が国の伝統と文化の尊 重、国を愛する態度 (18)国際理解、国際貢献	重、国を受する態度 C(17)我が国の伝統と文化の 專重、国を受する態度 C(18)国際理解、国際貢献	の形成」 C(17)接が国の伝統と文化 の専重、国を受する態度 C(18)国際理解、国際貢献 「貴族社会の発展」 C(17)技が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 C(18)国際理解、国際貢献				中世の日本と世界「世界の動き と武家政治の始まり (16)瀬上の伝統と文化の尊 重、国を妻する態度 (C(17)兼が国の伝統と文化の尊 重、国を妻する態度 (C(18)国際理解、国際貢献	(21)公正、公平、社会正義 (21)接於国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 (218)国際理解、国際貢献		近世の日本と世界「結びつ 代世界との出会い」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 C(18)国際課界 国際資献 「天下統一への歩み」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 C(18)国際理解、国際資献	(311)公正、公平、社会正法 (217)我が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 (218)国際理解、国際貢献
		数学 (東京書籍)	『1 正負の数』 『2 加法と譲法』	「「 正真の教」 「3 集法と除法」(17)独が国 の伝統と文化の尊重、国を受 する態度 「本正負の数の利用』 A(4)希望と勇気、克己と強い意志 『章の問題AJ C(18)国際理解、 国際貢献		「2 文字と式」 『3 文字式の利用』 『章の問題A』 『数学のまとIC(18)国際理 解、国際貢献		「3 方程式」 『1 方程式とその解き方』C(10)通 法精神、公徳心 『2 1次方程式の利用』C(12)社会 参画、公共の精神	『章の問題A』 「4 比例と反比例」 『1 関数』 C(11)公正、公平、 社会正義 C(16)郷土の伝統と 文化の尊重、郷土を要する服 度 『2 比例』		『章の問題A』 『数学のまど』C(17)我が国 の伝統と文化の尊重、国を 愛する態度		「6 空間関帯」 「3 立体の体積と表面積』 『第 立開題品』 「7 資料の分析と活用」 『1 資料の分析』	「7 資料の分析と策用」 「2 資料の活用』 「3 近似値と有効数字』 『章の問題』 A(4)希望と 東理の探究。創造 東理の探究。創造
	理科	理科 (東京書籍)	「身近な生物を観察しよう」 A(1) 自主、自律、自由と責任 D(19) 生命の尊さ D(20) 自然愛護 大地の変化	植物の世界 「花のつくりとはたらき」 D(20) 自然愛護 大地の変化	「葉. 茎. 根のつくりとはたらき」 D(20) 自然愛護 「動き続ける大地」	「植物の分類」 D(20) 自然愛護 「動き続ける大地」		身のまわりの物質 「身のまわりの物質とその性質」 D(20) 自然受護 C(18) 国際理解、国際貢献 「地層から読みとる大地の変化」	「気体の性質」 D(19) 生命の尊さ 「地層から読みとる大地の変	「水溶液の性質」 C(18) 国際理解、国際貢献 「地層から読みとる大地の変	「物質の姿と状態変化」 C(14) 家族愛、家庭生活の 充実 C(17) 我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「力の世界」	身のまわりの現象 「光の世界」 D(20) 自然愛護 「力の世界」	「音の世界」 D(20) 自然要護 C(17) 我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「力の世界」	「力の世界」 D(20) 自然愛護 C(18) 国際理解, 国際責息 「力の世界」
	科	理科 (東京書籍)	「火をふく大地」 D(20) 自然愛護 C(16)	「火をふく大地」 D(20) 自然愛護 C(16)	D(19) 生命の尊さ D(20) 自 然愛護 C(18) 国際理解. 国 際貢献	D(19) 生命の尊さ D(20)		1 地南から読みてGO人地の変化」 D(19) 生命の尊さ D(20) 自然愛護 C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	化」 D(19) 生命の尊さ D(20) 自	化」 D(19) 生命の尊さ D(20) 自 然愛護 C(16)郷土の伝統と		D(20) 自然愛護 C(18) 国際理解、国際貢献		D(20) 自然愛護 C(18) [際理解, 国際貢献
各教科	音楽	音楽 (教育芸術社)	『校歌』C(15)よりよい学校生活、 集団生活の充実 『Well Find The Way~はるかな 道へ』A(4)希望と勇気、克己と強 い意志	『主人は冷たい土の中に』 A(2)節度、節制	『魔王』D(19)生命の尊さ	『Unlimited』 A(4) 希望と勇気、克己と強 い意志		『合唱コンクール』 A(4)希望と勇気、克己と強い意志 C(15)よりよい学校生活、集団生活 の充実		『赤とんぼ』 : B(6)思いやり、感謝	『日本の民謡』C(16)郷土の 伝統と文化の尊重、郷土を 愛する態度 『ソーラン節』C(16)郷土の 伝統と文化の尊重、郷土を 愛する態度	『アジアの音楽』C(18)国際理	卒業式歌C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 B(6) 思いやり、感謝 『君が代』C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を受す る態度	卒業式歌C(15)よりよい学 校生活、集団生活の充実) B(6)思いやり、感謝
		器楽 (教育芸術社)			アルトリコーダー LESSONI 『喜びの歌』 C(18)交際理 解、国際貢献									
	(8	美術 日本文教出版)	『出会って広げよう』 『図画工作. そして…美術へ』① A(3)向上心、個性の伸長 『モダンテクニック』① A(3)向上 心、個性の伸長	『見て感じて, 描く/ 鉛筆で描 く』② A(5)真理の探究、創造	インの扉を開こう』(1) B(6)思いやり、 感謝 B(8)友情、信頼 B(9)相互理 解、寛容	『一枚の紙から広がる世界』④ A(4)希望と勇気、克己と強い意志 『鑑賞との出会い』① B(9) 相互理解、寛容		『使いたくなる焼き物を作ろう/き 物をつくる』③B(6)思いやり、感謝	界や身の回りにある形や色/三原色 から生まれる色/色を学ぶ(6) B(6)		『身近な人を見つめて/私 が見つけた物語』®B(6)思 いやり、感謝		『身近なものを立体で表そう』 ③A(4)希望と勇気、克己と強い意志	
		技術 (東京書籍)	「生活や社会における技術の役割」 A(4)希望と勇気、克己と強い意志 D(20)自然受護 C(12)社会参園 D(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	材料と加工に関する技術「もの づくりの工夫と魅め方」「材料」 D(20)自然愛護 C(12)社会参画	設計」(〜9月) A(1)自主、自律、自由と責任			「製作」(~12月) A(1)自主,自律。自由と責任 C(10)選上結構,公徳心 C(13)勤労				「材料と加工に関する技術とれたしたち」 たしたち」 (A(5) 真理の探究、創造 (C(20) 自然要護		
		家庭 (東京書籍)	家庭分野の学習を始めよう! A(2 節度、節制 A(1)自主・自律と責任 B(1)思いやり、感謝 D(1)生命要の尊さD(2)自然受 度 C(14)家族愛、家庭生活の充実	わたしたちの食生活「食生活と 栄養」(〜6月) A(2)耐尿、節制 D(19)生命の尊重 C(14)家族愛、家庭生活の充実		「献立作りと食品の選択」 (〜9月) 部制 (人2)節度 部制 (C17技が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度			「翻理と食文化」(~11月) A(2)節度、節制 D(20)自然愛捷,21)感動、畏敬 の念 C(10)選注精神、公徳心 C(12)社会参画、公共の精神 C(16)郷土の伝統と文化の尊 重、郷土を愛する態度		「生活の課題と実施(食生活)」 (本) 自主・自律と責任 (人1)自主・自律と責任 ((14)家族党、家庭生活の充実 (区17)強が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度	A(2)節度、節制 B(6)思いやり、感謝 D(19)生命の尊重 D(20)自然愛護(21)感動、畏敬		
		保健体育 (東京書籍)	(オリエンテーション) C(12)社会参加、公共の精神	(楽技) - 体へくり運動 - ゲンス (C15)よりよい学校生活、集団 生活の充実 (C21)感動、異敬の念	【保健編】 1.心身の機能の発達とむの機能 健康 他 『『体の発育・発達』 A(2)節 度、節制 『2 呼吸器・循環器の発育・発達』 温』 A(2)節度、節制 『3 生無機能の成熟』D(19)生 命の尊さ D(21)感動、畏敬の 念	【体育編】 1.運動やスポーツの多様性 ④ 1.運動やスポーツの必要性と楽 しさ 1. 運動やスポーツの多様な関わり方 1. 運動やスポーツの学体な関わり方 3. 運動やスポーツの学な方 3. 運動やスポーツの学な方 3. 運動やスポーツの学な方。 4. (2) 遊皮・薬剤・A(3) 向上心・傷性の特及(12)社会参順、公共の精神 【水泳】 D(19)生命の導さ		【実技】 ・球技 803友情、信頼 C(11)公平、公正、 社会正義	【保護報】 1.0 身の間盤の角道との位置。 1.0 身の間盤の角道との位置。 1.4 単性の第三性指標への分別。 1.5 知的機能と情意機能の角度。 1.5 知的機能と情意機能の角度。 1.5 知的機能と情意機能の角度。 1.6 知知 A(いちばと野木、切むと 別に変更 50回にいり、高速 (50) 八 共盛 80分 対信、気勢 600利耳電 係、寛容 (51)とリナレッ学校生活、 集団生活の充実	【実技】 - 武道(楽道) B(7) 札幌C(17我が国の伝統と 文化の尊重、国を愛する態度		【保健編】 1.心身の機能の免達と心の健康 (2) (2) (3) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	【実技】 ・長距離走 A(3) 向上心、個性の伸長 A(4)希望と勇気、克己と強 い意志	【実技】・体で(J)運動・・体で(J)運動・・ゲンス (C(15)よりよい学校生活、ま (21) 感動、畏敬の念
		英語 (東京書籍)	"Hi,English!" B(7) 礼儀	「はじめまして」 「学校で」 B(7) 礼儀	「わたしの好きなこと」 B(7) 礼儀 「ホームパーティー」 B(7) 礼儀 (2) 18) 国際理解、国際貢献	「自己紹介」 A(3)向上心、個性の伸長 B(7) 礼儀		「学校の文化祭」 C(18)国際理解、国際貢献 「体調をたずねる」 B(8) 思いやり、感謝 「オーストラリアの兄」 C(18)国際理解、国際貢献	「電話の会話」 B(7) 礼儀 「ブラジルから来たサッカー コート (18)国際理解、国際貢献 「グリーティングカード」 B(6) 思いやり、感謝	「イギリスの本」 B(7) 礼儀 「ウェブサイト」 C(15)よりよい学校生活、集団 生活の充実 「チャイナタウンへ行こう」 C(18)国際理解、国際貢献	「道案内」 B(7) 礼儀 「一日の生活」 A(2) 節度、節制	「あこがれのポストン」 C(18)国際理解、国際貢献 「ちょっとお願い」 B(7) 礼儀 B(6) 思いやり、感謝	「思い出の一年」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を要する態度 C(18)国際理解、国際貢献 F総はがき」 C(18)国際理解、国際貢献	りよい学校生活、集団生活 の充実 "The Restaurant with Mar Orders" A(1)自主、自律、自由と責
	私力	≿ちの道徳	目標を目指しやり抜く強い意志を 温かい人間愛の精神と思いやり の心を 役割と責任を自覚し集団生活の 向上を	念を ふるさとの発展のために かけがえのない自他の生命を 尊重して	国を愛し、伝統の継承と文化 の創造を 調和のある生活を送る 法やきまりを守り社会で共に生 きる 自分を見つめ個性を伸ばす	学校や仲間に誇りをもつ 日本人の自覚をもち世界に 貢献する		真理・真実・理想を求め人生を切りれく 助労や奉仕を通して社会に貢献する 礼儀の意義を理解し適切な言動を 異性を理解し尊重して	認め合い学び合う心を かけがえのない自他の生命を 尊重して 日本人の自覚をもち世界に貢献する	調和のある生活を送る 励まし合い高め合える生涯の 友を 異性を理解し尊重して	の友を 美しいものへの感動と畏敬 の念を 自分で考え実行し責任をも つ	の向上を 自分を見つめ個性を伸ばす 人間の強さや気高さを信じ生き る	やりの心を 家族の一員としての自覚を 自分で考え実行し責任をも つ	に生きる 正義を重んじ公正・公平な 社会を
	JRC	活動関連	-JRC委員任命式 -JRC加盟(更新)式	・ブルタブ・ペットボトルキャップ の回収、集計活動		・福島ひまわり里親プロジェ クト (種まき・まびき・水やり等 の栽培活動,講演会)	・リーダーシップト レーニングセンター ・ひまわりプロジェク トの広報活動	・トレセン報告会	・ひまわりの種の回収と福島 へ送付するための活動	- 赤い羽根募金活動 - 東日本大震災についての学習 と支援活動	・NHK「海外助け合い」街頭 募金活動	•	・ブルタブ・ペットボトル キャップの贈呈式(五校会)	- JRC年間活動報告
	調査	₹ G 研究関連	アンケート項目検討	前期アンケート実施	アンケート結果検討および主題との関連検討		清水小とのアン ケート内容検討		後期アンケート実施および 集計、結果検討				今年度反省および次年 度計画作成	

イ 2学年

平成28年度 道徳教育の全体計画…全教育活動との関連 (中学2年生)

アンケート結果検討およ び主題との関連検討

調査研究関連

アンケート項目検討

前期アンケート実施

清水小とのアンケート内 容検討 後期アンケート実施およ び集計、結果検討

 (19) 生命の尊さ ◆自他の生命を大切にし、互いの立場を尊重する生徒の育成。
 (6) 思いやり、感謝 ◆互いに信頼し合い、思いやりの心をもつ生徒の育成
 (1) 自主、自律、自由と責任 ◆自律・自主的精神をもつ生徒の育成。
 ○(15) よりよい学校生活、集団生活の向上 ◆何ごとにも骨惜しみせず積極的に活動する生徒の育成。 人間の生き方についての自覚を深め、生徒の道徳的実践力を育てる。 清水中学校 ①礼儀、節度を重んじ、けじめのある、生活態度を育てる。②言葉遣いを大切にし、自他の人格、人権を尊重する態度を育てる。 道徳教育の重点目標 重点目標 ③道徳的実践力につながる授業の工夫と実践力を育てる 7月 クスがI+ 教育活動/月 8月 選手激励会 市中学校体育大会口 生徒総会 夏季休業 平和祈念集会 者任式·始集式 入学式準備·入学式口 身体測定口 歓迎遠足口小中連携) 部活動発会式 避難訓練 削州松木八 後期始業式 避難訓練 卒来式総練官 卒業式合同練習 卒業式 大掃除 修了式 離任式 身体測定 生徒会役員任命式 学校行事 2年生になって 好ましい人間関係 教室環境の整備 健康で安全な生活 職業と産業 学校生活の向上 (生徒総会に向けて) 生徒会活動の活発化 身近な問題の解決 ボランティアの意義 その他の勉学の機会 望ましい人間関係 男女の協力 身近な問題の解決 学ぶことの意義 学習・生活の反省と改善 後期の心構えと組織 悩みの解決 進路計画を立てる 卒業生を送る計画 学習活動の検討と改善 年間の反省 新年の抱負 思春期のこころとからだ 自分の特色 自分の適性と進路 学級活動 机・椅子移動 入学式準備口 入学式式場撤去口 専門委員会 学級写真撮影 ブロック結団式 冬休み明け集会[専門委員会 入学説明会準備 門委員会 清水タイム 学年テーマ —— 「発見・体験・発信」口 歓迎遠足(小中連携) オリエンテーション 発表会準備・リハ 総合発表会 発表会反省とまとめ ロ 修学旅行準備 ひまわり種蒔き(小中連携 」 多学旅行準備 」 修学旅行準備 」 多学旅行準備 ー クリーン作戦 壁新聞作成 高校調べ 総合的な学習の時間 「一人しかいない自分JA(1) 自主、自律、自由と責任 「あいさつJB(7)礼儀 「みんなでとんだ!」C(15) よりよい学校生活、集団生 活の充実 「妹にJD(19)生命の尊さ 【平和学習】 「仲良〈暮らそう」C(11)公 正、公平、社会正義 「遠足で学んだこと」B(9)相 互理解、寛容 「われ、ここに生きる」C(13) 「わが愛はヒマラヤのふも 「ごめんね、おばあちゃん」 動労 「祭りの夜」C(16)郷土の伝 貢献 充実 「Dream Autumn Dreams」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「科工できること」(218)国際 | 私は下路域Jパンパッチンの 個性の伸長 「良心とのたたかい」D(22) よりよく生きる喜び 「クマのぬいぐるみと私」 B(8)友情、信頼 「書かれなかった遺書」 動労 「祭りの夜」C(16)郷土の伝 続と文化の尊重、郷土を愛 する態度 の等重、画を変する恋及 「私にできること」C(18)国| 理解、国際貢献 「愛」B(6)思いやり、感謝 ・ 冬の使者『マンガン』」 道徳閨連資料 (20)自然愛護 心に寄りそう」B(6)思いや J、感謝 「新しい短歌のために」 「短歌を味わう」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「富変カ」 A(5)真理の探究、創造 「世界で一番の贈り物」 C(18)国際理解、国際貢献 「モアイは語る―地球の未 「君は『最後の晩餐』を知っ 生物が記録する科学― 「盆土産 「根拠を明確にして意見を 「走れメロス」 B(8)友情、信頼 「表現のしかたを工夫して 「一年間の学びを振り返ろ 「生物が記録する科学―/ イオロギングの可能性」 A(5)真理の探究、創造 D(20)自然愛護 「魅力的な提案をしよう」 B(6)思いやり、感謝 C(16) 郷土の伝統と文化の尊重 「メディアと上手に付き合う ために」 「根拠を明確にして悪見を書こう」 A(1)自主、自律、自由と責任 B(9)相互理解、寛容 落葉松」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 「小さな町のラジオ発一臨 時災害放送局『りんごラジ 4)希望と勇気、克己と強 ペキー」 ((17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 「多様な方法で情報を集め よう」 ((13)勤労 来] 白然要接 C(18)国際 (18)国際理解、国際貢献 「話し合って考えを広げように事の的―『平家物語』」 B(9)相互理解、寛容 /」 (3)向上心、個性の伸長 い意志 「アイスプラネット」 C(18)国際理解、国際貢献 鍵」 (5)真理の探究、創造 て ::: へ 気持ちを込めて書こう」 (7)礼儀 る」 A(5)真理の探究、創造 国語 (光村図書) 「仁和寺にある法師—『徒 然草』から」 A(3)向上心、個性の伸長 A(5)真理の探究、創造 世界から見た日本のすがた 日本の地域構成 C(17) 表が国の伝統と文化 C(17) 表が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 C(18)国際理解、国際貢献 C(18)国際理解、国際貢献 C(17) 表が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 C(18)国際理解、国際貢献 C(17) 表が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 C(18)国際理解、国際資献 「関東地方」 「東北地方」 「東北地方」 り20回台級要護 (16)瀬上の伝統と文化の 尊重、郷土を受する態度 (17) 東が国の伝統と文化 (17) 東が国の伝統と文化 の尊重、国を受する態度 の尊重、国を受する態度 「北海道地方」 D(20)自然愛護 C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 「近畿地方」 日本の語地域「ハ州地方」 (D(20)自然愛護 (C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 「中国・四国地方」 (C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 「中部地方」 D(20)自然愛護 C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 (教育出版) 社会 近代の日本と世界「明治維新と立憲国家への歩み」 (2(10)遺法精神、公徳心 (2(11)公正、公平、社会正第 (2(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を要する態度 蘇戦争」 |11)公正、公平、社会正義 |18)国際理解、国際貢献 C(17) 我が国の 歴史 (教育出版) 學里、畑上c叉, C(17)我が国の伝統と文 の尊重、国を愛する態度 ~10)国際細級。国際資素 1式の計算」 「2 連立方程式」 『1 連立方程式とその解き 方』 C(10)遊法精神, 公復 「3 1次開敷」 『3 1次関数の利用』A(3)向 上心。個性の伸長 『章の問題A』 「6 確率」 『1 確率』 『章の問題A』 1式の計算」 3 1次開數」 1 1次関数』 「3 1次関数」 『2 1次関数と方程式』 「4 平行と合同」 式の計算』 C(10)遵法 申, 公徳心 『1 説明のしくみ』 『2 平行線と角』 『3 合同な図形』 『章の問題A』 用』A(3)向 (東京書籍) び 『2 連立方程式の利用』 化学変化と原子・分子 「物質のなり立ち」 D(20)自然愛護 「物質どうしの化学変化」 「酸素がかかわる化学変 「化学変化と物質の質量」 「電流と磁界」 C(18)国際理解、国際貢献 動物のからだ 雷気の世界 F気とその変化 前線とそのまわりの天気 ・化子変化と物質の質量」 D(19)生命の尊さ 「化学変化とその利用」 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 0初の分類] 19)生命の尊さ 20)自然愛護 生物の変遷と進化」 19)生命の尊さ 20)自然愛護 電気のビチ 「静電気と電流」 D(20)自然愛護 C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 C(18)国際理解、国際貢献 ス気とでの変化 「気象観測と雲のでき方」 D(20)自然愛護 C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 「削線とてのまわりの大! の変化」 D(20)自然愛護 「大気の動きと日本の天 らき」 (19)生命の尊さ :らぎ」 (19)生命の尊さ (20)自然愛護 (18)国際理解、国際貢献 -3 (20)自然愛護 (18)国際理解、国際貢献 動物の生活と生物の変遷 「生物と細胞」 D(19)生命の尊さ D(20)自然愛護 理科 (東京書籍) 『夏の思い出』D(20)自然愛護 『フーガト短調』C (18)国際理解、国際貢献 『フーガト短調』C(18)国際 理解、国際貢献 『大切なもの』B(8)友情、信 卒業式歌B(6)思いやり、感 謝C(15)よりよい学校生活。 謝 C(15)よりよい学校生活、 集団生活の充実 (教育芸術社) 教學 『ラヴァーズコンチェルト』 C(18)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 器楽 (教育芸術社) 『瞬間の美しさを形に/粘 土でつくる』⑥D(20)自然愛 護 『東へ西へ…/現代に受けつがれる浮世絵版画』③ B(9)相互理解、寛容 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 『手作りを味わう喜び/受けつぎつくる人の姿/木でつくる/金属でつくる』⑥ (C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (C(17)我が国の伝統と文化 『豊かなイメージで伝えよ う』⑥ B(6) 思いやり、感謝 C(13)勤労 『墨が生み出す豊かな世界 /水墨画の技法』③C(17) 我が国の伝統と文化の尊 重、国を愛する態度 『名画の魅力に迫る/光 が生むリアルとドラマ』② ト』①C(16)郷土の伝統と文 (C(18)国際理解、国際貢献 化の尊重、郷土を愛する態 美術 (日本文教出版) の尊重、国を愛する態度 エネルギー変換に関する技 解すわたした5の生活とエネ 点検」 ルギー変換」 02の自然受護 エネルギーの変換と利用」 0(20)自然受護 (エネルギーの変換と利用」 0(20)自然受護 「エネルギー変換に関する 技術とかたしたち」 A(5)真理探究、創造 D(20)自然愛援 C(12)社会参画、公共の精 D(21)提敬の念 青報に関する技術「情報と 生物育成に関する技術「物の栽培」「実習例」 D(20)自然愛護 D(21)感動, 畏敬の念 たしたちの生活」 (20) 自然愛護 (12)社会参画、公共の精 申 情報モラルと知的財産」 (1)自主. 自律. 自由と責 10)遵法精神, 公徳心 技術 (開隆堂) i. C(10)遵法精神, 公徳心 C(12)社会参画, 公共の精 わたしたちの成長と家族・ 地域「家庭と家族関係」(~ 12月) A(2)節度、節制 A(1)自主、自律、自由と責 「生活の課題と実践〔衣生 「生活を豊かにするために」われ 「幼児の生活と家族」(月) B(7)礼儀 B(6)思いやり、感謝 C(10)連法精神、公徳心 C(13)動労 C(14)家族愛、家庭生活の 充実 (~12月) A(1)自主、自律、自由と責 任 B(8)友情、信頼 任 A(3)向上心、個性の伸長 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 ± A(3)向上心、個性の伸長口 (7)礼儀 (20)自然愛護 (21)感動、畏敬の念口 D(19)生命の尊さ D(20)自然愛護 D(21)感動、畏敬の念 C(14)家族愛、家庭生活の 任 B(6)思いやり、感謝 B(8)友情、信頼 C(14)家族愛、家庭生活の 充実 C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 家庭 充実 C(18)国際理解、国際貢献 (東京書籍) (16)郷土の伝統と文化の 算重、郷土を愛する態度ロ 1. 実技]

・体つくり運動
・ダンス

(15)よりよい学校生活、集
団生活の充実
D(21)活動、最敬の念 【オリエンテーション】 【実技】 C(12)社会参画、公共の精 神 C(13)勤労 - ダンス 【実技】 ・球技 B(8)友情、信頼 【保健編】 2.健康と環境 ⑦ 『3 室内の空気の衛生的管 【保健編】 3.傷害の防止 (動 『1 傷害の発生要因』 【実技】 ・武道(柔道) B(7)礼儀 B(8)友情、信頼 C(11)公正、公平、社会正義 『2 交通事故の発生要因』 『3 交通事故の危険予測と 回避』A(2)節度、節制 『4 犯罪被害の防止』 B(7月1張 C(17)我が国の伝統と文化 の尊重、国を愛する態度 保健体育 10 生活に伴う腕類 生的管理』 A(2)節度、節制 【水泳】 D(19)生命の尊さ (東京書籍) (10)遵法精神、公徳心 "My Spring Vacation" B(7)礼儀 "A Friend in a Sister School" 「好きなこと・もの」 「電話の会話」 日起」 "Career Day" (18) 画際理解、国際資献 A Trip to the UK." (7) 礼儀 (18) 画際理解、国際資献 でしなおしてお願い B (7) 礼儀 (7) 礼儀 | 同総介] C(16)郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度 C(18)国際理解、国際貢献 x オさなこと・もの」 A(3)向上心、個性の伸長 C(18)国際理解、国際貢献 "Cooking with the com"ッ」 A(4)希望と勇気、克己と強い意志 Try to Be the Only One A(4)希望と勇気、克己と強 い意志 A(3)向上心、個性の伸長 "The Movie Dolphin Tale" B(8)友情、信頼 (7)礼儀 、7) みし。 Rakugo in Eng... C(17) 我が国の伝統と文。 を受する態度 C(18) 国際理解、国際貢献 ハル・ Universal Design" (12)社会参画、公共の精 "Homestay in the Ur States" B(6)思いやり、感謝 "Cooking with the Sui D(20)自然愛護 D(21)感動、畏敬の念 18)国際理解 国際香献 (東京書籍) TT C(13)勤労 (18)国際理解、国際貢献 (19)生命の尊さ 法やきまりを守り社会で共 に生きる口 美しいものへの感動と畏敬 の念を口 其理・真実・理想を求め人 指傷の意義を理解し適切な 言動を口 正義を重んじ公正・公平な 社会を口 認め合い学び合う心を 分で考え実行し責任を 調和のある生活を送る口 家族の一員としての自覚を 役割と責任を自覚し集団生 目標を目指しやり抜く強い つ口 美しいものへの感動と畏敬 の念を口 温かい人間愛の精神と思い やりの心を 私たちの道徳 の友を口 かけがえのない自他の生命 励まし合い高め合える生涯 の友を ・赤い羽根募金活動 ・東日本大震災についての 学習と支援活動 ・NHK「海外助け合い」街頭 募金活動 IRC委員任命式 福島ひまわり里親プロシ トレヤン報告令 ひまわりの種の回収と福 RC年間活動報告 ・・・・ ヘットボトル キャップの贈呈式(五校 &) ・リーターシッフトレーニン グセンター ・ひまわりプロジェクトの広 報活動 ヤップの回収、集計活動 島へ送付するための活動 JRC活動関連 / 「 (種まき・まびき・水やり等 の栽培活動、講演会)

今年度反省および次年 度計画作成

ウ 3学年

道徳教育の全体計画…全教育活動との関連

平成28年度

、間の生き方についての自覚を深め、生徒の道徳的実践力を育てる。 よりよい学校生活、集団生活の充実 ◆生活規律を守る態度の育成 心・、
心・、
が、
<p B(6) 思いやり、感謝 ◆思いやりがあり、何事も根気よくやり遂げる態度の育成。 清水中学校 3年生の ②言葉遣いを大切にし、自他の人格、人権を尊重する態度を育てる。 ③道徳的実践力につながる授業の工夫と実践力を育てる。 道徳教育の重点目標 教育活動/月 10月 選手激励会 市中学校体育大会 生徒総会 着任式·始業式 入学式準備·入学式 身体測定 飲迎遠足(小中連携) 部活動発会式 体育大会総練習 体育大会 ワックスがけ 大掃除 修学旅行 大掃除 ア ア 和 析念集会 身体測定 後期始業式 避難訓練 ックスがけ 身体測定 生徒会役員任命式 同窓会入会式 卒業式 学校行事 難訓練 最上級生になって 好ましい人間関係 数室環境の整備 望ましい人間関係 受験手続きの仕方 受験用書類の書き方 進路先の調査検討 前期の反省と夏休みの過ご 自己理解の重要 合唱コンクールに向 後期の心構えと組織 進路の選択 I 平和学習への取り組。 進路選択への諸条件 新年の抱負 受験・面接の心得 I 学級活動 読書に親しむ 学習の悩みの解決 学校生活の向上 E徒総会に向けて **押委員会** 夏休み前集会 県中総体激励会 夏休み明け集会 門委員会 休み前集会 冬休み明け集会 専門委員会 門委員会 門委員会 門委員長任命式 マロギ貝ボ ブロック応援練習 体育大会準備 等门安良去 中体連行進練習 部活動写真撮影 中体連事前指導 中体連表彰式 大学式準備 大学式式場撤去 專門委員会 学級写真撮影 専門委員会 駅伝選手激励会 清水タイム 年間のまとめ 業式関係 ・・・ 生き方を見つめて」 な迎遠足(小中連携) は場体験に向けて - 選場体験 」 合唱コンクール(小中連抄 総合的な学習の時間 「高く遠い夢」A(4)希望と勇 気、克己と強い意志 「流れ星」B(6)思いやり、友情 「たんぽぽ作業所」C(13)勤労 「植生の宿」B(8)友情、信頼 「心にしみこむ"言葉"のカー 池上彰」B(9)相互理解、寛容 手紙 (B(6)感謝, 思し 道程』との出会 『担任』COD田会にJA(1)自 主、自律、自由と責任 「世界の地雷とたたかう町工 暴のオジン」C(18)国際理解、 国際貢献 「あなたはすごい力で生まれ 愛、海底生活の充実 「湖の伝説」D(22)よりよく生 あ心 よみがえれ、日本海!JD(20)自 然変援 'V6をめざしてJC(15)よりよい学 安生活、集団生活の充実 「島うたの心を伝えたいJC(16)郷 労 「缶コーヒー」C(12)社会参 画、公共の精神 「森からの伝言」D(20)自然 愛護 寛容 「卒業文集最後の二行」 C(11)公正、公平、社会正制 「美奈のプロフ」C(10)遵法 精神、公徳心 あふれる愛」B(6)思いやり、感 o』があるJA(3)向上心、個 道徳関連資料 4重 言葉惜しみ」B(7)礼儀 てきたJD(19) 生命の尊さ 平和学習】 ・ne ハチドリのひとしずく! の伝統と文化の尊重 C(15)よりよい学校生活、集 団生活の充実 団生活の完実 ・新郷の社路と比較して終わう」 小別環の研究、制造では77度が個の 伝統と火化の専業、関を変する形成 「岩帯ウン・万葉・古・新古今」 「夏奉ー計なの年を追加ら」 「古寿を心の中に」 の(7) 我が個の伝統と文化の尊業、関 を受する形成 「月の起源を探る」 り(21) 感動、畏敬の念 ・魅力的な紙面を作ろう」 (0(1) 最が国の伝統と文化の (10) 最小国の伝統と文化の 東電、国を受する態度 「批評』の言葉をためる」 「社会との関わりを伝えよう」 作られた『物語』を超えて」「説得力のある文章を書こ 説得力のある文章を書こ 「誰かの代わりに」 A(1)自主、自律、自由と A(5)真理の探究、創造 B(6) 責任 C(11) 公正、公平、 乱いやり、感謝 C(15)より 社会正義 三年間の歩みを振り返ろ 挨拶」 (18) 国際理解、国際貢献 故郷」 (4)希望と勇気、克己と強 よい学校生活、集団生活の 舌の充実 7)我が国の伝統と文化の A(3)向上心、個性の伸長 '」 (9)相互理解、寛容 C(16) 充実 「初恋」 B(8)友情、信頼 C(17) 我が 国の伝統と文化の尊重、国 国語 よりよく生きる喜び C(18) 国際理解、国際貢献 「学びて時にこれを習ふ― 尊重、国を受する態度 「『想いのリレー』に加わろう」 A(1) 自主、自律、自由と責任 C(10)遵法精神、公徳心 B(8) 友情、信頼 「高瀬舟」 D(19)生命の尊さ C(14) 家族 愛、家庭生活の充実 (光村図書) 『論語』から」 A(5)真理の探究、創造 画の伝統と大心の母主、 を愛する態度 「エルサルバドルの少女 へスース」 (19) 生命の尊さ C(18)[現代の日本と世界「日本の民 主化と冷戦」 D(19)生命の尊さ C(10)連注精神、公徳心 C(11)公正、公平、社会正義 C(18)国際理保、国際貢献 「世界国際理保、国際貢献 「世界国際理保、国際貢献 「世界国際理保、国際貢献 「世界国際理保、国際貢献 (210)自然受護 C(16)郷土の伝統と文化の尊 二度の世界大戦と日本「第 一次世界大戦と民族独立 D動き」 (11)公正、公平、社会正義 (18)国際理解・人類愛・平 冷戦の終結とこれからのE .」 (19)生命の尊さ D(19)生命の尊さ C(20)自然愛護 C(20)自然愛護 C(17)郷土の伝統と文化の尊 重、郷土を愛する態度 C(18)国際理解、国際貢献 「第二次世界大戦と日本の敗 (C(16)郷土の伝統と文化の尊 重、郷土を受する態度 C(18)国際理解、国際貢献 「恐慌から戦争へ」 C(17)我が国の伝統と文化の 尊重、国を愛する態度 C(18)国際理解、国際貢献)尊重、国を愛する態度 (教育出版) -3 (19)生命の尊さ (18)国際理解、国際貢献 わたしたちの暮らしと現代社 会「わたしたちが生きる現代 社会」 A(1)自主・自律、自由と責任 司法権の独立と裁判」 (10) 遵法精神、公徳心 (11)公正、公平、社会正義 (15)集団の意義、集団生 財政と政府の役割」 C(12)社会参画, 公共の 精神 安心して暮らせる社会 (12)自然愛護 (16)郷土を愛する心 (18)国際理解、国際貢献 (10)導法籍神. 公徳心 . (18)国際理解、国際貢献 マルして書らせる社会 「労働と社会保障」 b(6)思いやり C(12)社会参画、公共の 精神 C(10)遵法精神、社会正義 C(12)社会参画、公共の精神 C(18)国際理解、国際貢献 「現代につながる伝統と文化 C(16)郷土の伝統と文化の尊 治」 C(10) 遵法精神、公徳心 C(12)社会参画、公共の精神 憲法が保障する基本的人 舌の向上 地方自治と住民の参加」 ※12)公徳心、よりよい社会 D実現 ※15)集団の意義、集団生 |際社会に生きるわたしたち「国 |社会が抱える課題」 「持続可能な社会の実現 上 「生産のしくみと企業・金融 A(1)自主・自律と責任 C(13)勤労 (20)自然愛護 (18)国際理解、国際貢献 (2(10)通法精神、公徳心 (2(11)公正、公平、社会正義 (2(18)国際理解、国際貢献 公民 nn (13)勤労 重、郷土を愛する態度 C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 「わたしたちがつくる社会」 ェ C(18)国際理解、国際貢南 C(10)遵法精神、公徳心 C(11)公正、公平、社会正義 多項式」(~5月) (20)自然愛護 (18)国際理解, 国際貢制 「相似な図形」(~11月) C(18) 国際理解, 国際貢献 三平方の定理」(~1月) C(18) 国際理解, 国際貢献 数学 (東京書籍) 「カの規則性」 C(18) 国際理解、国際貢献 「エネルギーと仕事」 B(6) 思いやり、感謝 D(20) 自然愛護 C(18) 国際理解、国際貢献 ヒ学変化とイオン |水溶液とイオン | |(16) 郷土の伝統と文化の 「遺伝の規則性と遺伝・ D(19) 生命の尊さ D(20) 自然愛護 運動とエネルギー 「物体のいろいろな運動」 C(18) 国際理解, 国際貢献 地球の運動と天体の動 化学変化と電池」 X20) 自然愛護 X18) 国際理解, 国際貢献 也球と宇宙 宇宙の広がり」 (20) 自然愛護 生物の成長と生殖」 (19) 生命の尊さ D(20) 自然愛護 C(18) 際理解, 国際貢献 (19) 生命の尊さ (20) 自然愛護 りに」 D(20) 自然愛護 「自然のなかの生物」 (20) 自然愛護 (14) 家族愛. 家庭生活の充 (16) 郷土の伝統と文化の尊 記, 郷土を愛する態度 科学技術と人間」 (20) 自然愛護 尊重, 郷土を愛する態度 C(18) 国際理解, 国際貢制 「酸, アルカリとイオン」 D(20) 自然愛護 C(16) 郷土の伝統と文化の尊 重. 郷土を愛する態度 「月と惑星の見え方」 へ C(16) 郷土の伝統と文化の尊 重, 郷土を愛する態度 :」 (19) 生命の尊さ (14)家族愛,家庭生活の充実 (東京書籍) 18) 国際理解, 国際貢献 . (18) 国際理解, 国際資 合唱『大地讃頌』D(21)感動、 畏敬の念C(15)よりよい学校 生活、集団生活の充実 『帰れソレントへ』C(18) 国際理解、国際貢献 平調『越天楽』C(17)我 花』D(20) 自然愛護 『花の街』D(19)生命の尊さ 合唱C(15)よりよい学校生活 集団生活の充実 合唱C(15)よりよい学校生 活、集団生活の充実 合唱C(15)よりよい学校生 『音楽の歴史』C(17我が国 卒業式歌A(4)希望と勇気、克己 卒業式歌A(4)思いやり、感 『ブルタバ』C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度(18)国際理解、国際貢 国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 『羽衣』C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛 音楽 (教育芸術社) する態度 アルトリコーダー 『シチリアーナ』C(18)国際理 解、国際貢献 (教育芸術社) 『ここでシャッターを切った理 由/写真撮影の第一歩』② D(21)感動、畏敬の念 『共同制作の魅力』④ C(15)よりよい学校生活、集 団生活の充実 『デザインで変える現在と 未来/魅力が伝わるパッ ケージ』⑤C(16)強度の伝む と文化の尊重、郷土を愛す 『あなたへ〜中学校美術からの巣立ち』① A(4)希望と勇気、克己と強 を探し求めて/夢を形にする ミれた祈り/仏像の種類』② Pートを体験する場に出かけよう D(21)感動、畏敬の念 D(22) よりよく生きる喜び と 味じ水の (ノ 歩を) おにする) ノ』① D(22) よりよく生きる喜び アルニカ」は語る 18)国際理解、国際貢献 19)生命の尊さ 本の世界文化遺産/自然を愛でる (日本文教出版) 『暮らしを心地よくするインテリア』③ 重、郷土を受する態度 C(17)郷土の伝 B(8)思いやり、感謝 統と文化の尊重、郷土を受する態度 「情報に関する技術とわた 情報に関する技術「ディジ プログラムによる計測・ 『リ(~9月) (21)感動, 畏敬の念 (12)社会参画, 公共の精 したち」 A(5)真理の探究, 創造 C(10)遵法精神, 公徳心 C(12)社会参画, 公共の精 , 1)自主. 自律. 自由と責 (開隆堂) (10)遵法精神, 公徳心 わたしたちの消費生活と環境「わたしたちの消費生活」 環境に配慮し ~3月) 20)自然愛護(21)感動、畏 (~10月) (~10月) A(2)節度、節制 A(1)自主・自律、自由と責任 B(1)思いやり、感謝 成の念 以8)愛国心・伝統の継承と 文化の創造 家庭 (東京書籍) 20)自然愛護,(21)感動、 する態度 【実技】 ·球技 B(8)友情、信頼 【実技】 ·球技 B(8)友情、信頼 LTM [LTM] 4.健康な生活と病気の予防 4.健康な生活と病気の予防 【保健編』 4.値康な生活と病気の予防 『14 Tイズの予防』 B(8) 友情、信頼 【保健編】 4.健康な生活と病気の予 [体育編] 文化としてのスポーツの 意義 (味味味) 4.健康な生活と病気の予 1.健康な生活と病気の予防 「1健康の成り立ちと病気の発生要因』A 6 医薬品の利用』A(2 々を結びつけるこ (2) 即戻、申明 [空食生活と健康] A (2) 節度、節制C (1 4) 家族委、家庭生活の充実 (林育編) 3. 文化としてのスポーツの意義 『1 現代生活におけるスポーツの文化的 意義』 A(2) 節度、節制 A(4) 希望と勇 気、克己と強い意思 C(18) 国際理解(国際 畜動 - 信用項目: 素物品用の書と機関 | でき返びですが3 ACD RA、 200 PB | 15 保証 高級回入目 | 15 保証 高級回入日 | 16 保証 金融の予約 B (30 定成、 20 『3連動と健康』』4 いた **==と健康』『5生活習慣病の予防』A(2)節度、節制 ポーツの文化的な働き』C (18)国際理解、国際貢献C (13)勤労 団生活の充実 D(21)感動、畏敬の念 さ 『17 個人の健康を守る社会 の取り組み』 A(2) 節度、節 制 B(6)思いやり、感謝D (19)生命の尊さC(12)社 会参画、公共の精神 (東京書籍) 気、充己と強い意思 C(16)国際理解・国 貢献 「2 国際的な スポーツ大会が果たす文化的な役割」 16 国際根据・国際貢献 「Pair Trade Event" B(6)思いやり、感謝 「さそい) B(7) 礼儀 "A Mother's Lullaby" [道案内]
"C1(1)通守精神、必徳心 C B(7) 扎橋
(18)国際理解、国際貢献 "Living with Robots—Foor To Our Future Generations" AC 漢類の探究、創造 B(7) 扎條 (18)起いやり、感謝 C1(6) 起いやり、感謝 C1(6) 起いやり、感謝 C1(6) という。 日本 (18) は (18) 「中学校生活」 A(4)希望と勇気、克己と強 い意志 B(6)思いやり、感謝 「修学旅行」 C(17) 我が国の伝統と文化の 尊重、国を愛する態度 Striving for a Better "Countries around the Morld"C(18)国際理解、国 際貢献 "Pop Culture Then and Norld" C(10)遊法精神、公徳心 レポート」 A(3)向上心、個性の伸長 low["] C(17)我が国の伝統と な化の尊重、国を愛する態 (東京書籍) . (18)国際理解. 国際貢献 勤労や奉仕を通して社会に 貢献する 法やきまりを守り社会で共 ももきまりを守り社会で共 を佐の一員としての自覚を 分で考え実行し責任をもつ 助まし合い高め合える生涯 家族の一員としての自覚を 励まし合い高め合える生 けがえのない自他の 本人の自覚をもちも 尿族の一員としての目覧を 量かい人間愛の精神と思いやり 貢献する 学校や仲間に誇りをもつ かけがえのない目他の 生命を尊重して 国を愛し、伝統の継承と 文化の創造を 礼儀の意義を理解し適 切な言動を 応を 温かい人間愛の精神と思い やりの心を 勤労や奉仕を通して社会に 貢献する 日本人の自覚をもち世界に責 友を 献する 自分を見つめ個性を伸ばす 調和のある生活を送る 人間の強さや気高さを信じ に生きる の友を 美しいものへの感動と畏敬 正義を重んじ公正・公平な 温から人間支が有行と思いて、 の心を 真理・真実・理想を求め人生を 切り拓く -自分を見つめ個性を伸ばす に生きる 美しいものへの感動と畏敬 の念を 役割と責任を自覚し集団生 活の向上を の念を 社会を つながりをもち住みよい社 会に 会に 異性を理解し尊重して 私たちの道徳 ふるさとの発展のために RC委員任命式 RC加盟(更新)式 ・赤い羽根募金活動 ・東日本大震災についての 学習と支援活動 ノルッノ・ヘットボト, 『の回収、集計活動 ンルノノ・ハットホ)贈呈式(五校会) ングセンター JRC活動関連 ーファ こっァ ひまわりプロジェクト D広報活動 . (種まき・まびき・水やり等の 栽培活動、講演会) アンケート結果検討および 主題との関連検討 清水小とのアンケー 後期アンケート実施およ び集計、結果検討 今年度反省および次年度計 調査研究関連 アンケート項目検討 前期アンケート実施

(中学3年生)

おわりに

道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業として、平成27・28度の2年間の研究指定を うけ「特別な教科 道徳」の授業改善研究に取り組んで参りました。

学習指導要領の改訂を目前に控え、学校教育がそれに伴ってどのように変わっていくかということが注目されている今、学校をさらに開きながら、子どもたちが多様な人々とつながりをもちながら学ぶ環境づくりを意識しました。何を学ぶのか、何ができるようになるのか、どのように学ぶのかを、子どもたちの具体的な姿を考えながら、授業づくりや実践活動、環境整備等を通して研究に取り組みました。

本日は、その成果として本校児童の実態に応じた授業方法や授業形態の工夫の一端を発表させていただきました。限られた時間と環境の中で、全職員で創意工夫しながら研究をすすめて参りましたが、各学校における「特別な教科 道徳」の実施に向けて、少しでも役立てていただければうれしく思います。

研究の先には子どもたちの笑顔が広がっています。「教師が変われば子どもが変わる。」研究の取組に際しては頻繁に耳にする言葉ですが、この言葉を念頭に今後の研究においても研究主任を中心にして各学年の連携を強めながら課題に取り組んで参りたいと考えております。

最後になりましたが、本研究に対しまして、ご指導・ご助言を賜りました長崎県教育委員会、 佐世保市教育委員会の諸先生方、関係機関の皆様へ心より感謝申し上げます。

平成28年11月22日

佐世保市立清水小学校 教頭 並川 和彦

本校は、平成26年度から佐世保市教育委員会の「実践学校研究事業」の研究指定を2年間、 そして平成27年度からは、文部科学省の「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の委 託を2年間受け、これまで道徳教育の授業改善に向けた研究と実践に取り組んでました。

研究を進めるにあたり、JRC活動の態度目標である「気づき、考え、実行する」を授業改善の柱として、全生徒の意思表示の場面や意見交流の場面、さらに実生活への振り返りの場面を積極的に取り入れてきました。また、小学校との連携も積極的に進め、授業参観や授業研究、乗り入れ授業などによる職員間の連携・交流、さらに中学生による小学生への読み聞かせや小中合同によるひまわりの種植え体験活動などの児童生徒間の交流、さらには育友会・健全育成会との連携によるひまわり畑の開墾や清掃活動などにも取り組み、児童生徒の道徳性を高めてまいりました。

これらの取組により、「地域に根差し、世界に生きる心豊かな児童生徒の育成」という研究主題の具現化を目指し取り組んでまいりましたが、まだまだ不十分な点があることも否めません。本日、ご参会いただきました皆様方から賜った多くのご意見を糧に、これからもさらに研究を推進していく所存であります。

最後になりますが、本研究を進めるにあたってご支援をいただいたすべての皆様に心より感謝 申し上げ、おわりの挨拶といたします。

平成28年11月22日

佐世保市立清水中学校 教頭 市田 恒明

研究同人

<小学校>

(平成27年度) (平成28年度) 長 吉 典 美保子 典 島 樹 校 \blacksquare 幸 藤 村 校 長 吉 \blacksquare 幸 中 頭 Ш 和 島 頭 教 並 ф 教 孤 Ш 和 彦 \blacksquare 寿 樹 彦 樹 濱 Ш 桂 Ш 子 子 樹 桂 子 林 田京 濱 \blacksquare 寿 栗 嵜 子 栗 嵜 原 和 正 林 \blacksquare 京 和 正 篠 慎 本 弥 生 慎 本 弥 摩 嶋 松 篠 原 松 生 孝 俊 紀 井 典 摩 孝 紀 典 代 和 嶋 俊 井 和 ф 村 幸 干 干 北 貴美子 糸 永 幸 子 北 貴美子 祥 弘 \blacksquare 千佳子 子 村 川美 子 川 林 村 Ш 美 子 福 永 萌 律 子 林 子 本 林 Ш \blacksquare 容 子 律 坂 多惠子 野 美佐子 渡 邉 華 子 上 悦 子 \blacksquare 大 佐 丸 前 介 野 森 Ш 哲 坂 本 多惠子 森 Ш 哲 草 彰 子 城 谷 歓 奈 前 \blacksquare 大 介 城 谷 歓 奈 亚 Ш 千 鶴 敦 子 Ψ 千 鶴 \blacksquare 敦 子 島 里 福 \blacksquare Ш 福 麻 Ш 松岡 今日子 山 ゆかり Ш 崇 Ш 崇 長 (研究主任) (研究主任) 徳 永 末 和 子 村 弘 樹 城 輝 子 本 理 岡 村 英 子 Ш 北 有 紀 吉 村 大 山 恵 美 原 末 村 弘 樹 藤 寛 道 原 輝 寛 道 吉 村 子 藤 村 美保子

<中学校>

		Ψ.	5 1	X,																
(平	成2	7年	度)							(月	₹成2	28年	[度)							
校	長	鴨	Ш	純-	一郎	Ш	ф	達	也	校	長	鴨	Ш	純-	一郎	汁	<u>h</u>	\blacksquare		創
教	頭	諸	藤	智	_		(码	F究主	(任)	教	頭	市	\blacksquare	恒	明	里	ž	間	陽	介
		柴	Ш	与記	志朗	野	間	陽	介			柴	Ш	与記	志朗	涑	Į.	尾	彩	美
		久傷	果田	英	則	益	\blacksquare	秀	紀			久傷	品	英	則	杜	7	添	\oplus	佳
		ф	島	みち	5代	瀬	尾	彩	美			ф	島	みち	5代	床	末	生		唯
		吉	村	かほ	まり	松	添	由	佳			吉	村	かほ	まり	þ)	原	明E	∃香
		栁	原	美弦	尔子	村	野		渉			栁	原	美弦	尔子	Ц			敏	幸
		岩	永	典	子	中	原	明日	∃香			岩	永	典	子	貟	EX.	本	敬	太
		松	尾	治	彦	Ш		敏	幸			松	尾	治	彦	ス	Z	\blacksquare	富美	美江
		川	宫	昭	子	坂	本	健	=			川	宫	昭	子	þ		村	登	美子
		Ш	﨑	知仁	弋子	太	\blacksquare	富	美江			Ш	﨑	知仁	弋子	Ц		下	め<	ぐみ
		吉	\blacksquare		渉	中	村	登	美子			吉	\blacksquare		渉	刀	١	宗	直	子
		遠	\blacksquare	洋	子	小	宗	直	子			溒	\blacksquare	洋	子	Ħ	₹	吉	睦	子
		森	\blacksquare		学	末	吉	睦	子			森	\blacksquare		学	芦	云 F	藤	征	志
		光	武	37	子	蛭	Ш	誠	嗣			光	武	37	子	15	ッキ	ングレ	フィ!	Jップ
		佐	藤	智	美	ウコ	ストラ	・プリ	シラ			佐	藤	智	美	ス	テフ	ァニー・	アンドリ	ューズ
						パッ	キングし	・ フィ「	Jップ			Ш	中 (研	達研究主	也(任)					

